

平成28年度

# 福井市民意識調査報告書

～ あなたの声を福井の未来に～



福 井 市

# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的 .....	3
2 調査の設計 .....	3
3 調査の項目 .....	3
4 回収結果 .....	4
<b>II 調査対象者の属性</b> .....	<b>6</b>
<b>III 調査結果</b> .....	<b>9</b>
◆市のまちづくりについて .....	9
政策の満足度・重要度について .....	21
◆観光客受け入れについて .....	54
◆人権・男女共同参画について .....	56
◆運動・スポーツについて .....	64
◆福井市文化会館の再整備について .....	67
◆広報紙「広報ふくい」について .....	71
◆福井市の住みやすさについて .....	75
◆中心市街地と生活環境について .....	77
◆健康づくりについて .....	84
◆福井市の環境について .....	89
<b>IV 自由意見</b> .....	<b>91</b>
<b>V 調査票</b> .....	<b>99</b>

## 報告書の見方

- 1 グラフ中の「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を示す。
- 2 グラフ中の「N」は、その設問における回答者数を表す。
- 3 単一回答では、構成比の数値を少数第2位で四捨五入したため、合計が100.0%に過不足することがある。
- 4 複数回答では、回答の割合の合計は100.0%を超える。

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、現在の福井市における重要課題などについて市民の意見を把握し、今後の市政運営の方向性を探るための基礎資料とすることを目的に実施する。

## 2 調査の設計

- (1) 調査地域 福井市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女2,500人
- (3) 抽出方法 平成28年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出  
(地区人口比率、男女、年齢の属性を考慮)
- (4) 調査方法 郵便送付(郵便又はインターネット回答)
- (5) 調査期間 平成28年6月9日(木)～平成28年6月28日(火)

## 3 調査の項目

- (1) 回答者自身の属性(性別、年齢、職業、居住年数、家族構成、居住ブロック)
- (2) 市のまちづくりについて 政策の満足度・重要度(16問)
- (3) 観光客受け入れについて(2問)
- (4) 人権・男女共同参画について(2問)
- (5) 運動・スポーツについて(3問)
- (6) 福井市文化会館の再整備について(4問)
- (7) 広報紙「広報ふくい」について(4問)
- (8) 福井市の住みやすさについて(2問)
- (9) 中心市街地と生活環境について(7問)
- (10) 健康づくりについて(5問)
- (11) 福井市の環境について(2問)

## 4 回収結果

回収数（率） 1, 210票（48.4%）

属性による回収結果

【性別】

	標本数	回収数			回収率
		全 体	郵便（割合）	インターネット（割合）	
男 性	1,252	506	450 (88.9%)	56 (11.1%)	40.4%
女 性	1,248	690	653 (94.6%)	37 (5.4%)	55.3%
無回答	—	14	9 (64.3%)	5 (35.7%)	—
合 計	2,500	1,210	1,112 (91.9%)	98 (8.1%)	48.4%

【年齢別】

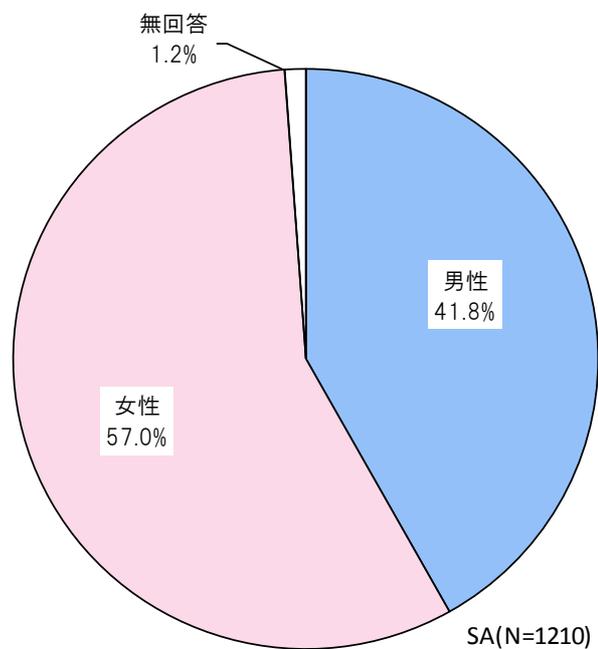
	標本数	回収数			回収率
		全 体	郵便（割合）	インターネット（割合）	
18～29歳	383	105	93 (88.6%)	12 (11.4%)	27.4%
30～39歳	407	163	140 (85.9%)	23 (14.1%)	40.0%
40～49歳	470	209	183 (87.6%)	26 (12.4%)	44.5%
50～59歳	423	224	206 (92.0%)	18 (8.0%)	53.0%
60～69歳	499	300	285 (95.0%)	15 (5.0%)	60.1%
70歳以上	318	200	198 (99.0%)	2 (1.0%)	62.9%
無回答	—	9	7 (77.8%)	2 (22.2%)	—
合 計	2,500	1,210	1,112 (91.9%)	98 (8.1%)	48.4%

【居住ブロック別】

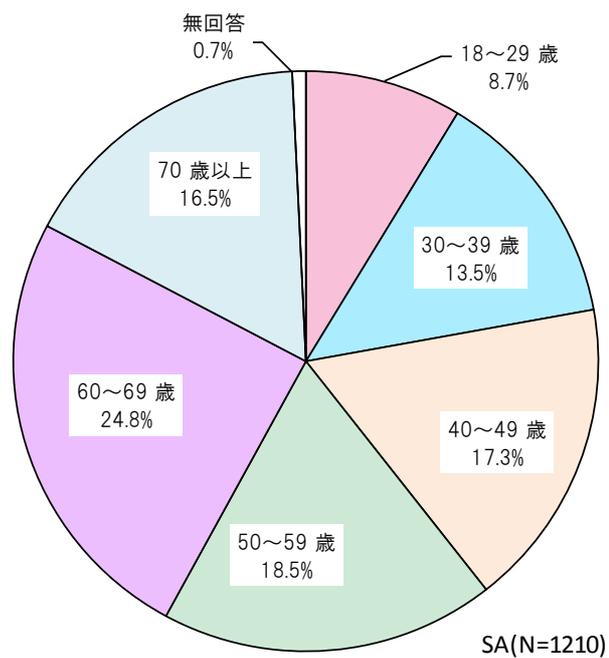
	標本数	回収数			回収率
		全 体	郵便（割合）	インターネット（割合）	
あたごブロック	369	187	165 (88.2%)	22 (11.8%)	50.7%
不死鳥ブロック	414	184	171 (92.9%)	13 (7.1%)	44.4%
みなみブロック	477	218	202 (92.7%)	16 (7.3%)	45.7%
あずまブロック	330	159	146 (91.8%)	13 (8.2%)	48.2%
九頭竜ブロック	472	218	205 (94.0%)	13 (6.0%)	46.2%
光ブロック	151	85	80 (94.1%)	5 (5.9%)	56.3%
川西ブロック	103	55	52 (94.5%)	3 (5.5%)	53.4%
足羽ブロック	184	100	91 (91.0%)	9 (9.0%)	54.3%
無回答	—	4	0 (0.0%)	4 (100%)	—
合 計	2,500	1,210	1,112 (91.9%)	98 (8.1%)	48.4%

## Ⅱ 調査対象者の属性

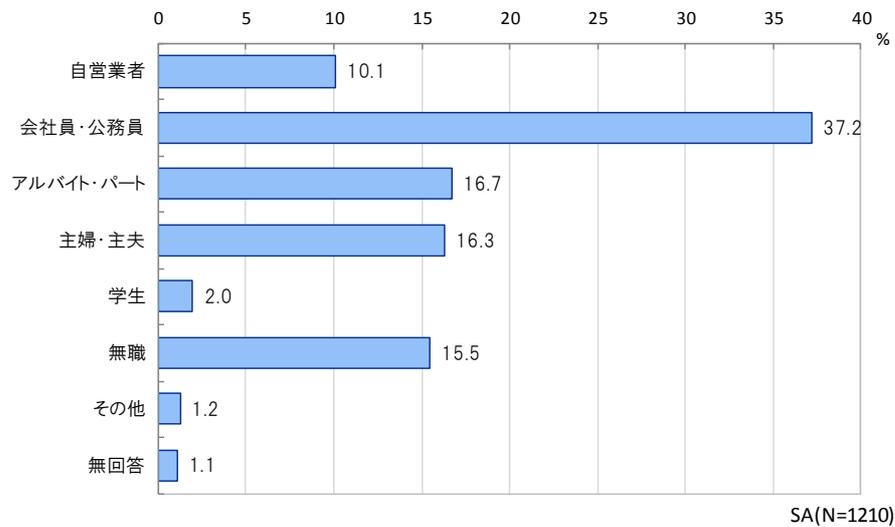
F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)



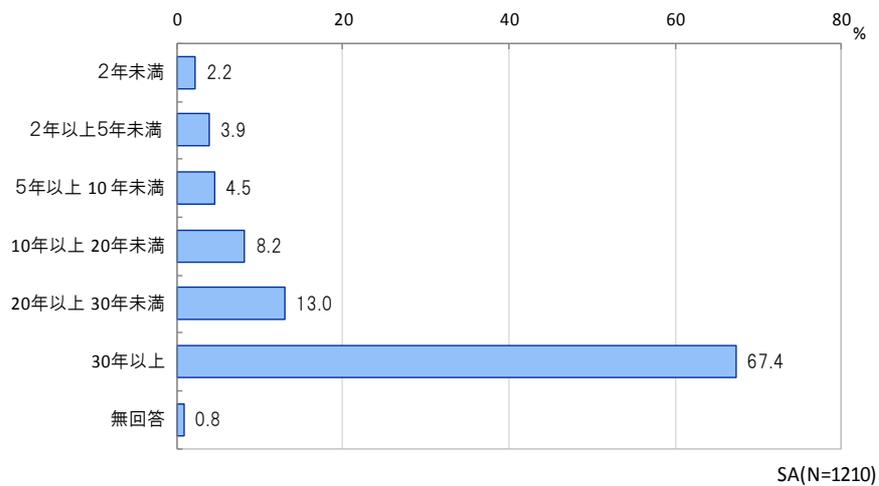
F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)



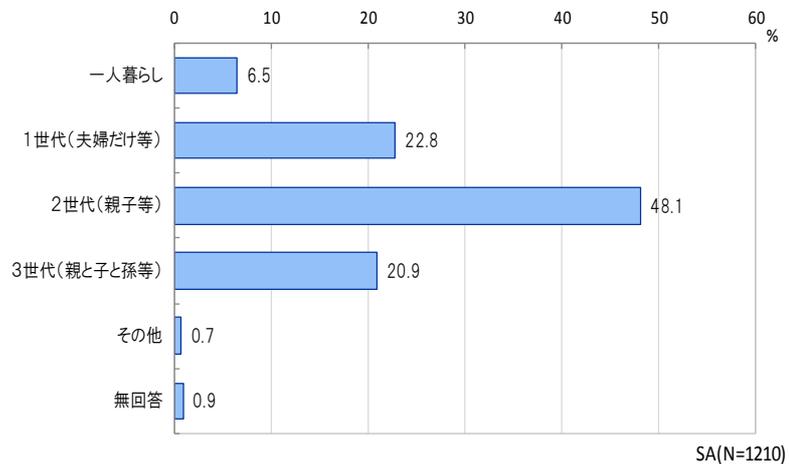
F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)



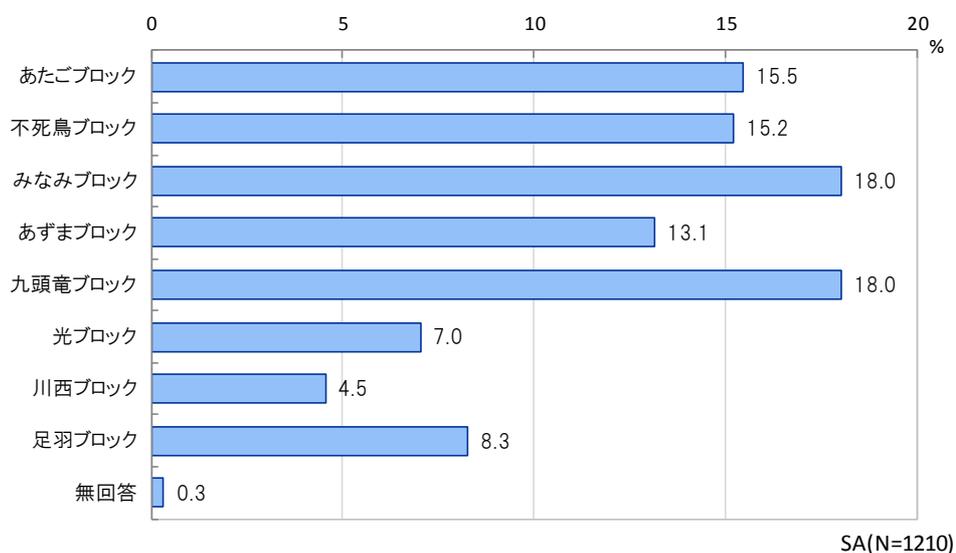
F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)



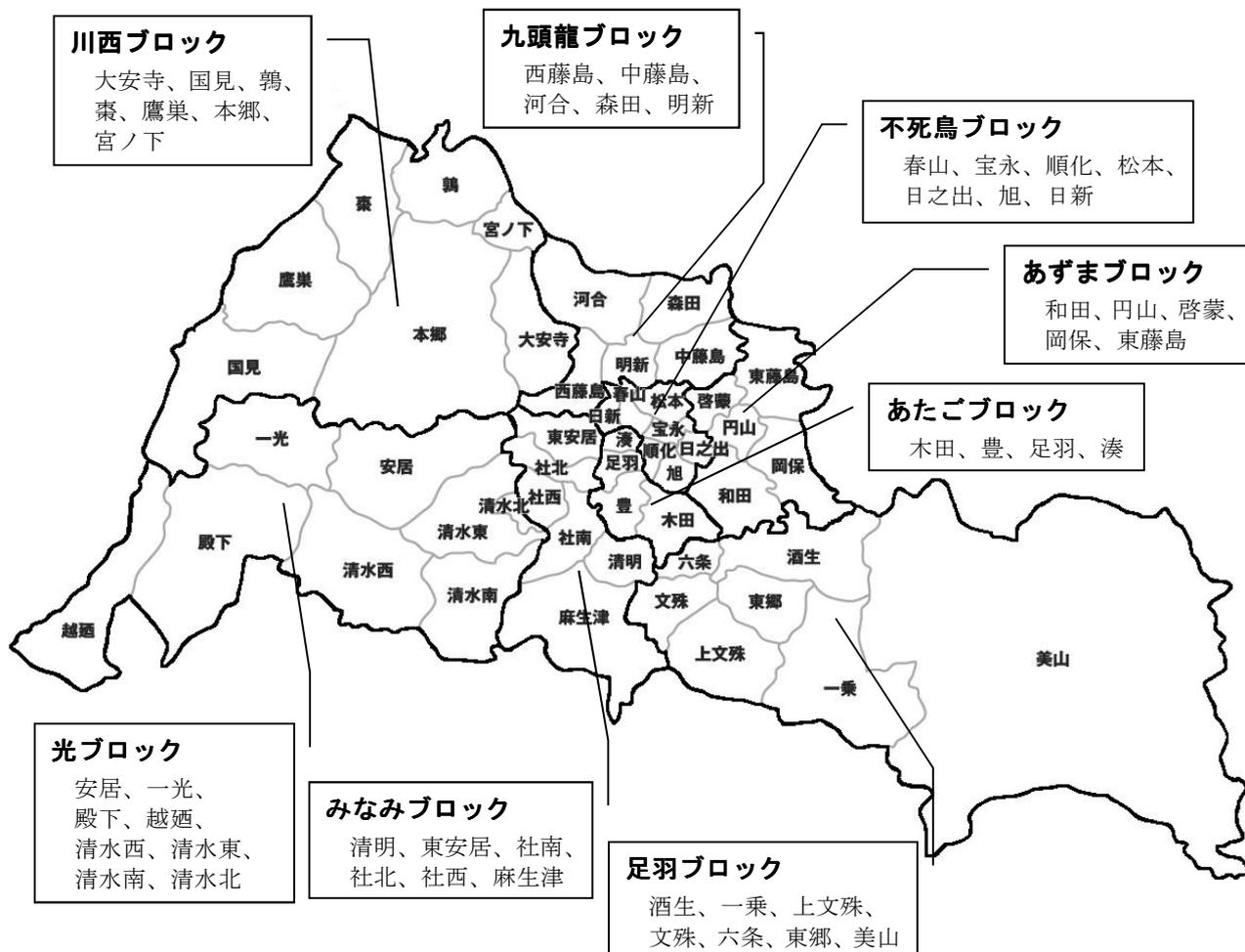
F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)



6 居住ブロック



※各ブロックに含まれる地区名は、次のとおり



### Ⅲ 調査結果

#### ◆市のまちづくりについて

問1 「第六次福井市総合計画」の目標を達成するために福井市が取り組んでいる16の政策について、現在の満足度及び重要度をお聞きします。表中の「政策のポイント」を参考にしていただき、政策全体としての満足度・重要度について、あなたのお考えにもっとも近い番号に○を付けてください。(それぞれ1つ)

政策	政策のポイント
1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わいのある中心市街地をつくる</li> <li>・良好な景観を形成する</li> <li>・快適で秩序ある市街地形成を推進する</li> <li>・北陸新幹線の整備をすすめる</li> </ul>
2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適な市道の整備・維持管理を行う</li> <li>・安心と地域の潤いを創出する河川を整備・保全する</li> <li>・市民の憩いの場としての公園を整備する</li> </ul>
3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水処理施設の普及促進をはかる</li> <li>・汚水処理施設の整備・維持管理を効率的に行う</li> </ul>
4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市ガスの需要拡大をはかる</li> <li>・都市ガスを安全・安定的に供給する</li> <li>・都市ガス事業を健全に経営する</li> </ul>
5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水を安全・安定的に供給する</li> <li>・簡易水道水を安全・安定的に供給する</li> <li>・水道事業を健全に経営する</li> </ul>
6 ともに責任を担う協働のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割と責任を担う協働のまちづくりをすすめる</li> <li>・住民が主体となったまちづくりをすすめる</li> <li>・地域コミュニティの活性化をはかる</li> </ul>
7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生の地域づくりをすすめる</li> <li>・男女共同参画社会をつくる</li> <li>・安全で安心な消費生活をおくることができるようにする</li> </ul>
8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や都市環境を守り育て、将来に伝える</li> <li>・地球規模の環境問題に対応し、持続可能な社会づくりをすすめる</li> </ul>
9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子どもを産み育てられる環境をつくる</li> <li>・お互いが支えあう地域づくりをすすめる</li> <li>・充実した介護の体制づくりをすすめる</li> </ul>
10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・消防体制を整備する</li> <li>・災害時の被害を軽減する</li> <li>・救命率の向上をはかる</li> <li>・火災等から人命と財産を守る</li> </ul>
11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の商工業を振興する</li> <li>・市民が働くことを応援する</li> </ul>
12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井らしさで観光客を増やす</li> <li>・市民が福井の魅力に触れる機会を増やす</li> <li>・様々なツールによる情報発信とイメージアップをはかる</li> </ul>
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業を振興する</li> <li>・農山漁村の生活環境を整備する</li> <li>・地元農林水産物の利活用を推進する</li> </ul>
14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの場としての学校環境を整備する</li> <li>・学校教育を充実する</li> <li>・子どもの健康増進をはかる</li> <li>・子どもの健全な育成をはかる</li> </ul>
15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生涯学習を支援する</li> <li>・市民の生涯スポーツを支援する</li> </ul>
16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の誇りとなる文化を振興する</li> <li>・文化芸術活動の担い手の育成を支援する</li> <li>・文化芸術活動の交流と発信を促進する</li> <li>・歴史や文化遺産を保存継承する</li> </ul>

## 満足度と不満度について

満足度（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の上位3位は、高い順に「安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる」（85.6%）、「生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる」（77.1%）、「健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる」（65.6%）となっている（カッコ内は満足度の割合）。

また、不満度（「不満」と「やや不満」の合計）の上位3位は、高い順に「福井の魅力を発信する観光のまちをつくる」（57.9%）、「県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる」（56.1%）、「活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる」（49.1%）となっている（カッコ内は不満度の割合）。

政策	満足度	満足度 順位	不満度	不満度 順位
1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	38.8	15位	56.1	2位
2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	51.4	13位	44.1	4位
3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	77.1	2位	17.9	15位
4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる	61.4	5位	28.9	13位
5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	85.6	1位	9.8	16位
6 とともに責任を担う協働のまちをつくる	54.5	11位	39.0	7位
7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる	56.7	9位	37.5	8位
8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	60.6	6位	33.0	11位
9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる	54.6	10位	39.9	6位
10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	65.1	4位	29.0	12位
11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	44.1	14位	49.1	3位
12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	35.7	16位	57.9	1位
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	52.6	12位	40.3	5位
14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	65.6	3位	27.8	14位
15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる	58.9	7位	34.2	10位
16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	57.1	8位	36.3	9位

## 「重要である」と「重要でない」について

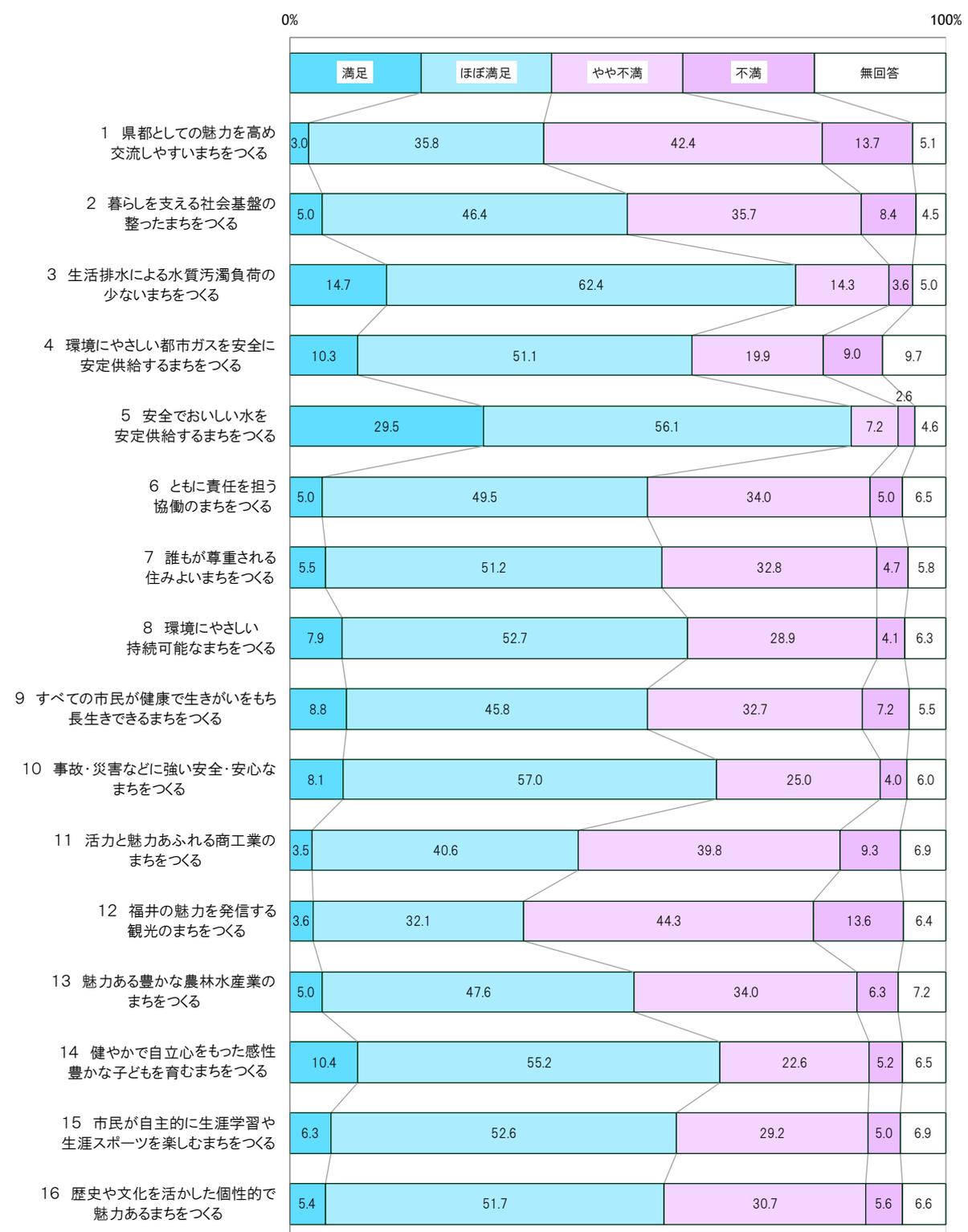
「重要である」（「重要」と「やや重要」の合計）の上位3位は、高い順に「すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる」（91.9%）、「事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる」（91.6%）、「安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる」（91.1%）となっている（カッコ内は「重要である」の割合）。

また「重要でない」（「あまり重要でない」と「重要でない」の合計）の上位3位は、「環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる」（29.0%）、「市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる」（17.9%）、「歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる」（16.7%）となっている（カッコ内は「重要でない」の割合）。

政策	「重要である」	「重要である」順位	「重要でない」	「重要でない」順位
1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	83.3	9位	10.8	7位
2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	89.4	6位	4.6	11位
3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	89.7	5位	4.5	12位
4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる	62.4	16位	29.0	1位
5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	91.1	3位	3.1	13位
6 とともに責任を担う協働のまちをつくる	78.0	13位	14.8	4位
7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる	81.5	12位	11.8	5位
8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	86.0	8位	7.7	9位
9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる	91.9	1位	2.4	15位
10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	91.6	2位	2.2	16位
11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	86.7	7位	6.4	10位
12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	82.8	10位	10.5	8位
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	82.0	11位	11.0	6位
14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	91.0	4位	2.4	14位
15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる	76.0	15位	17.9	2位
16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	77.0	14位	16.7	3位

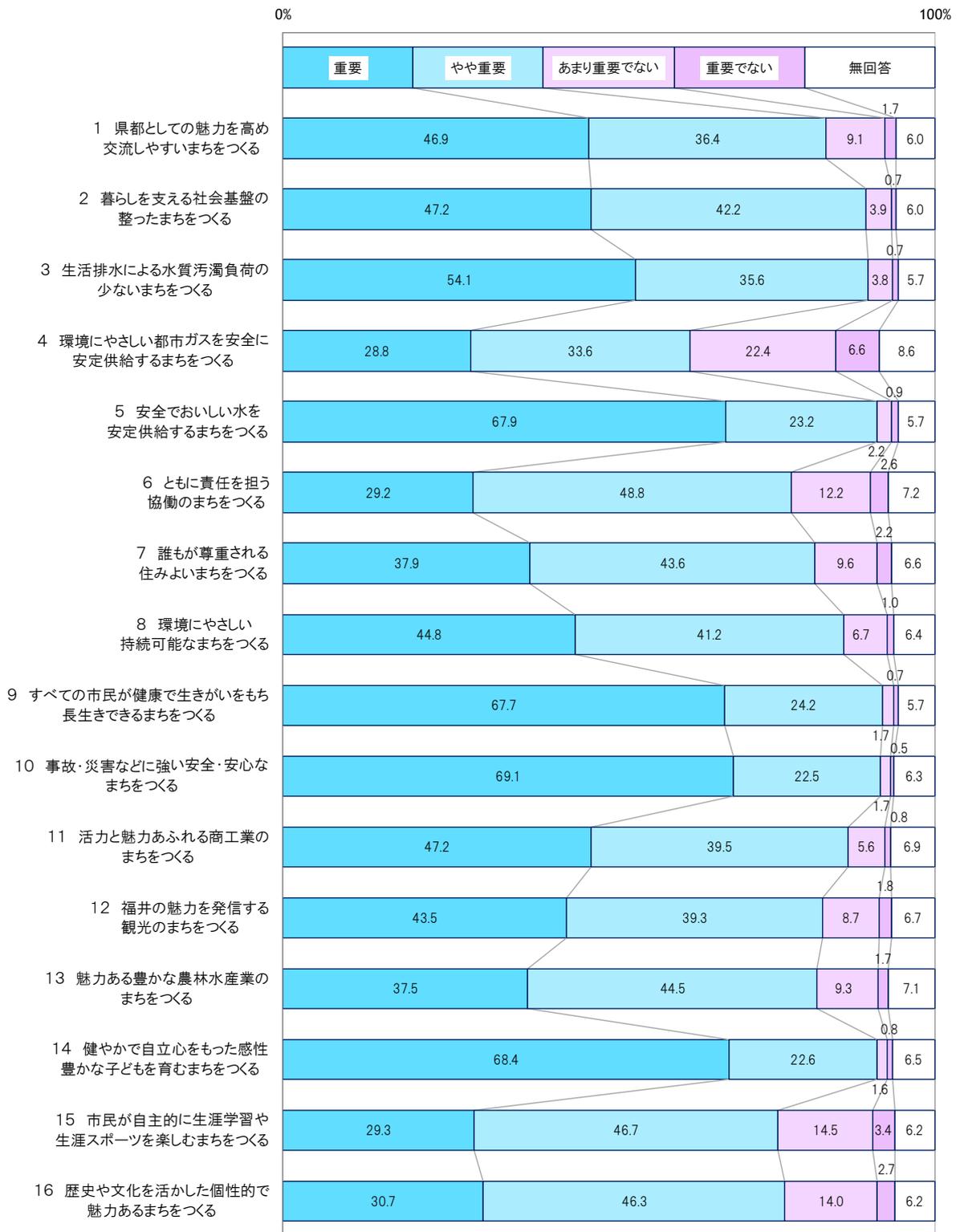
全政策の回答割合

満足度



SA(N=1210)

## 重要度



SA(N=1210)

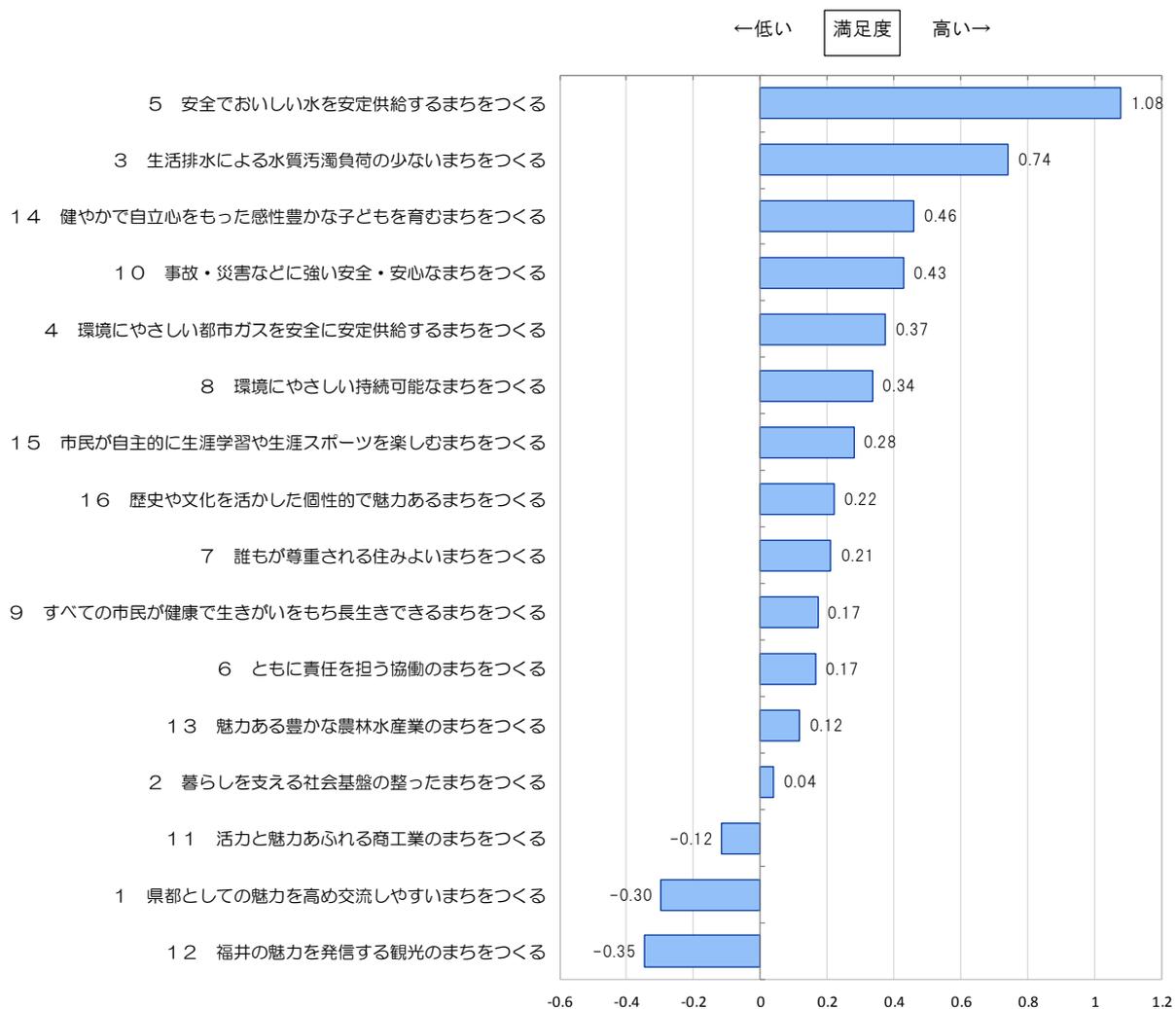
## 満足度の評価点

満足度を総合的に評価するため、以下のように回答内容と配点を乗じて点数化し、その合計を有効回答数で除した結果が次のグラフである。

満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点

評価点の上位をみると、高い順に「安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる」(1.08)、「生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる」(0.74)、「健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる」(0.46)となっている。

また下位は、低い順に「福井の魅力を発信する観光のまちをつくる」(-0.35)、「県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる」(-0.30)、「活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる」(-0.12)となっている(カッコ内は評価点)。ただし、評価点の順位は、「満足度」の順位とは必ずしも一致しない。



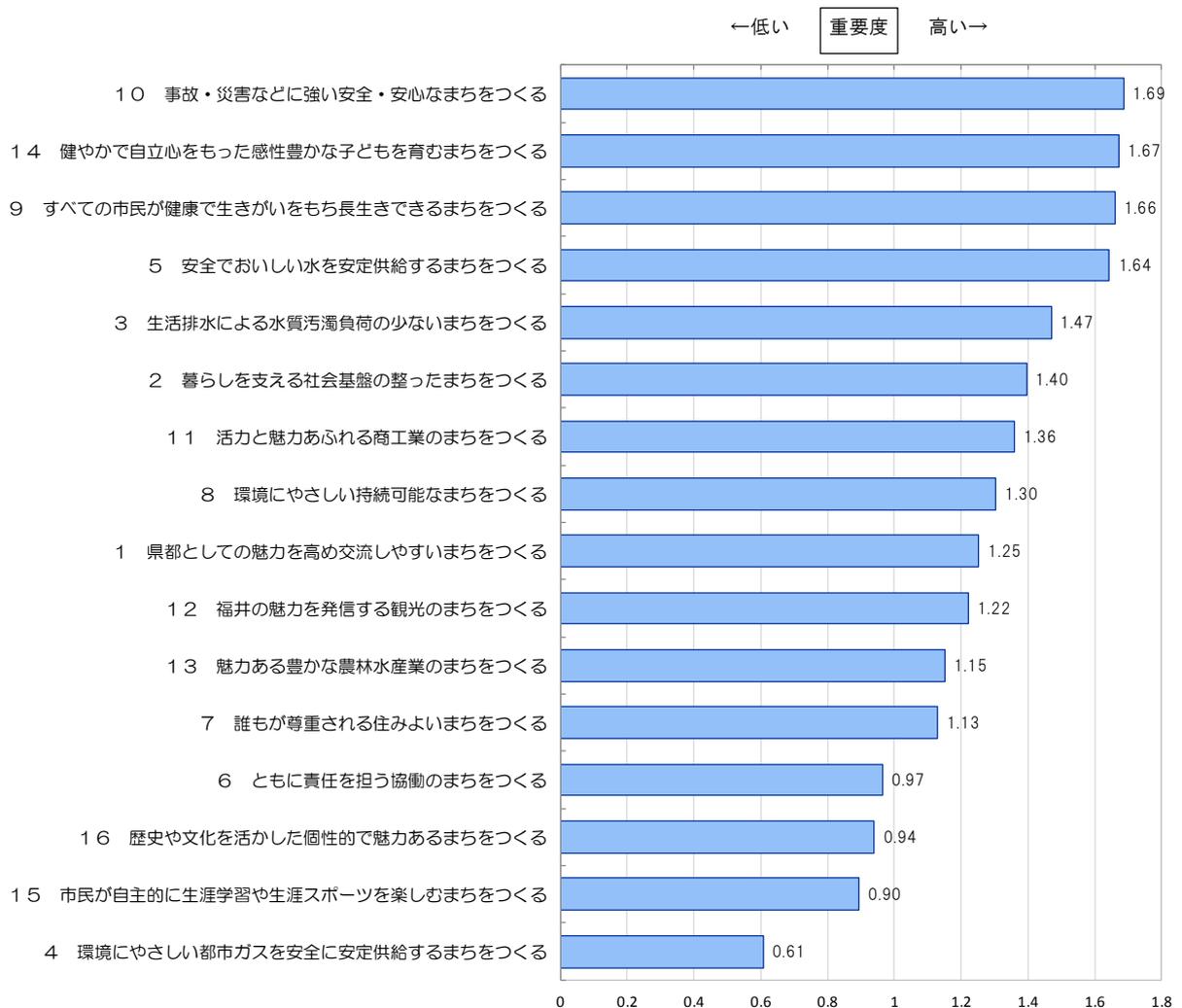
## 重要度の評価点

重要度を総合的に評価するため、以下のように回答内容と配点を乗じて点数化し、その合計を有効回答数で除した結果が次のグラフである。

重要：2点、やや重要：1点、あまり重要でない：-1点、重要でない：-2点

評価点の上位をみると、高い順に「事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる」(1.69)、「健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる」(1.67)、「すべての市民が健康で生きがいもち長生きできるまちをつくる」(1.66)となっている。

また下位は、低い順に「環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる」(0.61)、「市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる」(0.90)、「歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる」(0.94)となっている（カッコ内は評価点）。ただし、評価点の順位は、「重要度」の順位とは必ずしも一致しない。



## 満足度評価点 5か年の比較

満足度評価点を過去の結果と比較すると、今年度の満足度評価点は、16政策中12が前年度評価点を上回っている。また、第六次総合計画に係る政策の満足度調査を開始した平成24年度からの5か年で比較すると、16政策中6政策において、今年度が最も高い満足度評価点となっている。

政策	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	24-28 の比較
1 県都	-0.46	-0.50	-0.49	-0.57	-0.30	0.16
2 社会基盤	0.11	0.02	0.07	-0.04	0.04	△0.07
3 水質汚濁負荷	0.70	0.67	0.73	0.72	0.74	0.04
4 都市ガス	0.32	0.33	0.33	0.30	0.37	0.05
5 おいしい水	1.01	1.05	0.99	1.03	1.08	0.07
6 協働のまち	0.17	0.14	0.16	0.08	0.17	0.00
7 住みよいまち	0.28	0.22	0.26	0.13	0.21	△0.07
8 環境	0.26	0.20	0.30	0.28	0.34	0.08
9 健康	0.20	0.19	0.25	0.10	0.17	△0.03
10 安全・安心	0.42	0.39	0.48	0.46	0.43	0.01
11 商工業	-0.24	-0.22	-0.10	-0.13	-0.12	0.12
12 観光	-0.42	-0.42	-0.37	-0.48	-0.35	0.07
13 農林水産業	0.08	0.04	0.15	0.04	0.12	0.04
14 子ども	0.41	0.37	0.51	0.49	0.46	0.05
15 生涯学習	0.35	0.37	0.34	0.37	0.28	△0.07
16 歴史や文化	0.30	0.29	0.28	0.24	0.22	△0.08

※網掛けは、5か年中満足度が最も高かった年度

## 重要度評価点 5か年の比較

重要度評価点を過去の結果と比較すると、今年度の重要度評価点は、16政策すべてが前年度評価点を上回っている。また、第六次総合計画に係る政策の重要度調査を開始した平成24年度からの5か年で比較すると、16政策中10政策において、今年度が最も高い重要度評価点となっている。

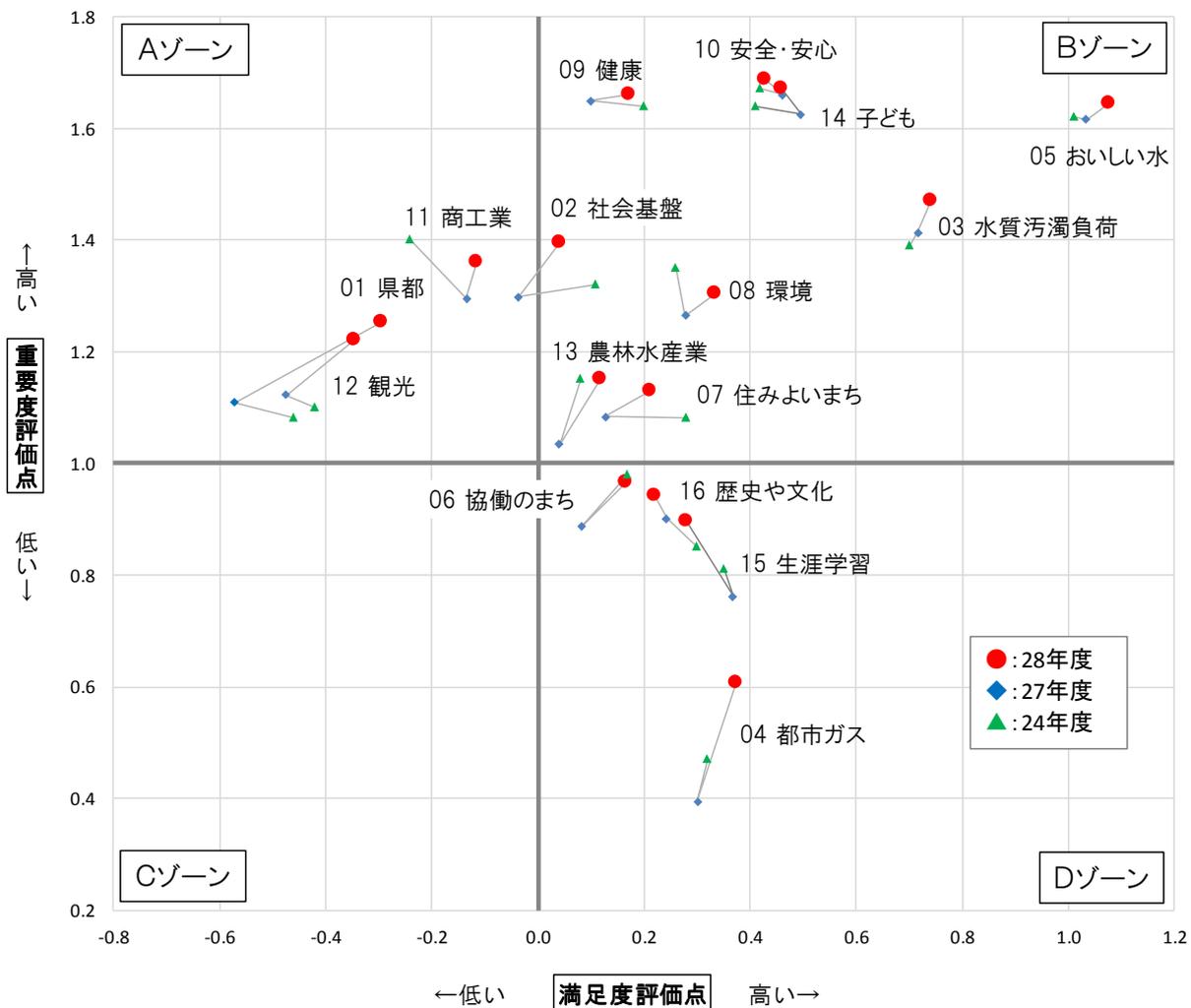
政策	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	24-28 の比較
1 県都	1.08	1.12	1.23	1.11	1.25	0.17
2 社会基盤	1.32	1.31	1.31	1.30	1.40	0.08
3 水質汚濁負荷	1.39	1.45	1.39	1.41	1.47	0.08
4 都市ガス	0.47	0.46	0.45	0.39	0.61	0.14
5 おいしい水	1.62	1.67	1.55	1.62	1.64	0.02
6 協働のまち	0.98	0.93	0.82	0.89	0.97	△0.01
7 住みよいまち	1.08	1.11	0.99	1.08	1.13	0.05
8 環境	1.35	1.38	1.24	1.26	1.30	△0.05
9 健康	1.64	1.67	1.62	1.65	1.66	0.02
10 安全・安心	1.67	1.68	1.65	1.66	1.69	0.02
11 商工業	1.40	1.37	1.28	1.30	1.36	△0.04
12 観光	1.10	1.13	1.13	1.12	1.22	0.12
13 農林水産業	1.15	1.11	1.01	1.03	1.15	0.00
14 子ども	1.64	1.69	1.59	1.62	1.67	0.03
15 生涯学習	0.81	0.82	0.75	0.76	0.90	0.09
16 歴史や文化	0.85	0.91	0.87	0.90	0.94	0.09

※網掛けは、5か年中重要度が最も高かった年度

## 満足度評価点と重要度評価点の関係

満足度評価点を横軸に、重要度評価点を縦軸にとり、各政策の位置を表したのが次のグラフである。2つの評価点の関係によって各政策を相対的に表すために、グラフ中、太字で示された縦横の中心線でAからDの4つのゾーンに分け、各政策を分類した。しかしながら、中心線に近くなるほど隣接するゾーンの要素も含まれてくることになるため、これをもって今後の政策の方向性を明確に分類するものではない。

満足度評価点と重要度評価点の相関図（24年度・前年度・今年度の推移）



満足度評価点と重要度評価点の関係を見ると、第六次総合計画に係る政策の満足度、重要度調査を開始した平成24年度から、一貫して各政策のゾーン位置に大きな変化はみられない。ただし、「社会基盤」については、今年度はプラスに転じており、AゾーンからBゾーンに移動した。

各ゾーンに分布する政策を見ると、Aゾーンに位置する政策は、重要度は高いものの、満足度は他の政策に比べて低いとされたものであり、「県都」、「商工業」「観光」、といった政策が位置している。今年度においては、この3政策はいずれも、満足度、重要度共に昨年度からポイントを上昇させている。

Bゾーンに位置する政策は、満足度と重要度が共に高い政策である。全体の半数にあたる9政策がこのゾーンに位置しており、今年度調査では「社会基盤」がAゾーンから移動した。

「安全・安心」、「福祉」、「教育」、「上・下水道」といった市民生活に密着した政策の重要度評価点が高く、これらの政策は平成24年度の調査開始から一貫して高い評価点を保っている。今後も継続的に政策の改善を図り、更に満足度を高めていく必要がある。

Cゾーンに位置する政策は、満足度と重要度が共に低いゾーンであるが、このゾーンに位置する政策はない。

Dゾーンに位置する政策は、重要度は他の政策に比べて低いが、満足度は高いとされたものであり、「歴史・文化」、「生涯学習」、「協働」、「都市ガス」といった政策が位置している。これらは一定の満足度を得られているが、認知度の低さが重要度に現れている可能性があるため、今後も着実に政策を推進するとともに、その重要性についても認知度を高めていく必要がある。

＜参考＞ 第六次福井市総合計画 体系図

将来都市像

基本目標

政策

自然・活気・誇りにみちた  
人が輝く  
かえりたくなるまち  
ふくい

[基本目標1]

みんなが快適に暮らすまち

政策1

県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる

政策2

暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる

政策3

生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる

政策4

環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる

政策5

安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる

政策6

ともに責任を担う協働のまちをつくる

政策7

誰もが尊重される住みよいまちをつくる

政策8

環境にやさしい持続可能なまちをつくる

政策9

すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる

政策10

事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる

[基本目標2]

みんなで作る住みよいまち

政策11

活気と魅力あふれる商工業のまちをつくる

政策12

福井の魅力を発信する観光のまちをつくる

政策13

魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる

[基本目標3]

みんなが生き生きと働くまち

政策14

健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる

政策15

市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる

政策16

歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる

[基本目標4]

みんなが学び成長するまち

## 政策の満足度・重要度について

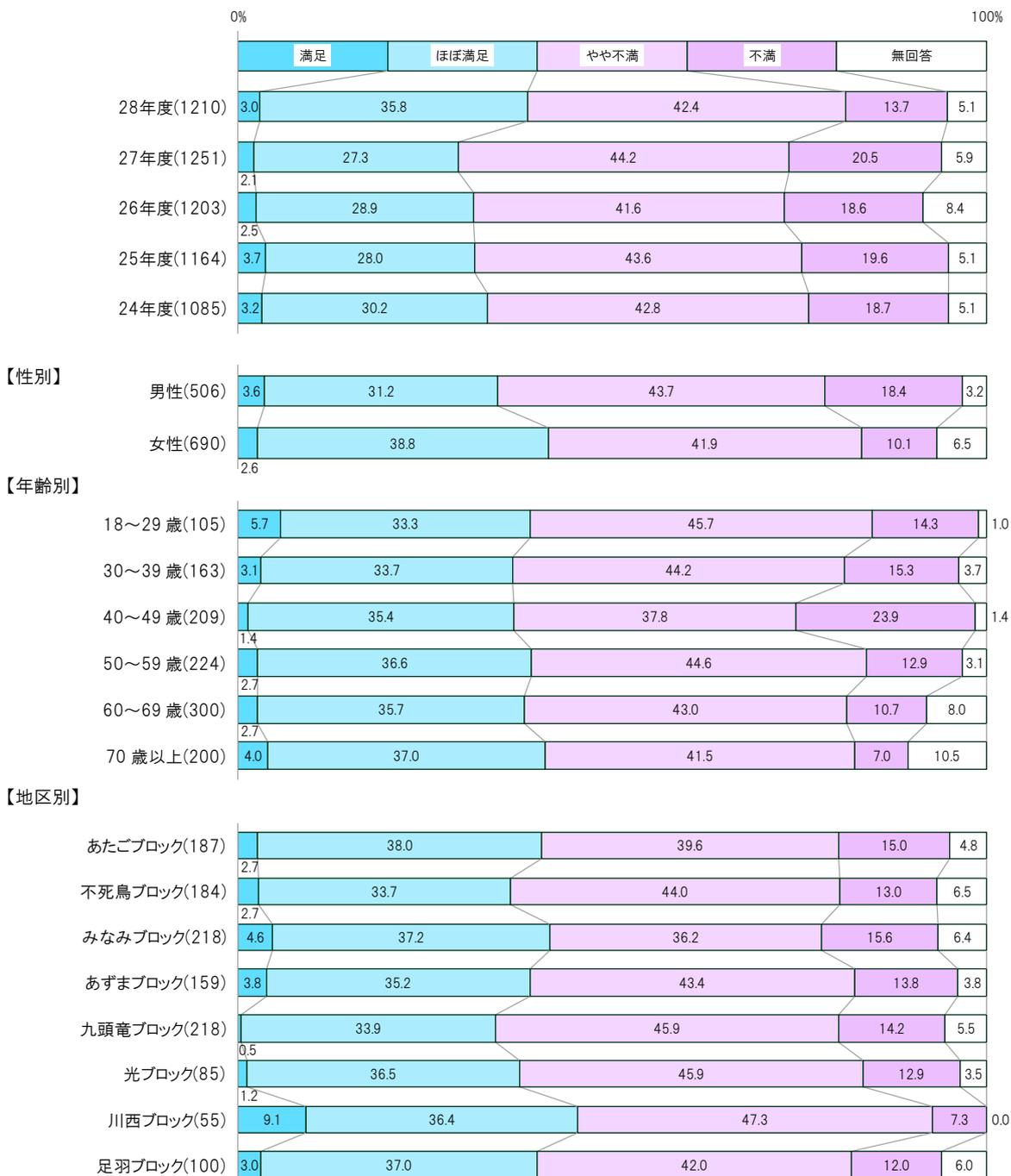
# 1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる

## 満足度

### 「女性」の満足度が高い

満足度は38.8%、不満度は56.1%と、不満度が満足度を17.3ポイント上回っている。平成27年度調査（以下「27年度」という。）（29.4%）と比べて、満足度は9.4ポイント高くなっている。

性別では、満足度は女性（41.4%）が男性（34.8%）より6.6ポイント高い。年齢、地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

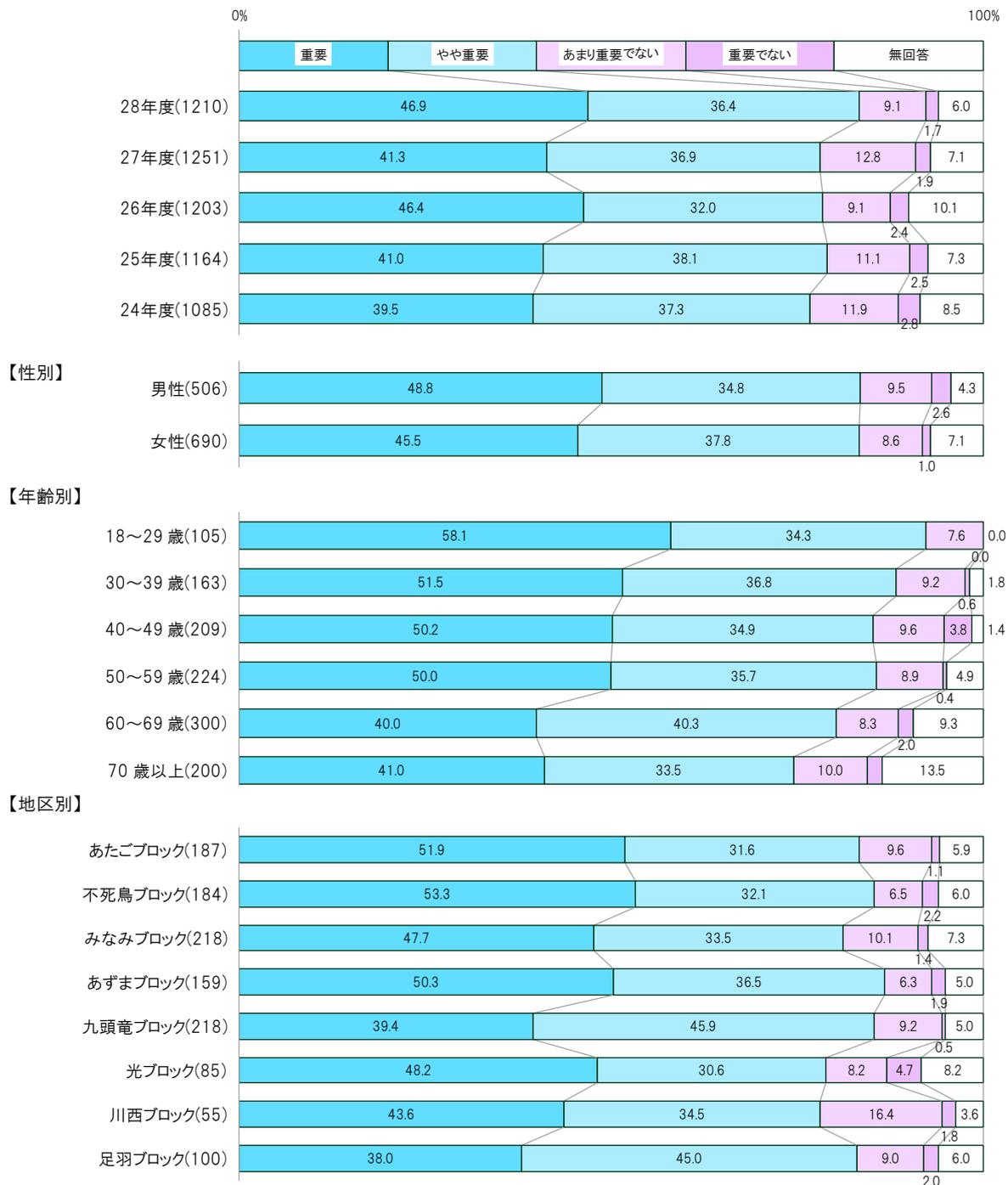


重要度

若い世代ほど重要度が高い

「重要である」は83.3%、「重要でない」が10.8%と、「重要である」が「重要でない」を72.5ポイント上回っている。27年度(78.2%)と比べて、「重要である」は5.1ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は若い世代ほど、その割合が高くなっている。性別、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



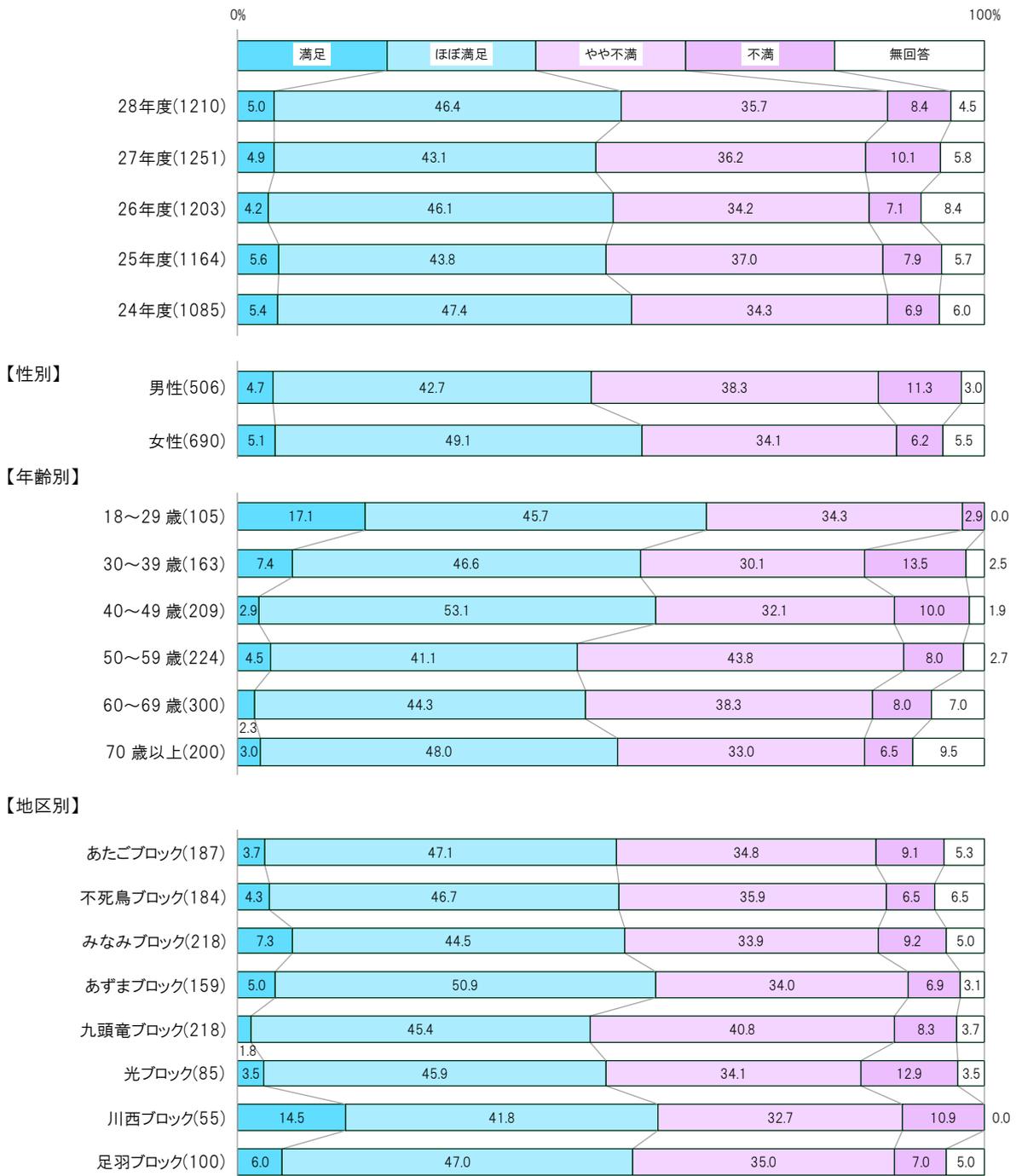
## 2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる

### 満足度

#### 「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 51.4%、不満度は 44.1%と、満足度が不満度を 7.3 ポイント上回っている。27 年度との差は、満足度、重要度共に見られない。

性別では、満足度は女性(54.2%)が男性(47.4%)より 6.8 ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳(62.8%)が最も高く、その他の年代より 6.8～17.2 ポイント高くなっている。地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

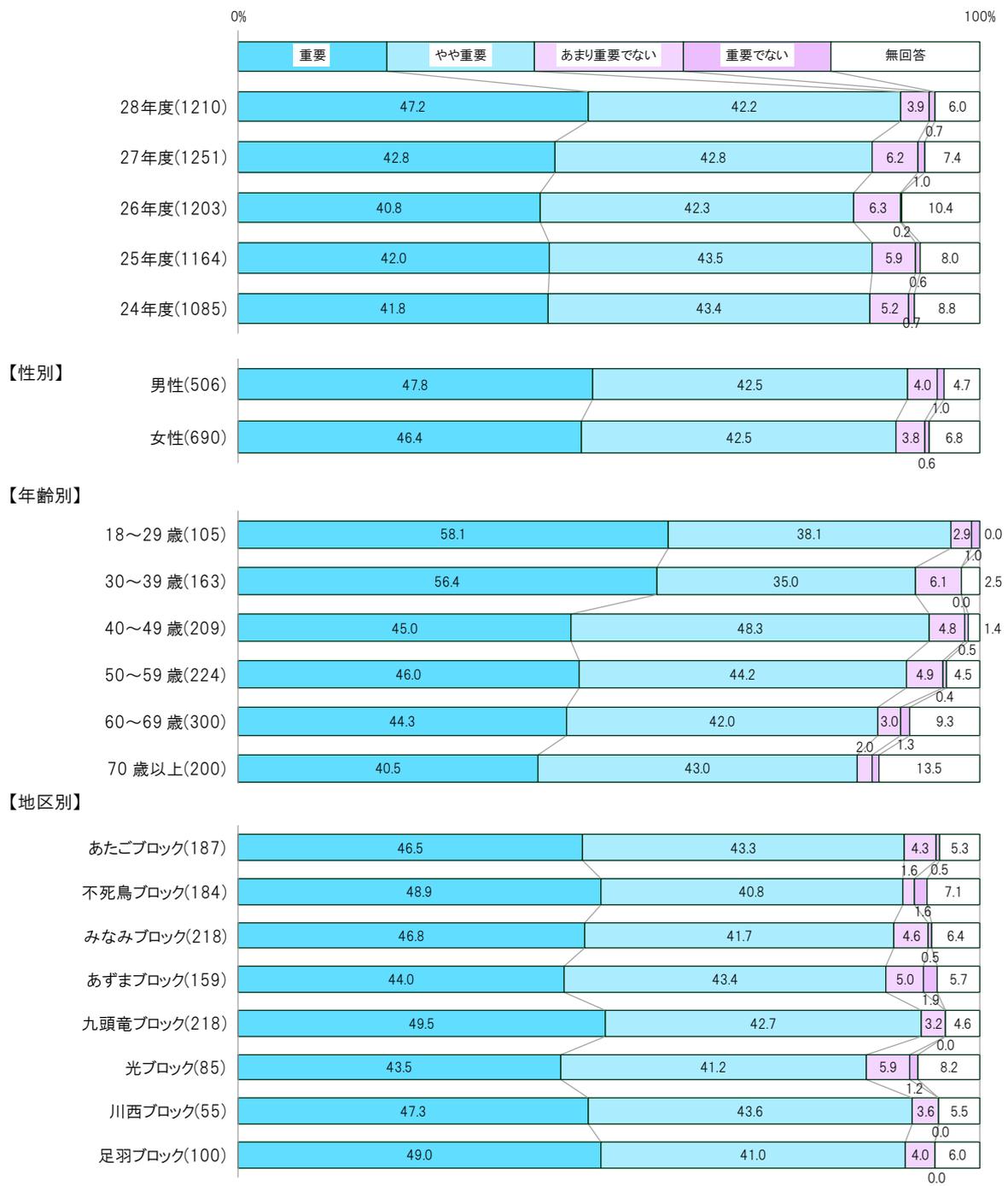


**重要度**

**「若い世代」の“重要”と回答した割合が高い**

「重要である」は89.4%、「重要でない」は4.6%と、「重要である」が「重要でない」を84.8ポイント上回っている。27年度(85.6%)と比べて、「重要である」は3.8ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」「重要でない」共に差は見られないが、“重要”と回答した割合は、若い世代が高くなっている。性別、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



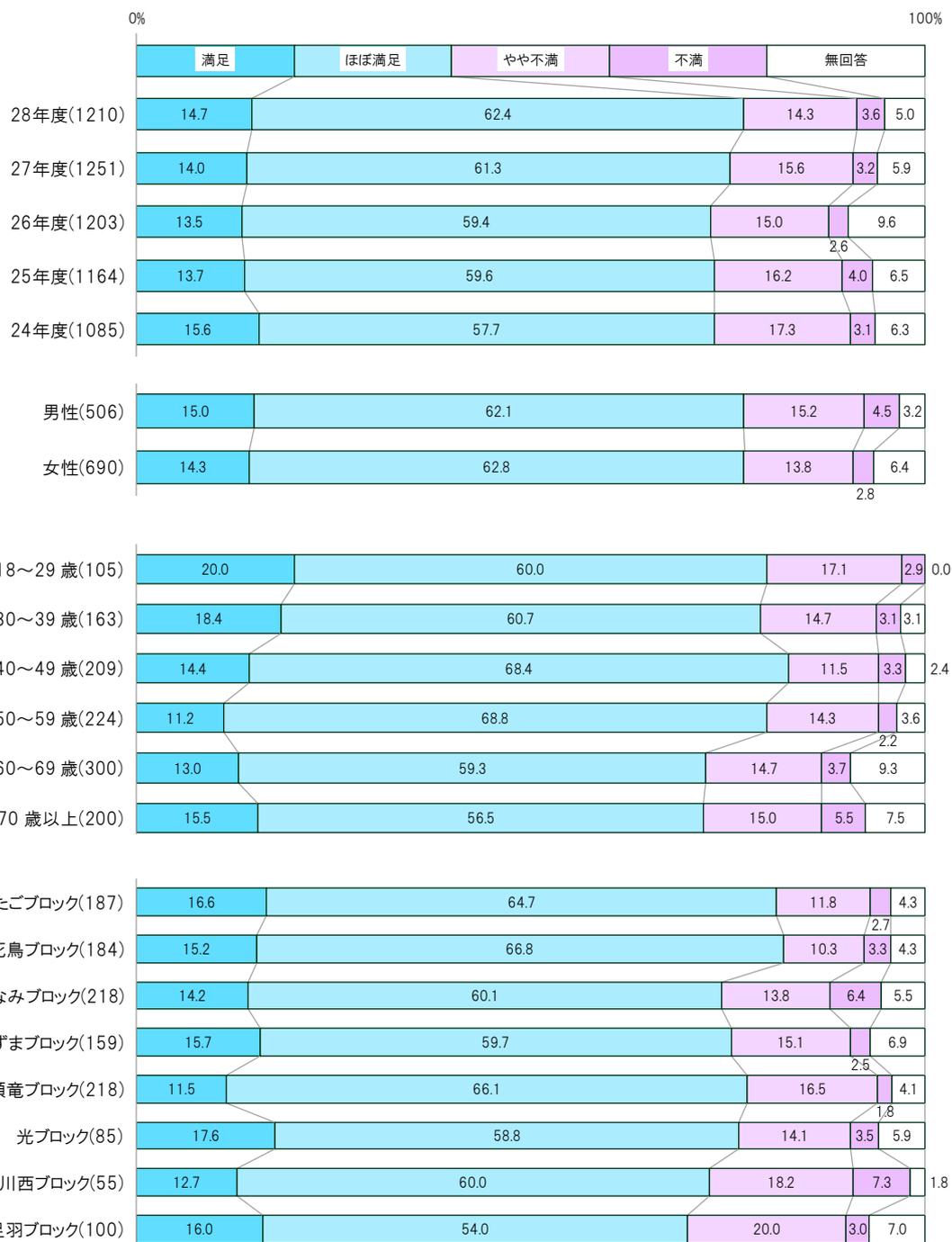
### 3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる

#### 満足度

#### 「18～29 歳」から「50～59 歳」までの年代で満足度が高い

満足度は 77.1%、不満度は 17.9%と、満足度が不満度を 59.2 ポイント上回っている。27 年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳から 50～59 歳(80.0%)までの年代で、その割合が高くなっている。性別、地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

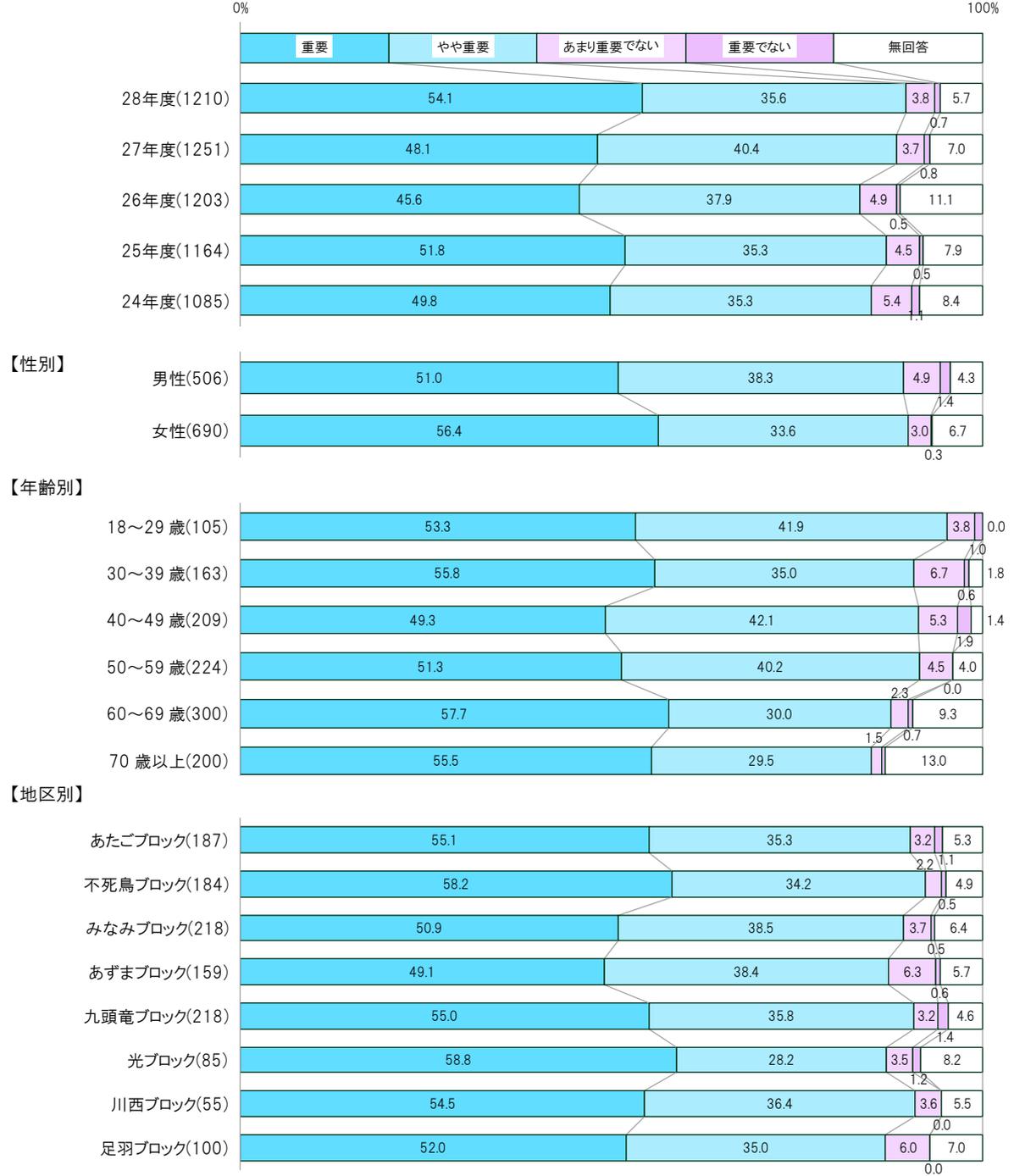


重要度

「女性」の“重要”と回答した割合が高い

「重要である」は89.7%、「重要でない」は4.5%と、「重要である」が「重要でない」を85.2ポイント上回っている。27年度との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

性別では、「重要である」には差が見られないが、“重要”と回答した割合は、女性(56.4%)が男性(51.0%)より5.4ポイント高い。年齢、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



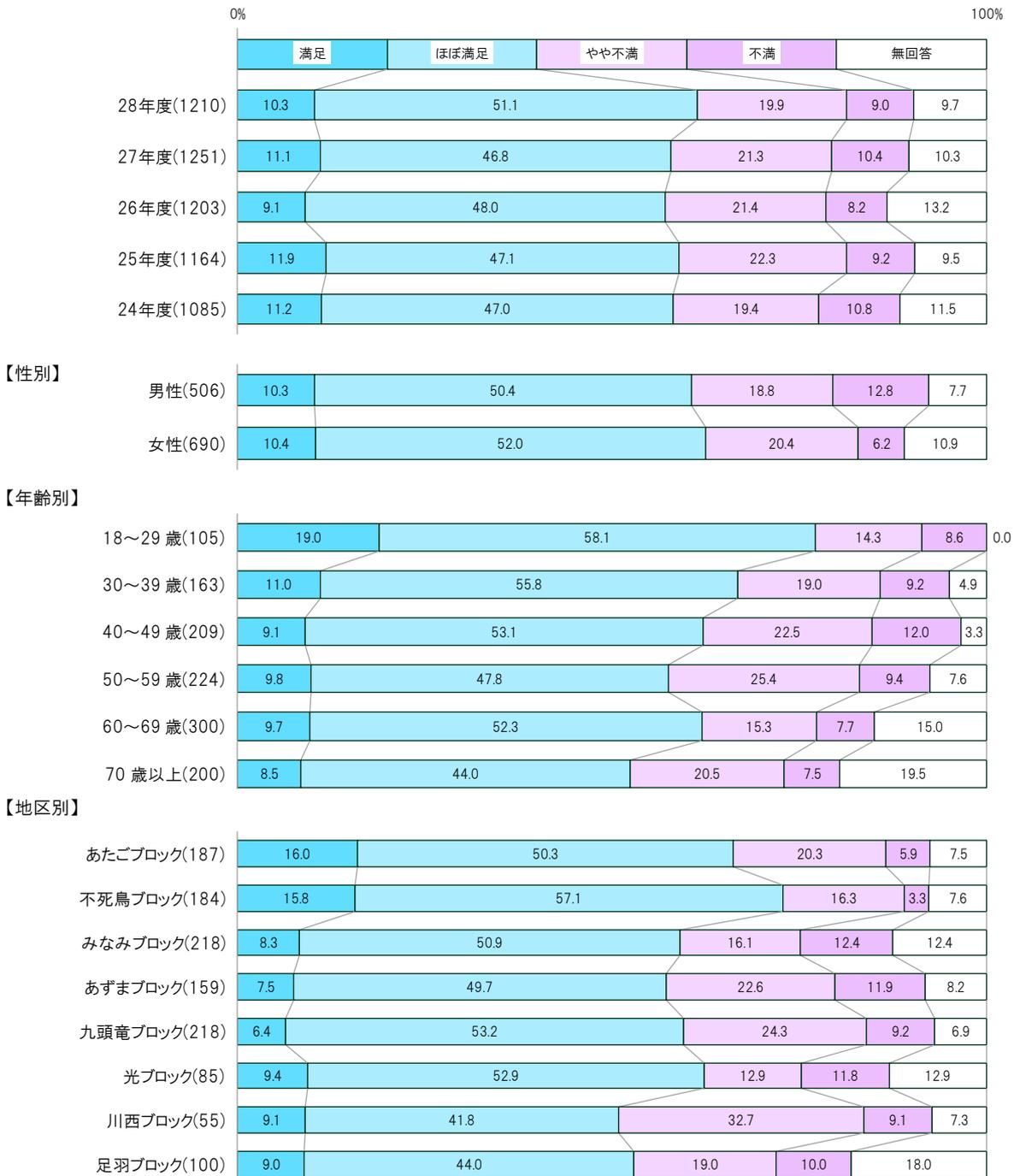
#### 4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる

##### 満足度

##### 「18～29 歳」と「不死鳥ブロック」の満足度が高い

満足度は 61.4%、不満度は 28.9%と、満足度が不満度を 32.5 ポイント上回っている。27 年度との差は満足度、不満度共に見られない。

性別では、満足度には差が見られないが、不満度は、女性(26.6%)が男性(31.6%)より 5.0 ポイント低い。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳 (77.1%)が最も高く、その他の年代より 10.3～24.6 ポイント高くなっている。地区別では、満足度は不死鳥ブロック(72.9%)が最も高く、その他の地区より 6.6～22.0 ポイント高くなっている。

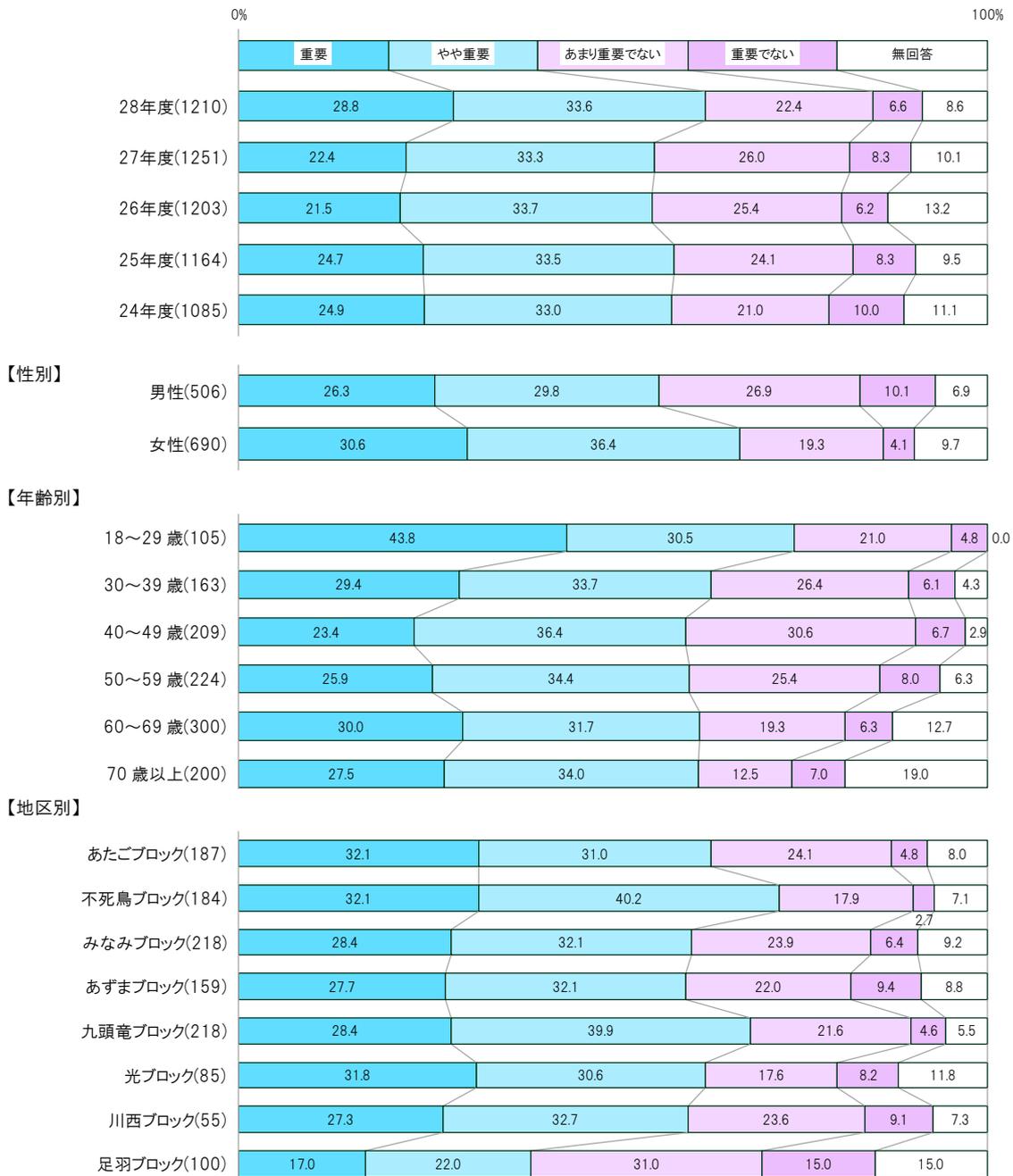


重要度

「女性」と「18～29 歳」の重要度が高い

「重要である」は62.4%、「重要でない」は29.0%と、「重要である」が「重要でない」を33.4ポイント上回っている。27年度(55.7%)と比べて、「重要である」は6.7ポイント高くなっている。

性別では、「重要である」は女性(67.0%)が男性(56.1%)より10.9ポイント高い。年齢別に見ると、「重要である」は18～29歳(74.3%)が最も高く、その他の年代より11.2～14.5ポイント高くなっている。地区別では「重要である」は不死鳥ブロック(72.3%)、九頭竜ブロック(68.3%)が高い。



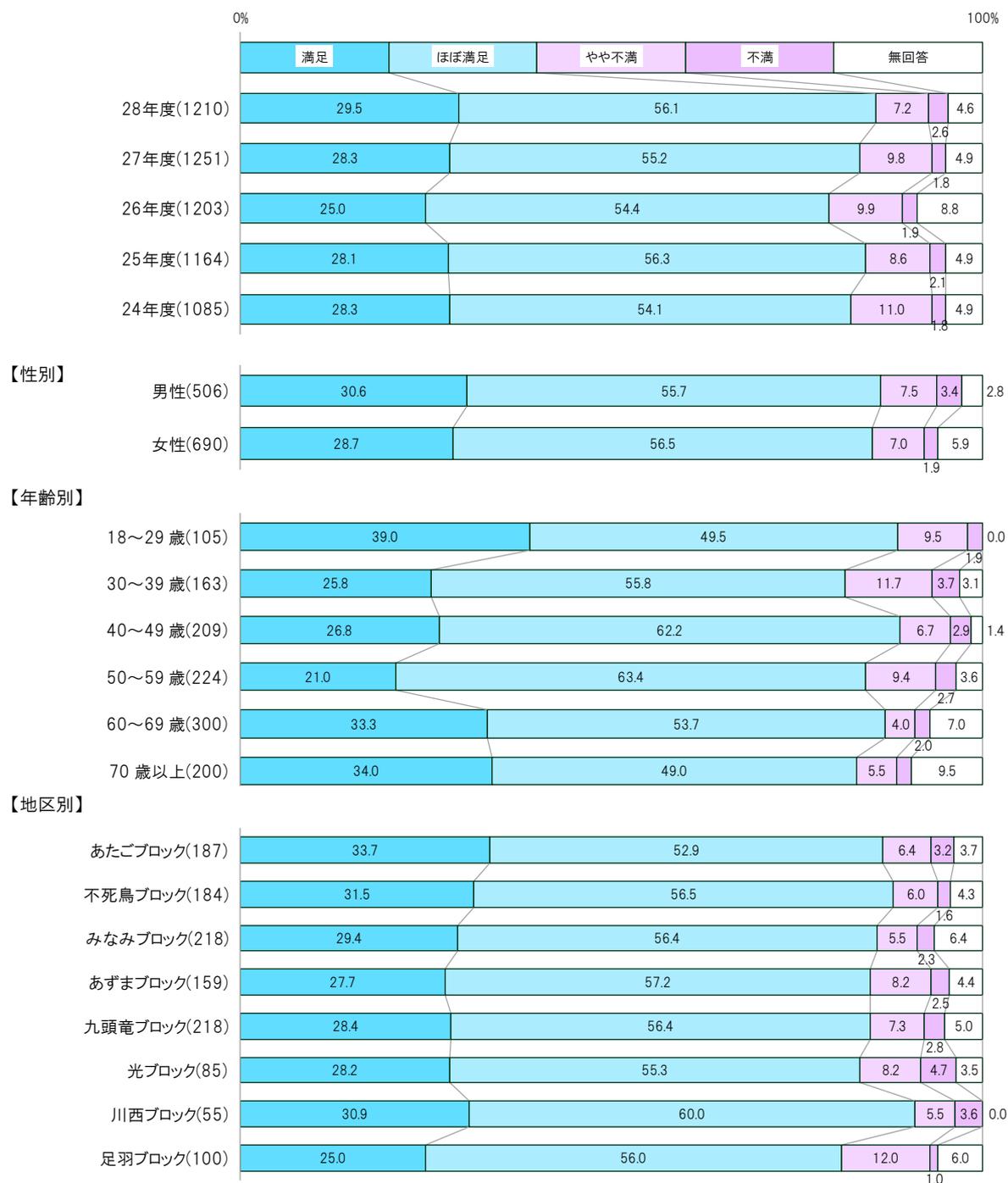
## 5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる

### 満足度

#### 「18～29 歳」の“満足”と回答した割合が高い

満足度は 85.6%、不満度は 9.8%と、満足度が不満度を 75.8 ポイント上回っている。特に、この政策は 16 政策中最も高い満足度となっている。27 年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

年齢別に見ると、満足度には差が見られないが、“満足”と回答した割合は 18～29 歳 (39.0%) が最も高く、その他の年代より 5.0～18.0 ポイント高くなっている。性別、地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

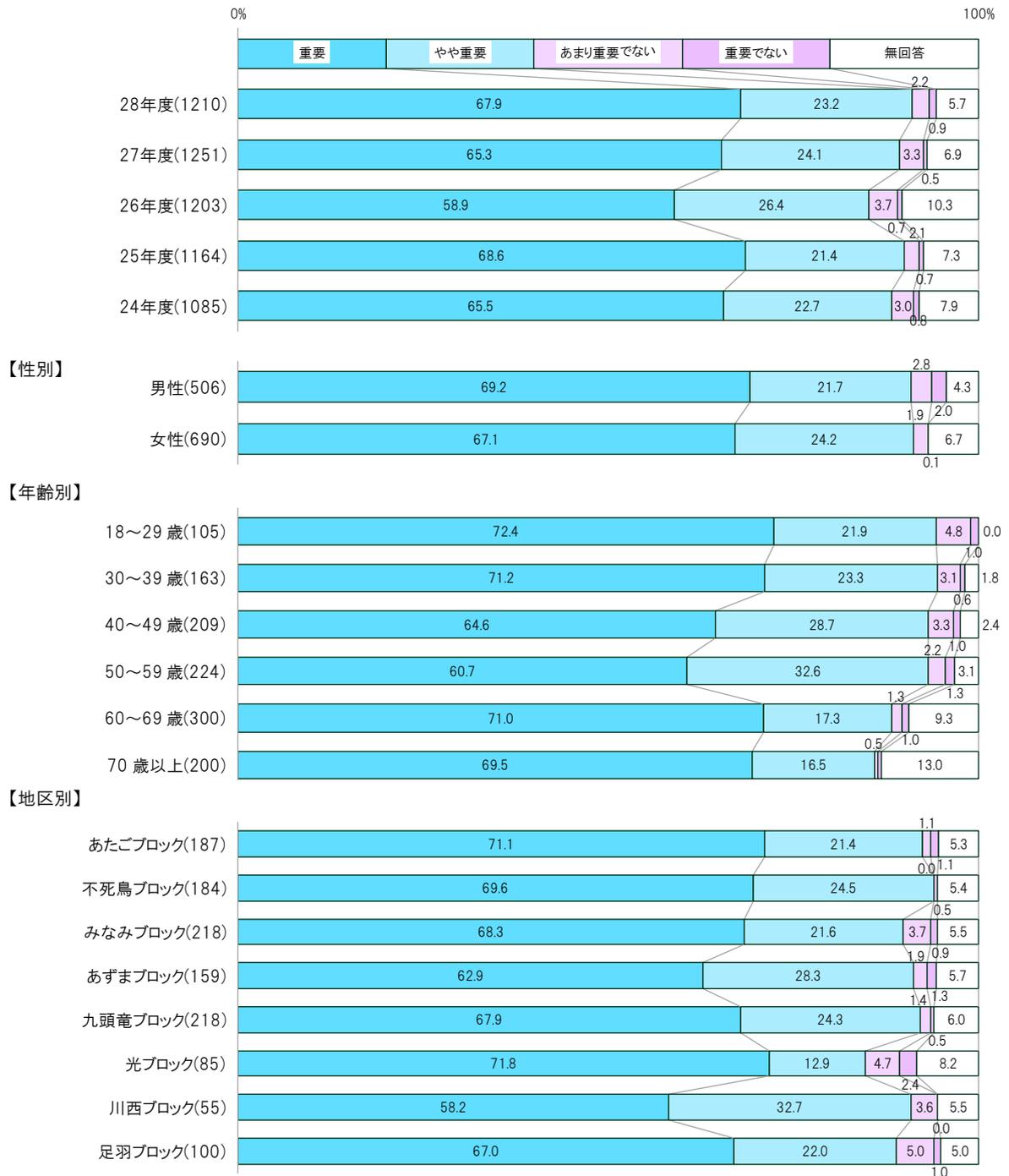


重要度

「18～29 歳」から「50 歳～59 歳」までの年代で重要度が高い

「重要である」は91.1%、「重要でない」は3.1%と、「重要である」が「重要でない」を88.0ポイント上回っている。27年度との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

年齢別に見ると、「重要である」は18～29歳(94.3%)から50～59歳(93.3%)までの年代で、その割合が高くなっている。性別、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



## 6 とともに責任を担う協働のまちをつくる

### 満足度

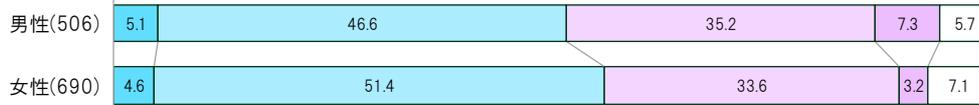
#### 「18～29 歳」から「40～49 歳」までの年代で満足度が高い

満足度が 54.5%、不満度が 39.0%と、満足度が不満度を 15.5 ポイント上回っている。27 年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

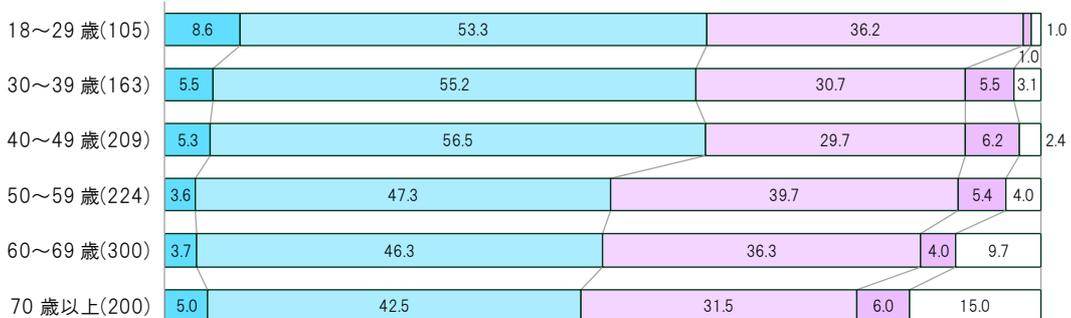
性別では、満足度には差が見られないが、不満度は、女性(36.8%)が男性(42.5%)より 5.7 ポイント低い。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳(61.9%)から 40～49 歳(61.8%)までの年代で、その割合が高くなっている。地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。



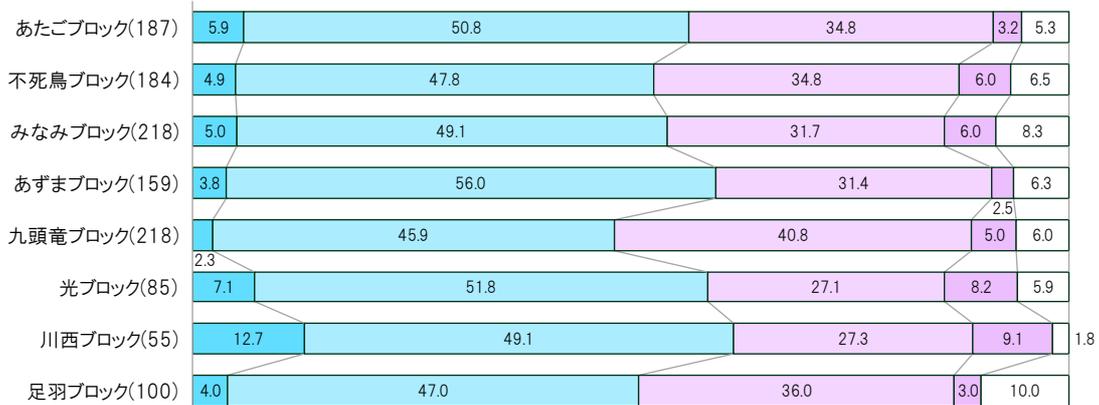
#### 【性別】



#### 【年齢別】



#### 【地区別】

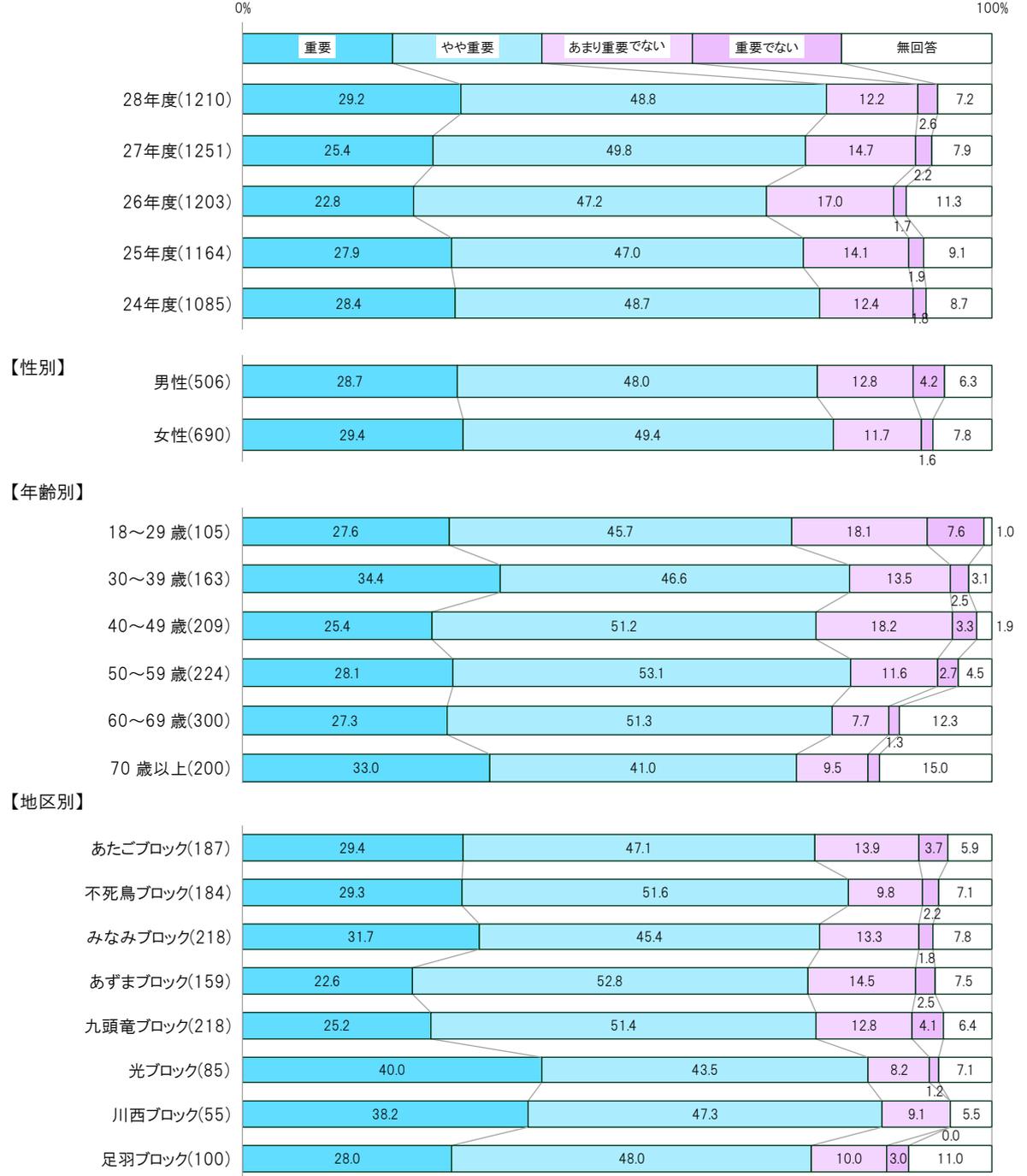


**重要度**

**属性による差が少ない**

「重要である」は78.0%、「重要でない」は14.8%と、「重要である」が「重要でない」を63.2ポイント上回っている。27年度との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

年齢別に見ると、「重要である」には差が見られないが、「重要でない」は年齢の高い世代で、その割合が低くなっている。性別、地区別では「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



## 7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる

### 満足度

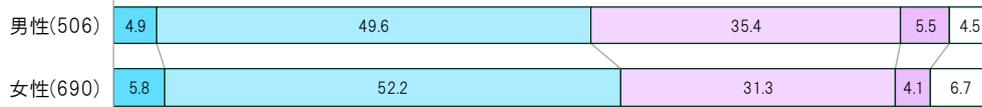
#### 「18～29 歳」から「40～49 歳」までの年代で満足度が高い

満足度は 56.7%、不満度は 37.5%と、満足度が不満度を 19.2 ポイント上回っている。27 年度 (52.4%) と比べて、満足度は 4.3 ポイント高くなっている。

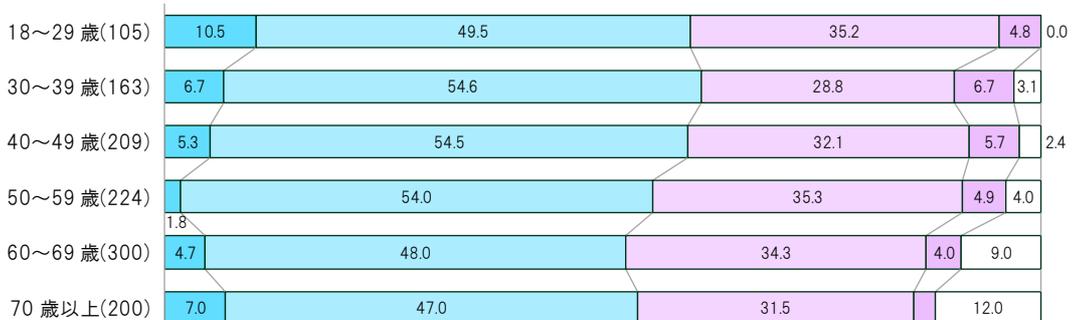
性別では、満足度には差が見られないが、不満度は、女性 (35.4%) が男性 (40.9%) より 5.5 ポイント低い。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳 (60.0%) から 40～49 歳 (59.8%) までの年代で、その割合が高くなっている。地区別では満足度、不満度共に差は見られない。



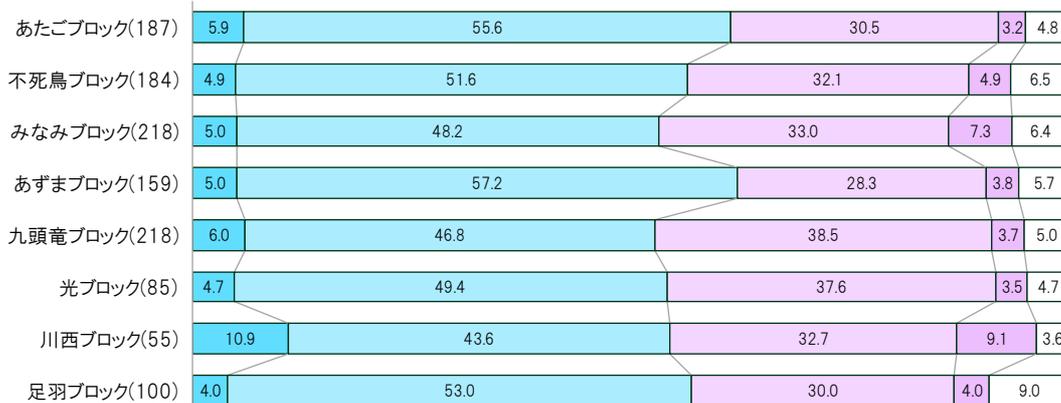
#### 【性別】



#### 【年齢別】



#### 【地区別】

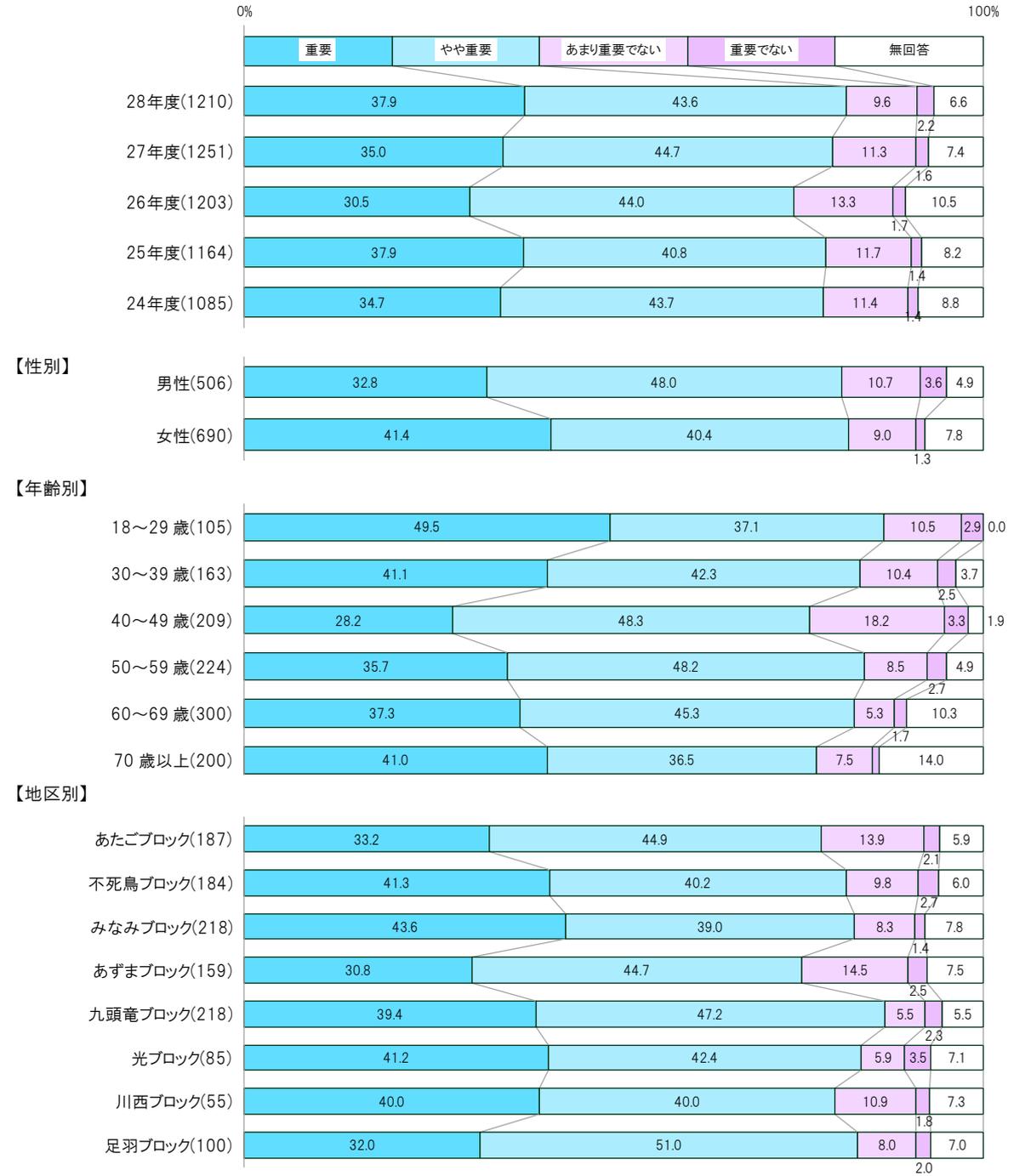


重要度

「女性」と「18～29歳」の“重要”と回答した割合が高い

「重要である」は81.5%、「重要でない」は11.8%と、「重要である」が「重要でない」を69.7ポイント上回っている。27年度との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

性別では、「重要である」には差が見られないが、“重要”と回答した割合は、女性(41.4%)が男性(32.8%)より8.6ポイント高い。年齢別に見ると、「重要である」には差が見られないが、“重要”と回答した割合は18～29歳(49.5%)が最も高く、他の年代より8.4～21.3ポイント高くなっている。地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



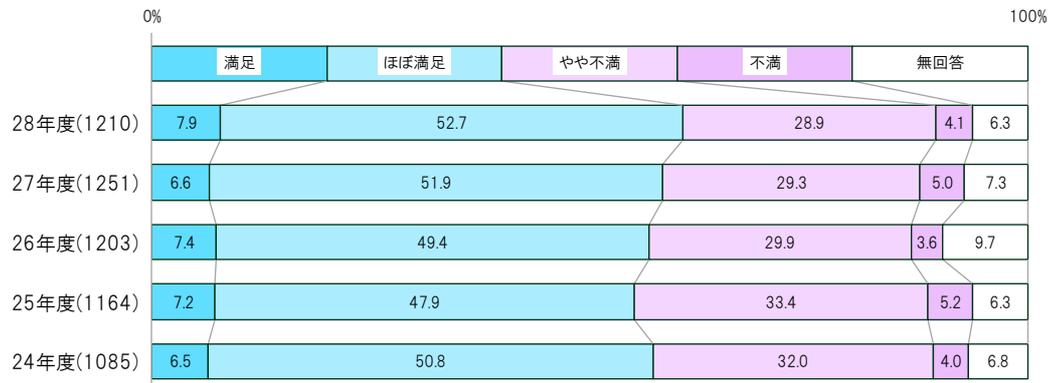
## 8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる

### 満足度

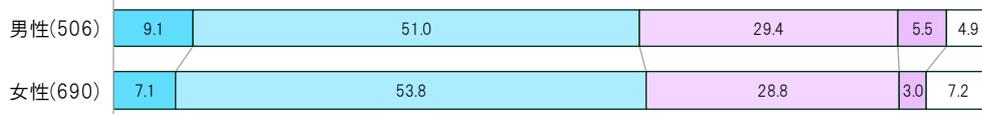
#### 「若い世代」ほど満足度が高い

満足度は60.6%、不満度は33.0%と、満足度が不満度を27.6ポイント上回っている。27年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

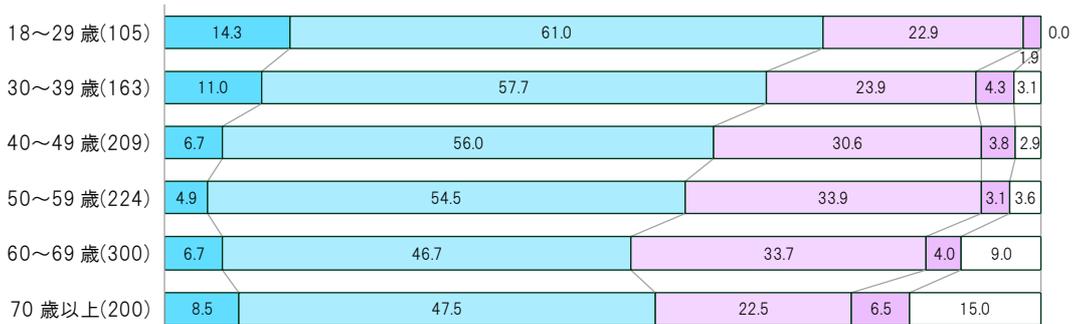
年齢別に見ると、18～29歳(75.3%)が最も高く、60～69歳(53.4%)までの年代において、若い世代ほどその割合が高くなっている。性別、地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。



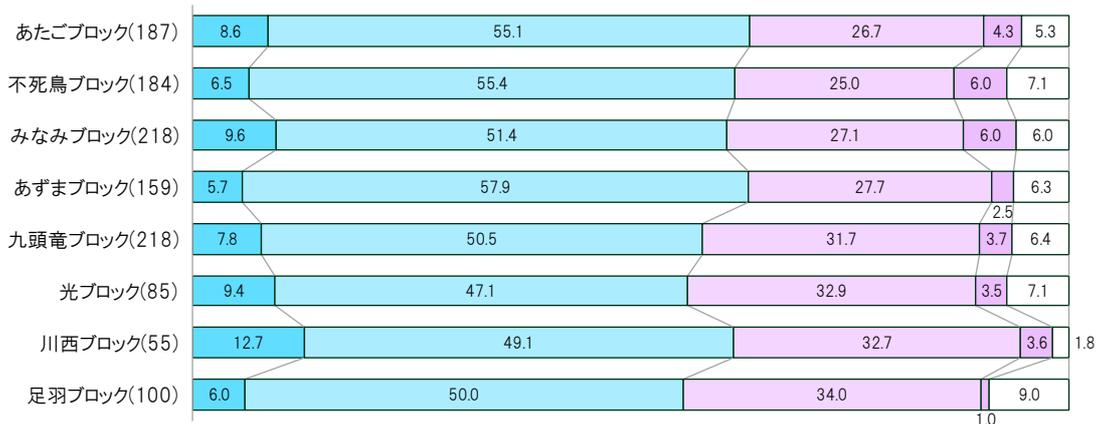
#### 【性別】



#### 【年齢別】



#### 【地区別】

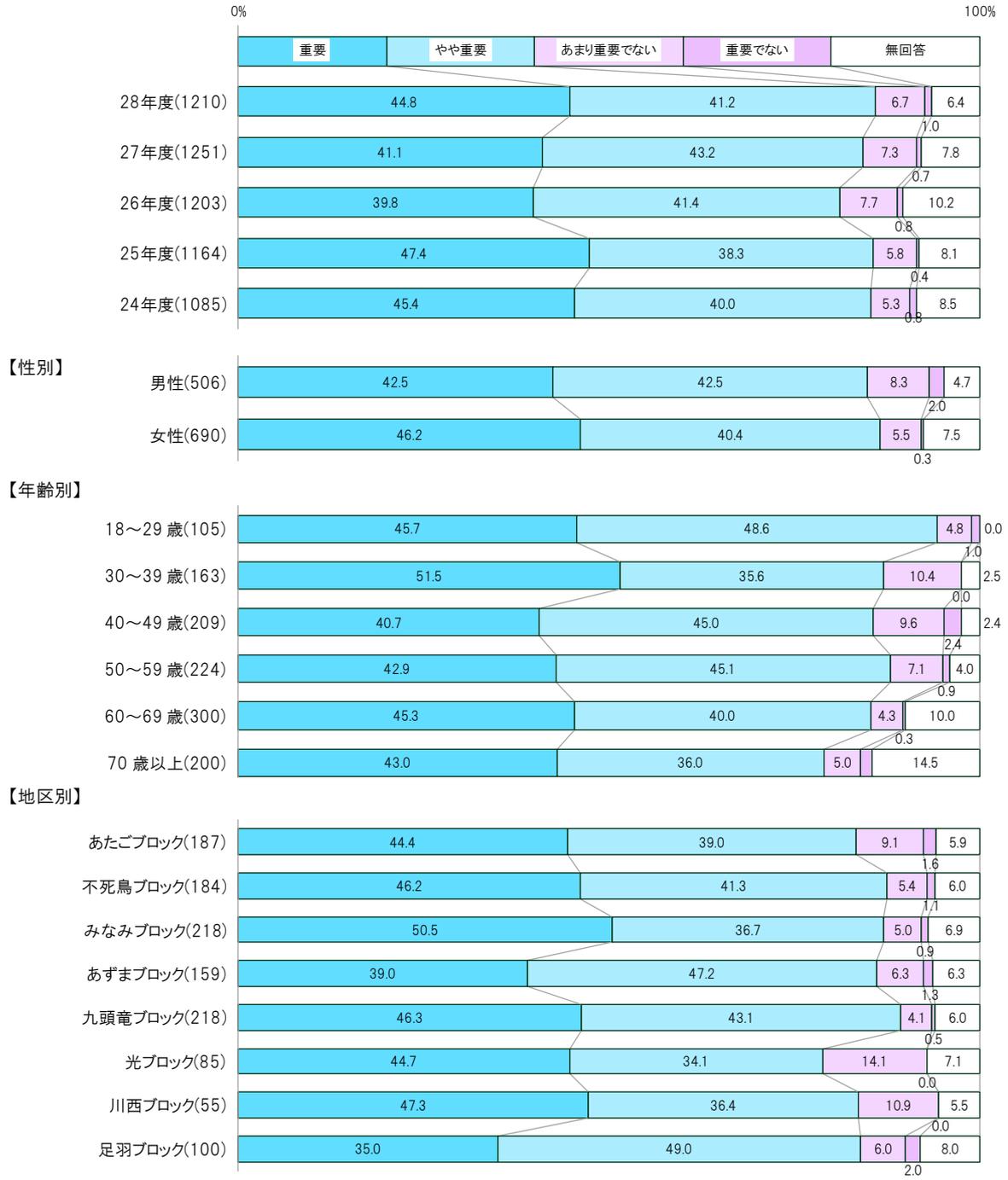


重要度

「18～29 歳」の重要度が高い

「重要である」は 86.0%、「重要でない」は 7.7%と、「重要である」が「重要でない」を 78.3 ポイント上回っている。27 年度との差は「重要である」「重要でない」共に見られない。

性別では、「重要である」には差が見られないが、「重要でない」は、女性(5.8%)が男性(10.3%)より 4.5 ポイント低い。年齢別に見ると、「重要である」は 18～29 歳(94.3%)が最も高く、他の年代より 6.3～15.3 ポイント高くなっている。地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



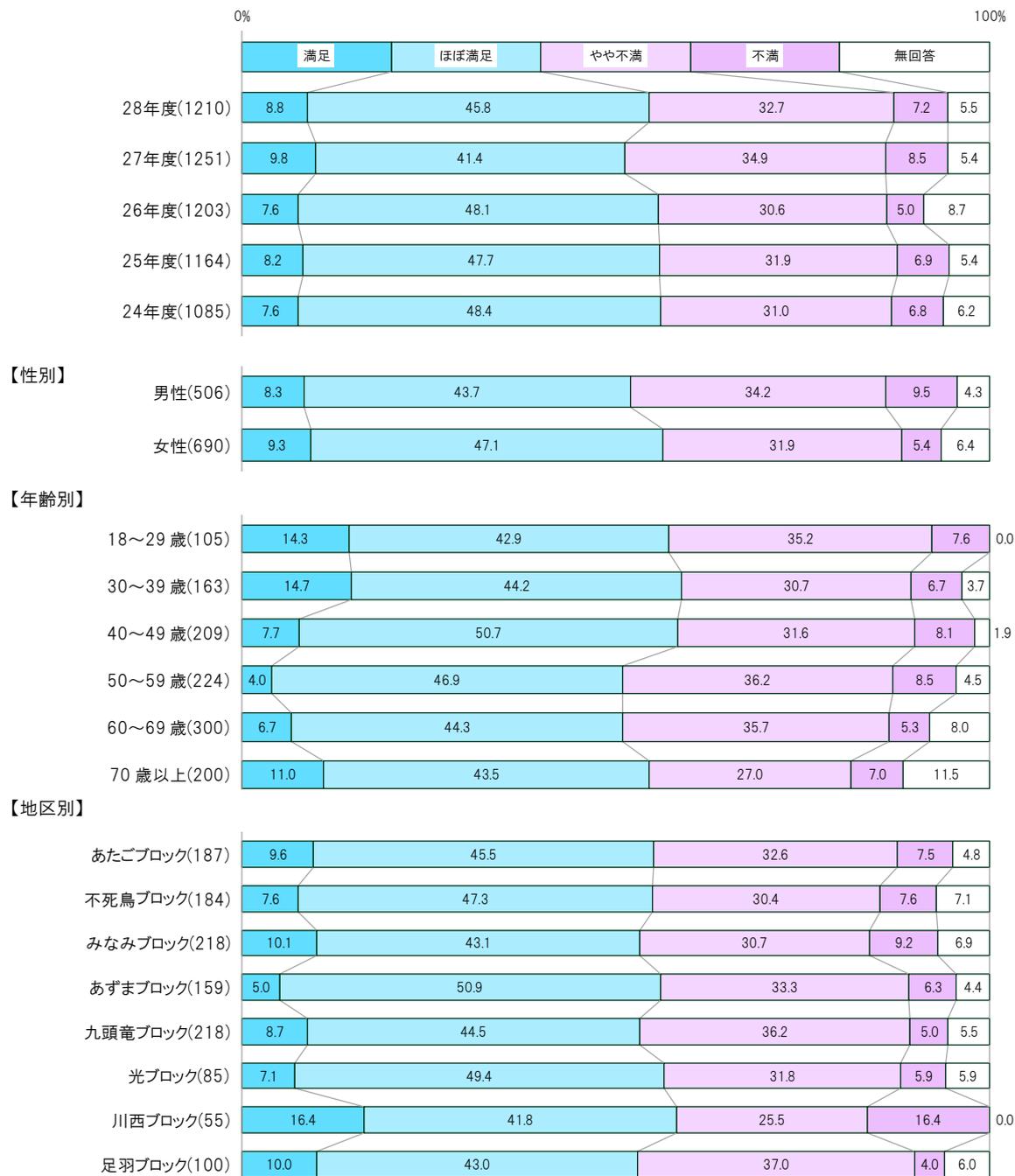
## 9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる

### 満足度

#### 「18～29 歳」から「40～49 歳」までの年代で満足度が高い

満足度は 54.6%、不満度は 39.9%と、満足度が不満度を 14.7 ポイント上回っている。27 年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

性別では、満足度には差が見られないが、不満度は、女性 (37.3%) が男性 (43.7%) より 6.4 ポイント低い。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳 (57.2%) から 40～49 歳 (58.4%) までの年代で、その割合が高くなっている。地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

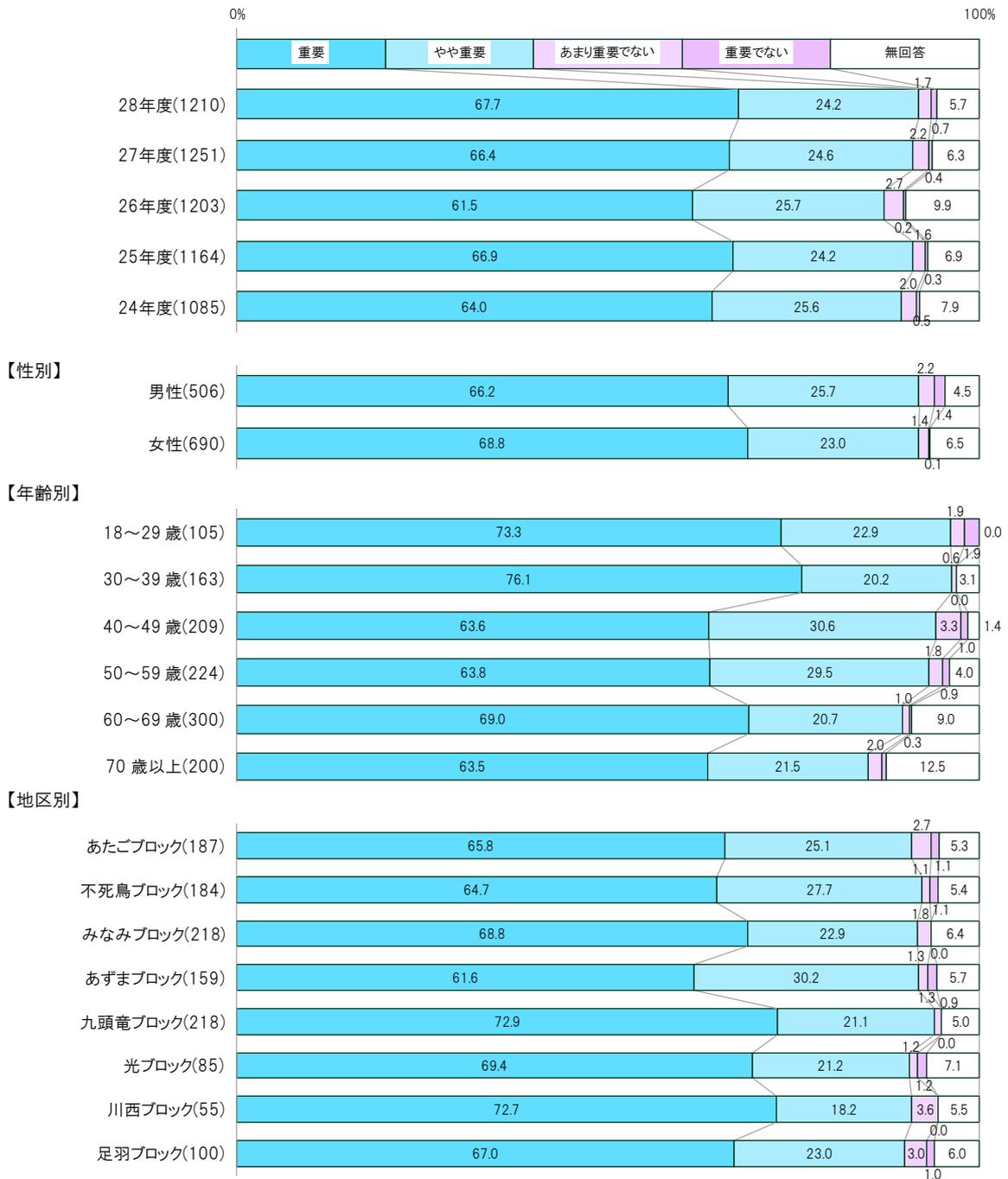


重要度

「若い世代」の“重要”と回答した割合が高い

「重要である」は91.9%、「重要でない」は2.4%と、「重要である」が「重要でない」を89.5ポイント上回っている。特に、この政策は16政策中最も高い重要度となっている。27年度との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

年齢別に見ると、「重要である」「重要でない」共に差は見られないが、“重要”と回答した割合は、若い世代が高くなっている。性別、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる

満足度

「18～29 歳」の“満足”と回答した割合が高い

満足度は 65.1%、不満度が 29.0%と、満足度が不満度を 36.1 ポイント上回っている。27 年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

性別では、満足度には差が見られないが、不満度は、女性(26.8%)が男性(32.0%)より 5.2 ポイント低い。年齢別に見ると、満足度、不満度共に差は見られないが、“満足”と回答した割合は 18～29 歳(17.1%)が最も高く、他の年代より 5.6～12.6 ポイント高くなっている。地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

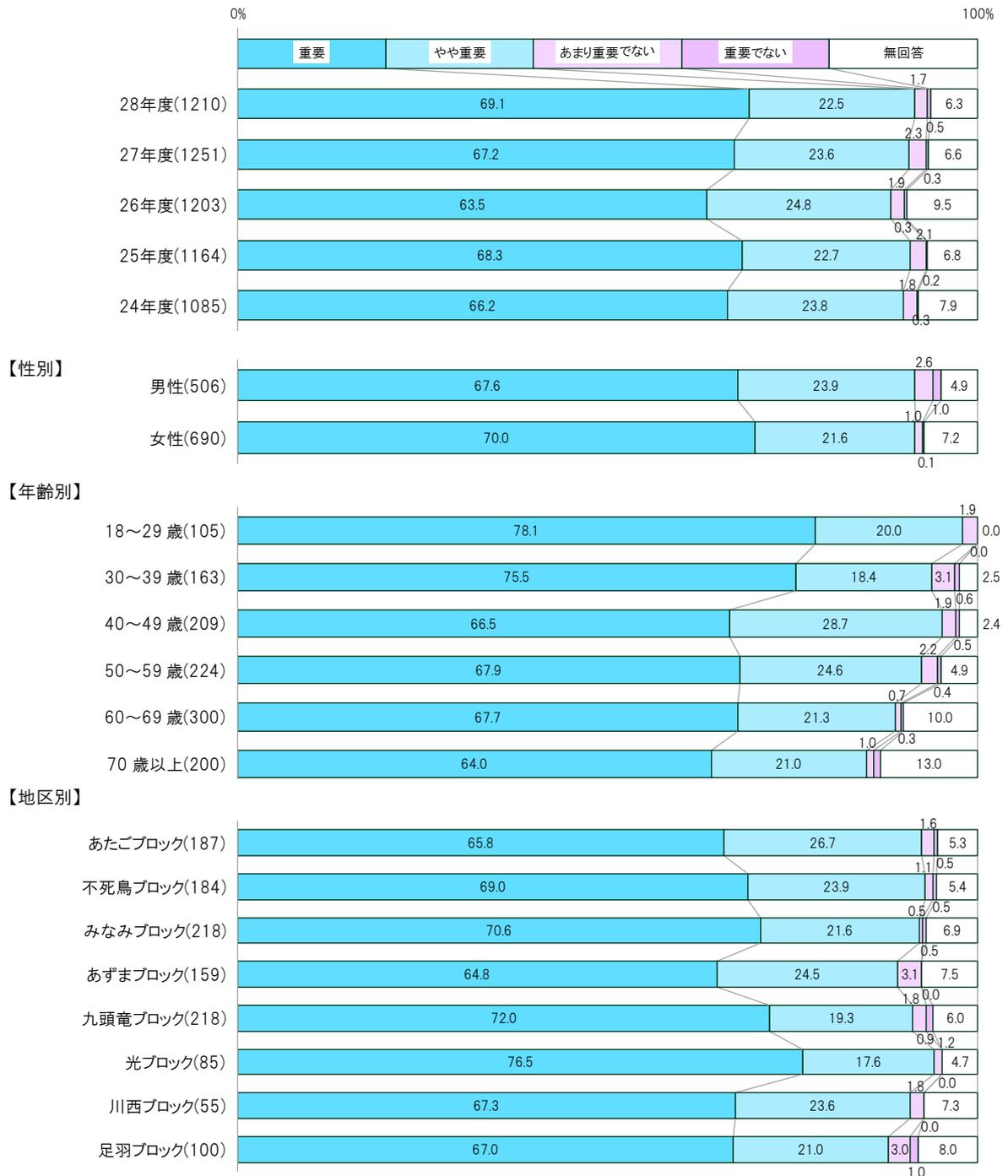


重要度

「若い世代」の“重要”と回答した割合が高い

「重要である」は91.6%、「重要でない」は2.2%と、「重要である」が「重要でない」を89.4ポイント上回っている。27年度との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

年齢別に見ると、「重要である」「重要でない」共に差は見られないが、“重要”と回答した割合は、若い世代が高くなっている。性別、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



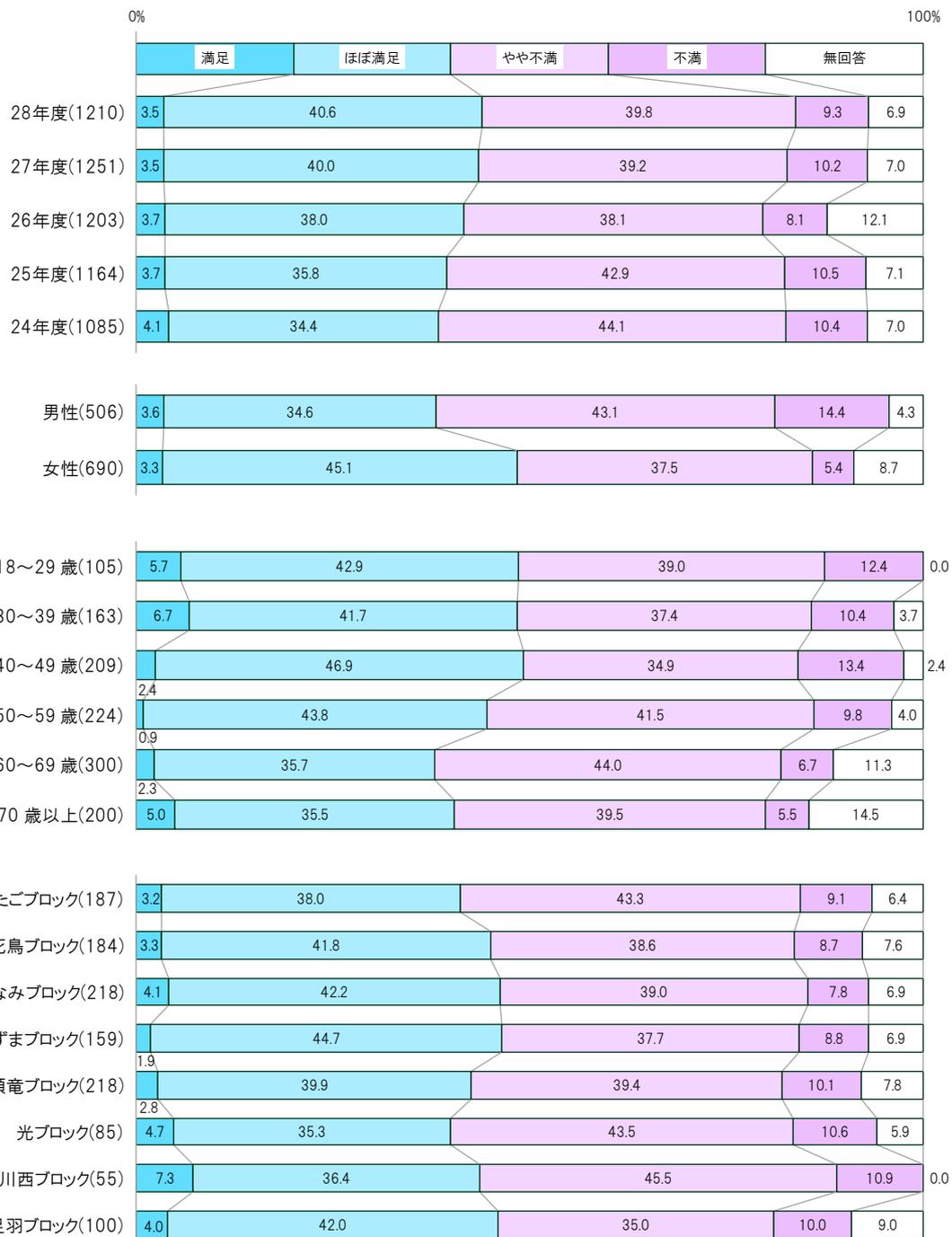
# 11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる

## 満足度

### 「男性」の不満足度が高い

満足度は44.1%、不満足度は49.1%と、不満足度が満足度を5.0ポイント上回っている。27年度との差は、満足度、不満足度共に見られない。

性別では、不満足度は男性(57.5%)が女性(42.9%)より14.6ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は年齢の高い世代でその割合が低くなっている。地区別では、満足度、不満足度共に差は見られない。

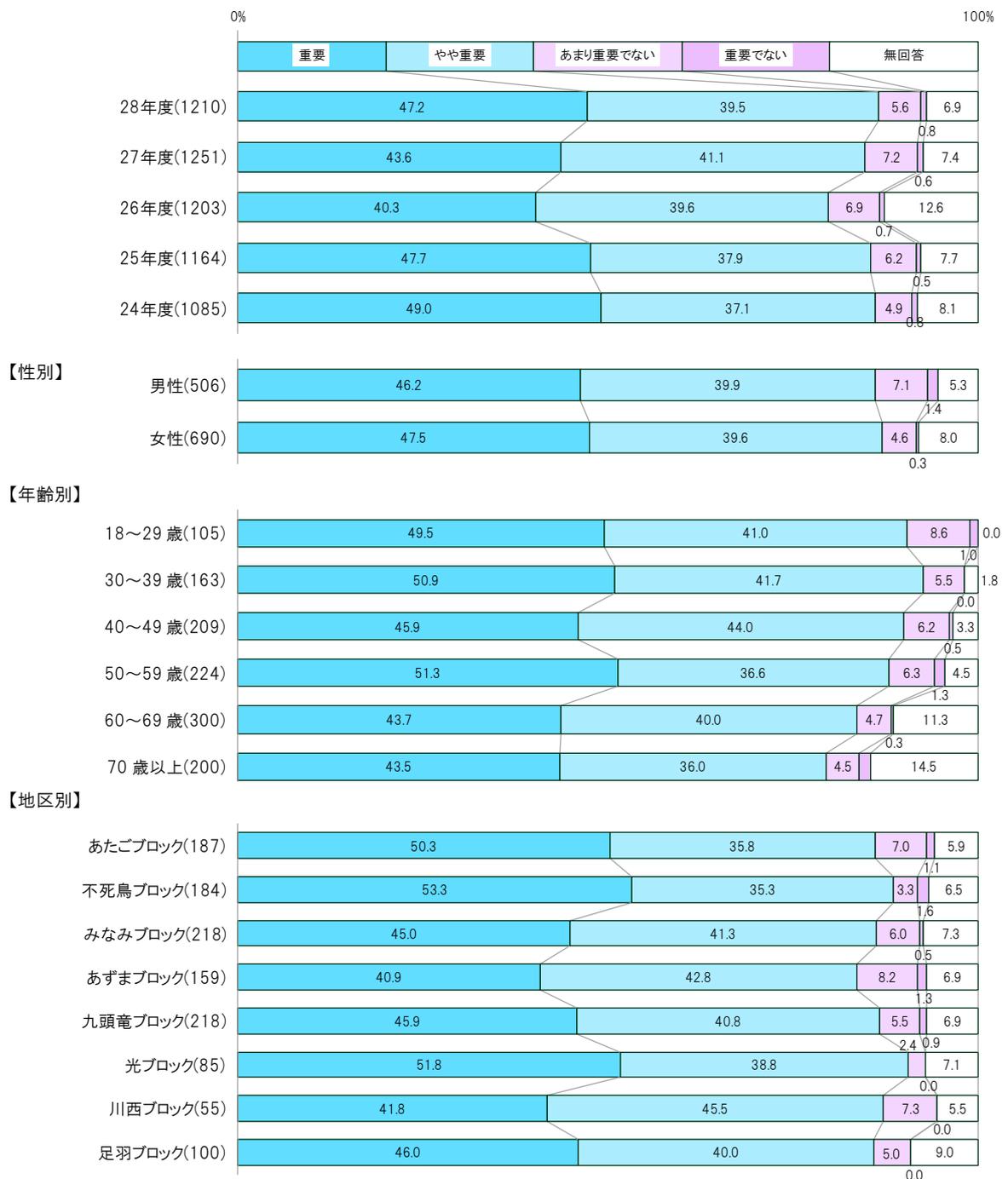


重要度

「若い世代」ほど重要度が高い

「重要である」は86.7%、「重要でない」は6.4%と、「重要である」が「重要でない」を80.3ポイント上回っている。27年度との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

年齢別に見ると、「重要である」は若い世代ほど、その割合が高くなっている。性別、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



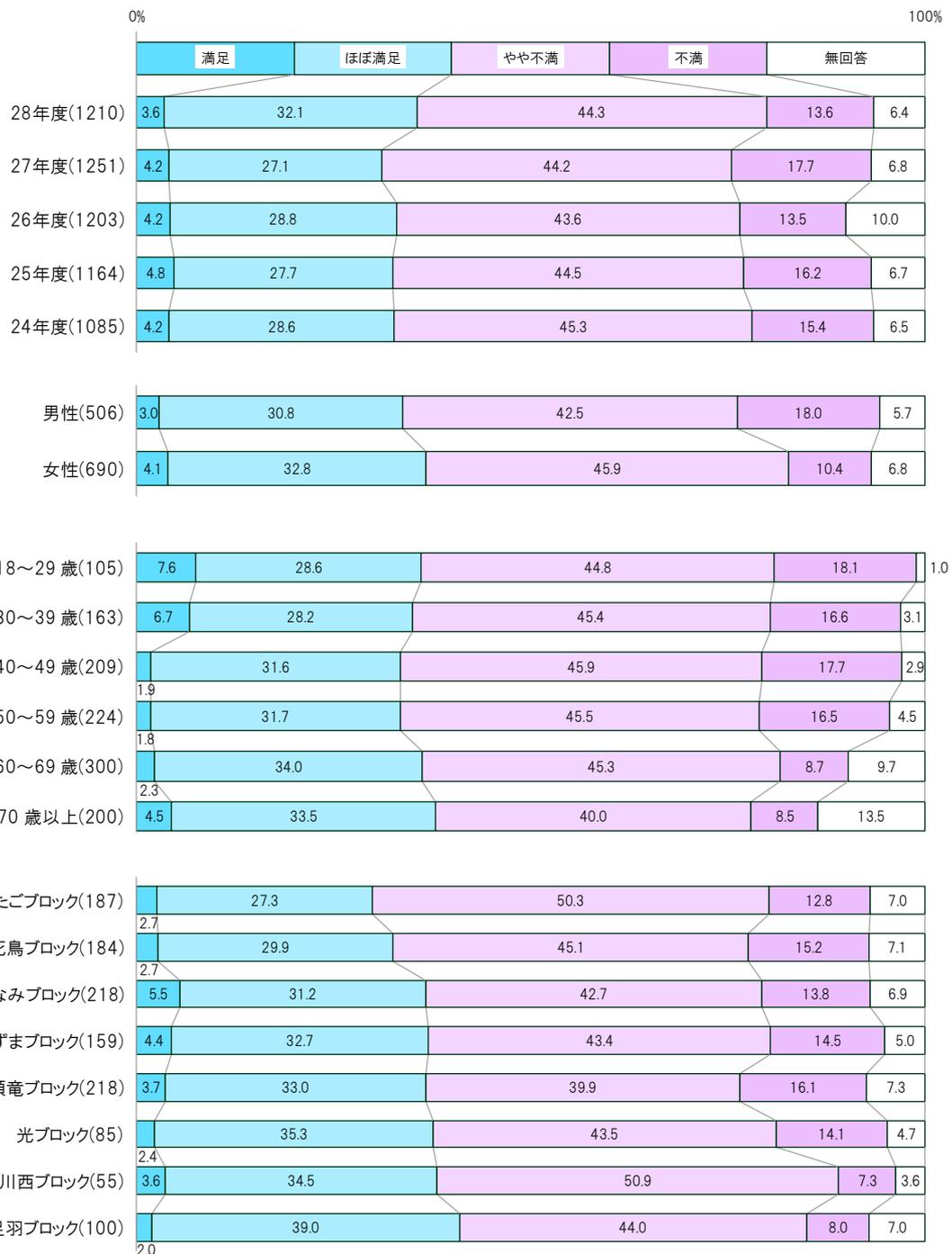
## 12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる

### 満足度

#### 「男性」の“不満”と回答した割合が高い

満足度が35.7%、不満度が57.9%と、不満度が満足度を22.2ポイント上回っている。特に、この政策は16政策中最も低い満足度となっている。27年度(31.3%)と比べて、満足度は4.4ポイント高くなっている。

性別では、満足度、不満度共に差は見られないが、“不満”と回答した割合は、男性(18.0%)が女性(10.4%)より7.6ポイント高い。年齢別、地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

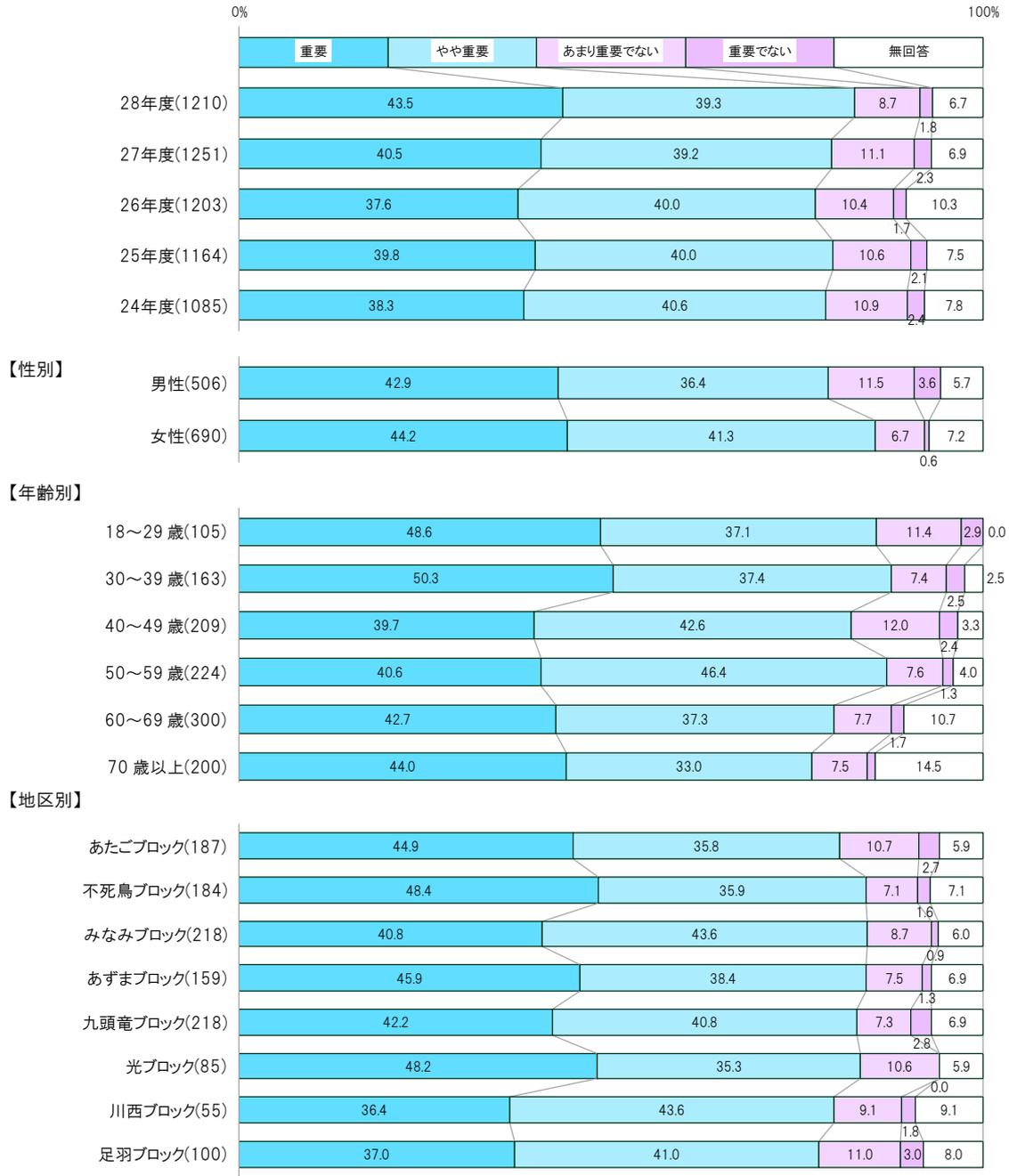


重要度

「女性」の重要度が高い

「重要である」は82.8%、「重要でない」は10.5%と、「重要である」が「重要でない」を72.3ポイント上回っている。27年度(79.7%)との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

性別では、「重要である」は女性(85.5%)が男性(79.3%)より6.2ポイント高い。年齢別に見ると、「重要である」「重要でない」共に差は見られないが、“重要”と回答した割合は、若い世代が高くなっている。地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



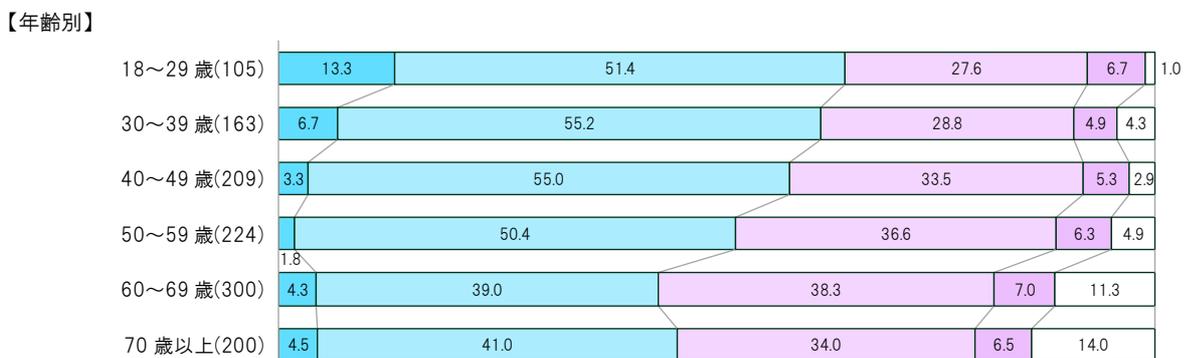
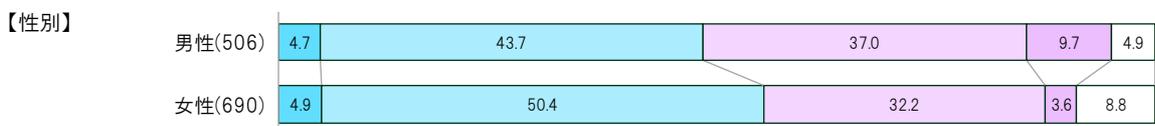
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる

満足度

「女性」と「若い世代」の満足度が高い

満足度が52.6%、不満度が40.3%と、満足度が不満度を12.3ポイント上回っている。27年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

性別では、満足度は女性(55.3%)が男性(48.4%)より6.9ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は若い世代ほど、その割合が高くなっている。地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

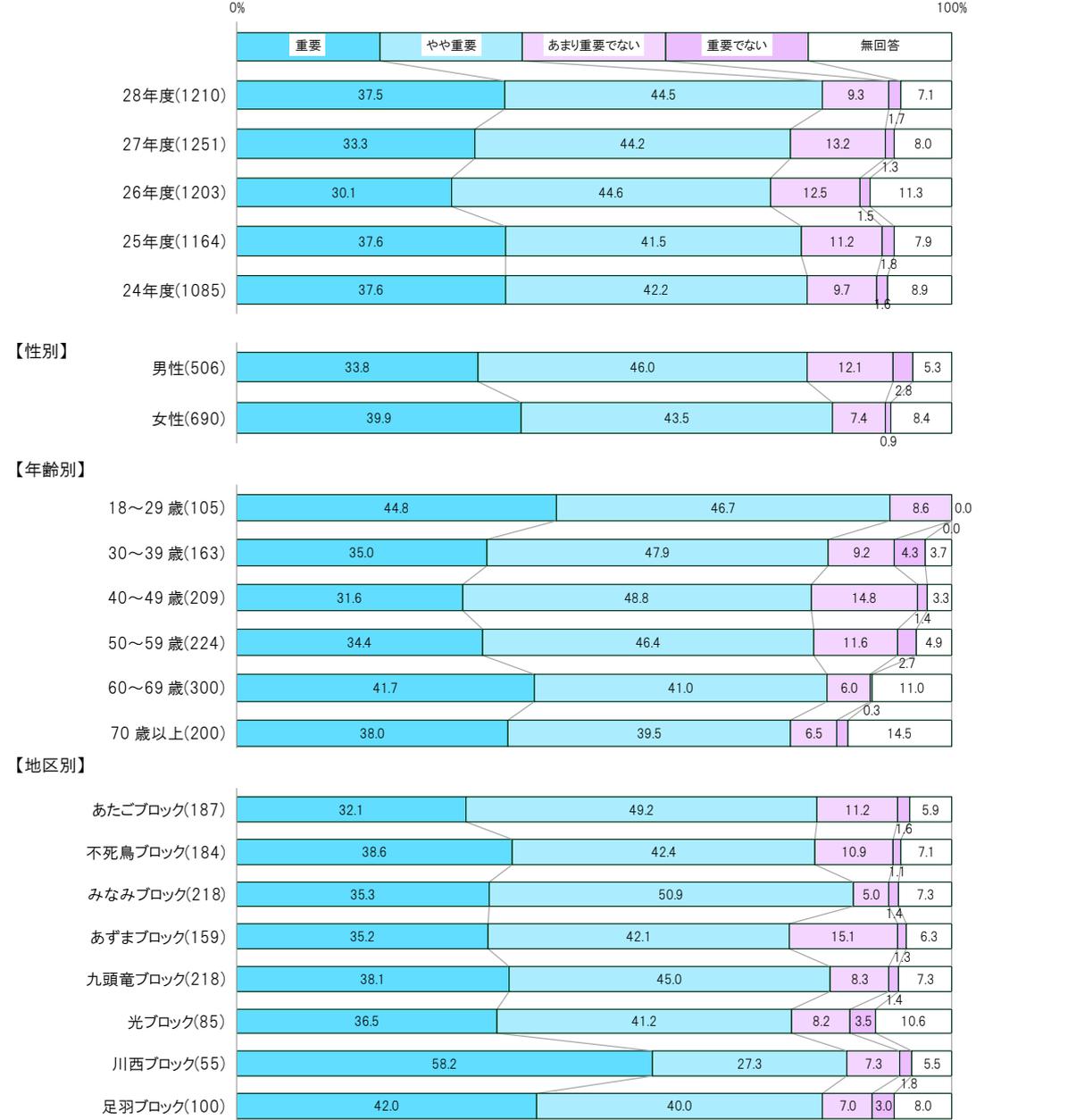


重要度

「18～29 歳」の重要度が高い

「重要である」は 82.0%、「重要でない」は 11.0%と、「重要である」が「重要でない」を 71.0 ポイント上回っている。27 年度(77.5%)と比べて、「重要である」は 4.5 ポイント高くなっている。

性別では、「重要である」には差が見られないが、“重要”と回答した割合は、女性(39.9%)が男性(33.8%)より 6.1 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要である」は 18～29 歳(91.5%)が最も高く、その他の年代より 8.6～14.0 ポイント高くなっている。地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られないが、“重要”と回答した割合は、川西ブロック(58.2%)が最も高く、他の地区より 16.2～26.1 ポイント高くなっている。



## 14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる

### 満足度

#### 「女性」の満足度が高い

満足度は65.6%、不満度は27.8%と、満足度が不満度を37.8ポイント上回っている。27年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

性別では、満足度は女性(68.7%)が男性(61.5%)より7.2ポイント高い。年齢別に見ると、満足度、不満度共に差は見られないが、“満足”と回答した割合は、若い世代が高くなっている。地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

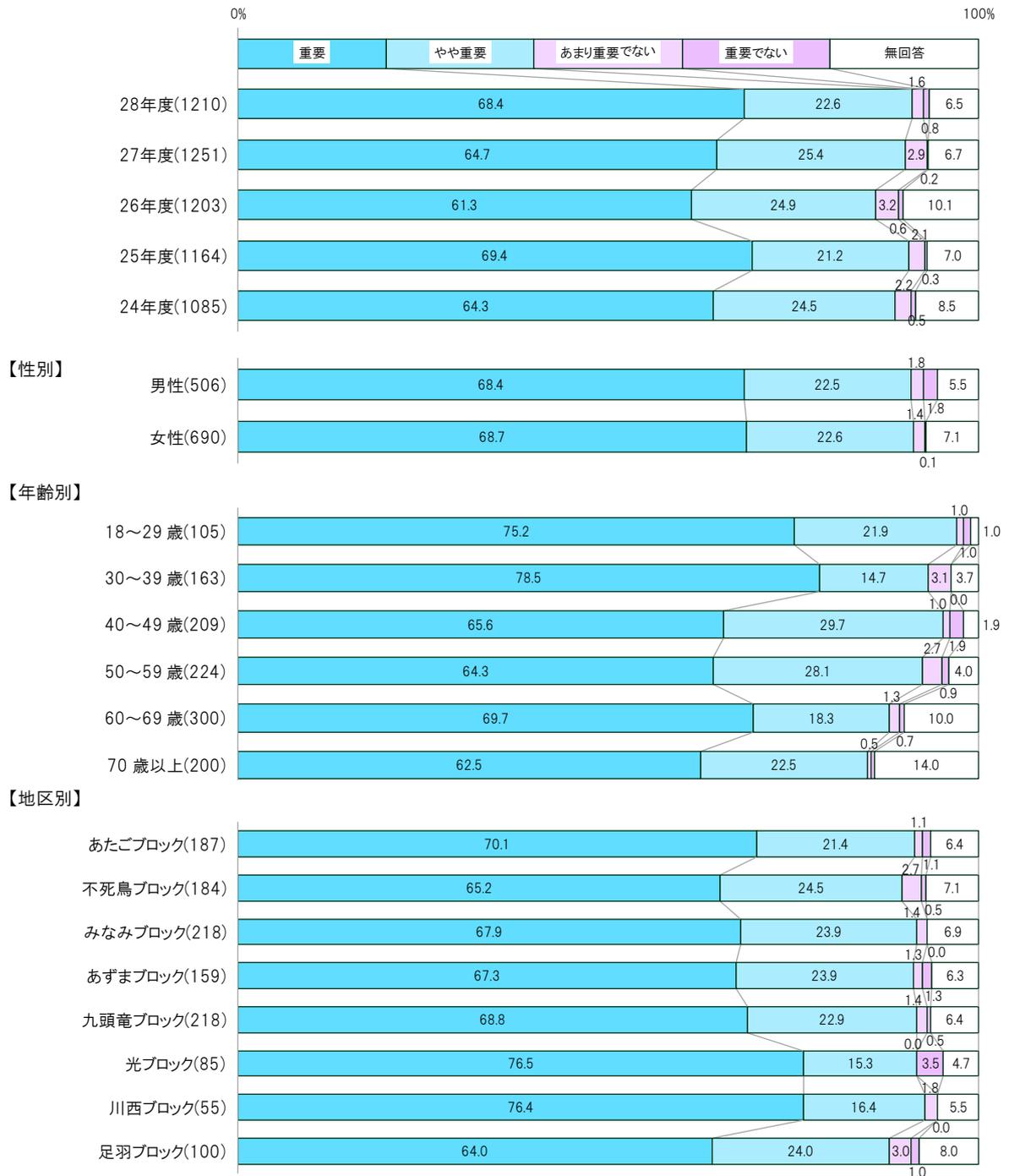


重要度

「18～29 歳」から「50～59 歳」までの年代で重要度が高い

「重要である」は91.0%、「重要でない」は2.4%と、「重要である」が「重要でない」を88.6ポイント上回っている。27年度との差は、「重要である」「重要でない」共に見られない。

年齢別に見ると、「重要である」は18～29歳(97.1%)から50～59歳(92.4%)までの年代で、その割合が高くなっている。性別、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



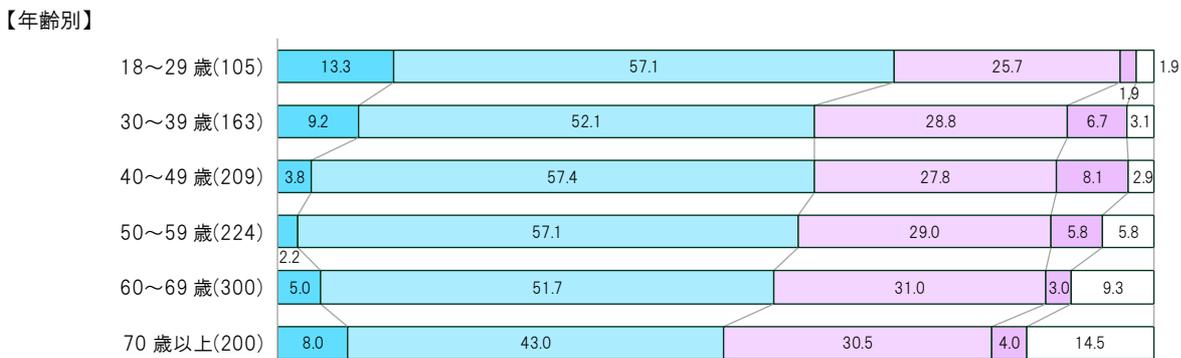
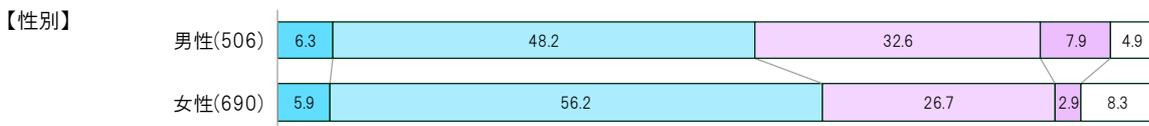
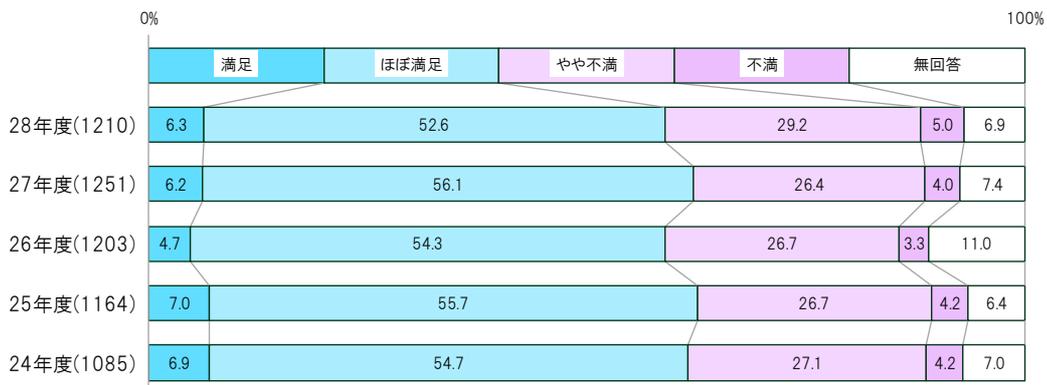
15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる

満足度

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 58.9%、不満度は 34.2%と、満足度が不満度を 24.7 ポイント上回っている。27 年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

性別では、満足度は女性(62.1%)が男性 (54.5%) より 7.6 ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳(70.4%)が最も高く、その他の年代より、9.1～19.4 ポイント高くなっている。地区別では、満足度、不満度共に差は見られない。

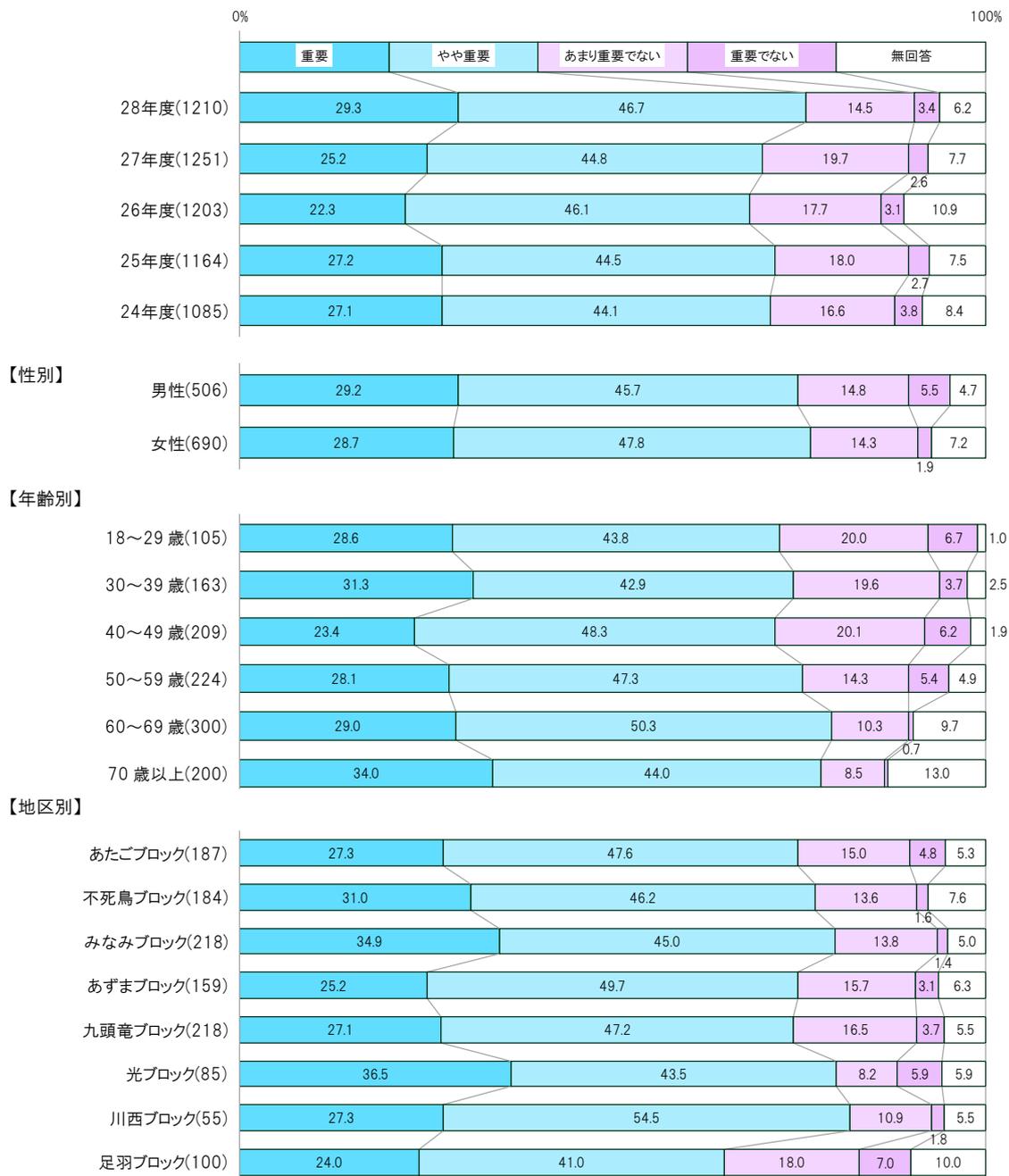


重要度

「年齢の高い世代」の重要度が高い

「重要である」は76.0%、「重要でない」は17.9%と、「重要である」が「重要でない」を58.1ポイント上回っている。27年度(70.0%)と比べて、「重要である」は6.0ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は年齢の高い世代で、その割合が高くなっている。地区別では、「重要である」は足羽ブロック(65.0%)が最も低く、その他の地区より9.3~16.8ポイント低くなっている。性別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる

満足度

「若い世代」と「足羽ブロック」の満足度が高い

満足度は57.1%、不満度は36.3%と、満足度が不満度を20.8ポイント上回っている。27年度との差は、満足度、不満度共に見られない。

性別では、満足度には差が見られないが、不満度は、女性(33.6%)が男性(40.1%)より6.5ポイント低い。年齢別に見ると、満足度は若い世代ほど、満足度が高くなっている。地区別では、満足度は足羽ブロック(68.0%)が最も高く、その他の地区より6.2~15.3ポイント高くなっている。

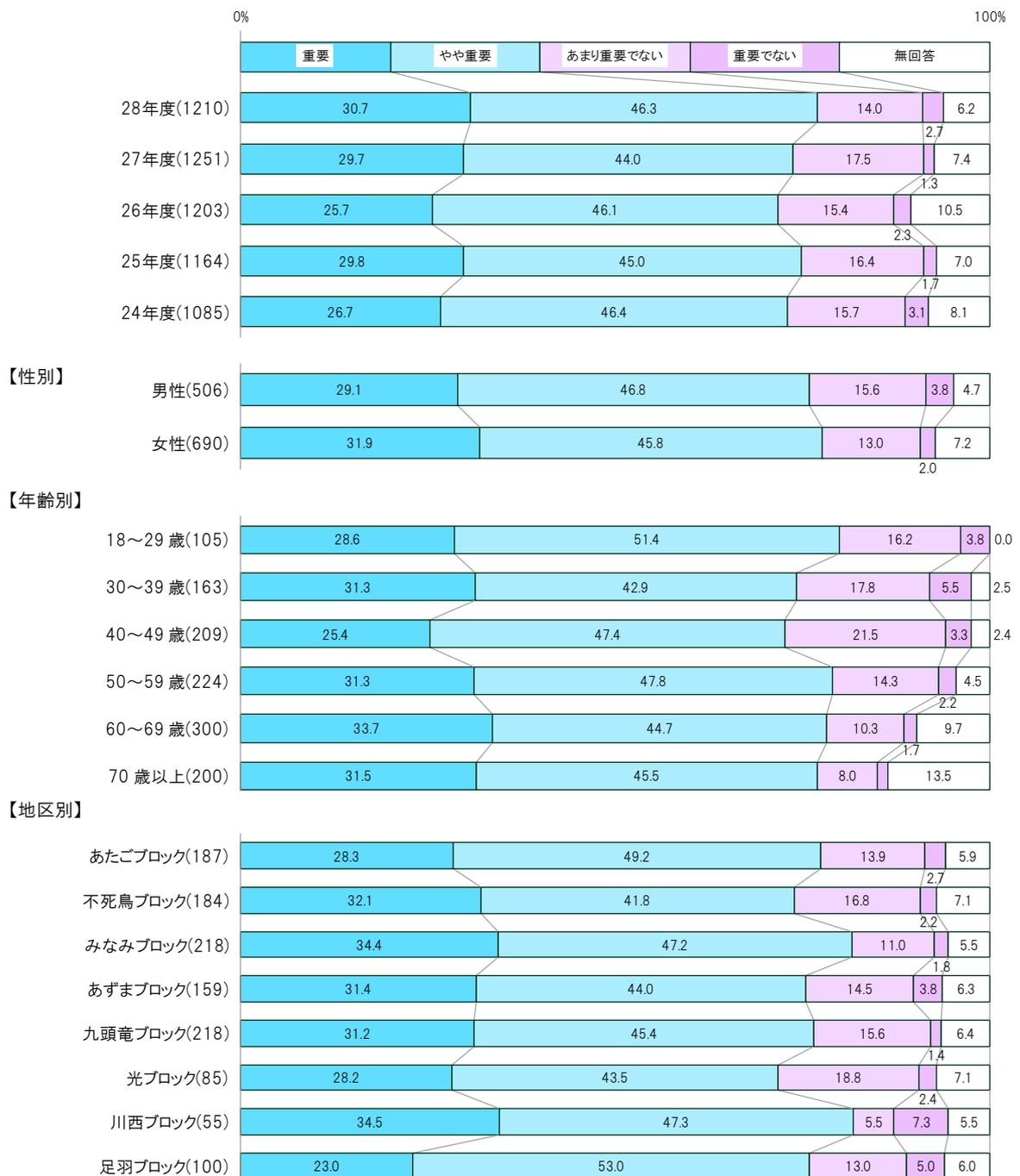


## 重要度

### 属性による差が少ない

「重要である」は77.0%、「重要でない」は16.7%と、「重要である」が「重要でない」を60.3ポイント上回っている。27年度との差は、「重要である」、「重要でない」共に見られない。

年齢別に見ると、「重要である」には差が見られないが、「重要でない」は、年齢の高い世代でその割合が低くなっている。性別、地区別では、「重要である」「重要でない」共に差は見られない。



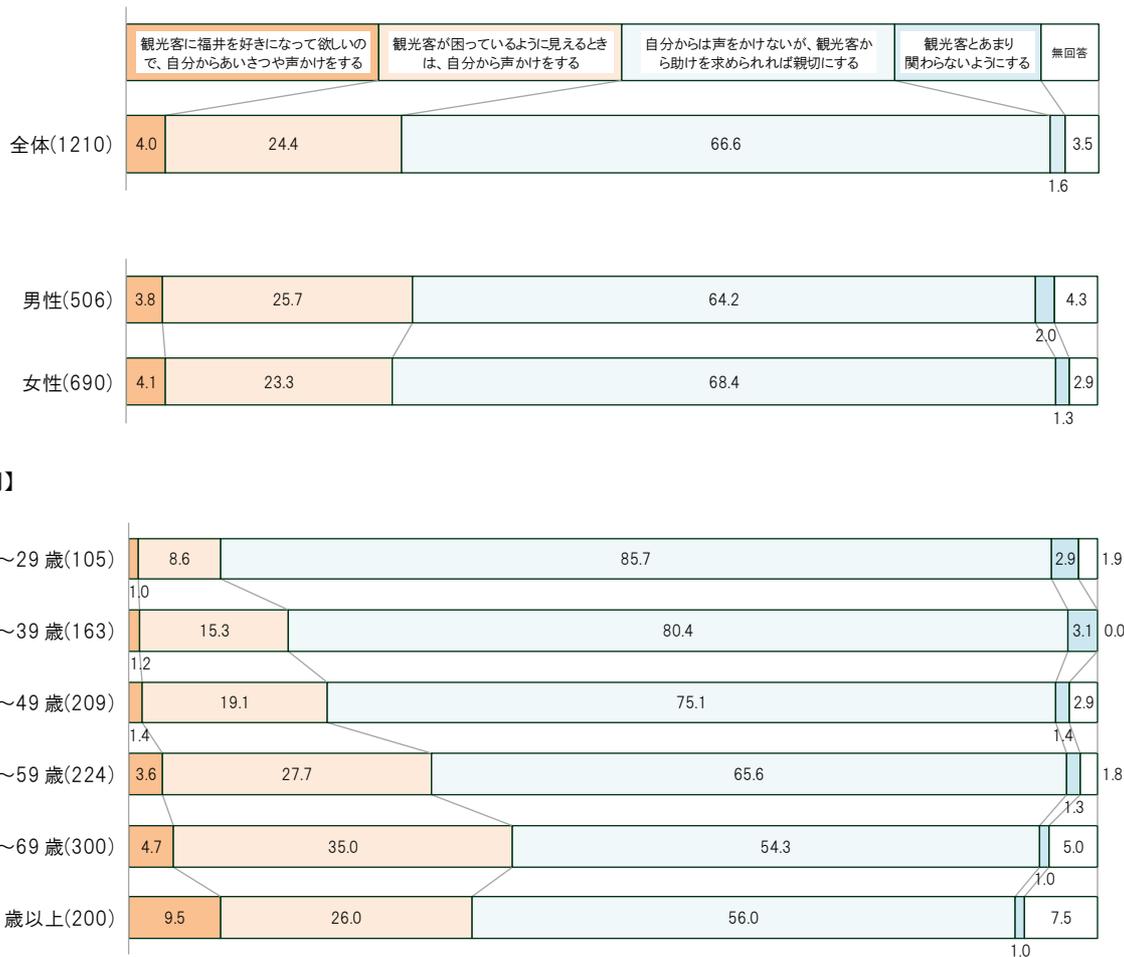
## ◆観光客受け入れについて

問1 観光客へのおもてなしや声かけについて、あなたの日頃の行動または心がけていることはどれですか。(1つ)

### 全体の約3割が「観光客に自分から声かけをする」

「観光客に声かけをする、親切にする」(「自分からあいさつや声かけをする」(4.0%)、「困っているように見えるときは、自分から声かけをする」(24.4%)及び「助けを求められれば親切にする」(66.6%)の合計)は全体の95.0%であるが、「観光客に自分から声かけをする」(「自分からあいさつや声かけをする」及び「困っているように見えるときは、自分から声かけをする」の合計)は全体の28.4%となっている。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「観光客に自分から声かけをする」は、60～69歳(39.7%)が最も高く、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなっている。

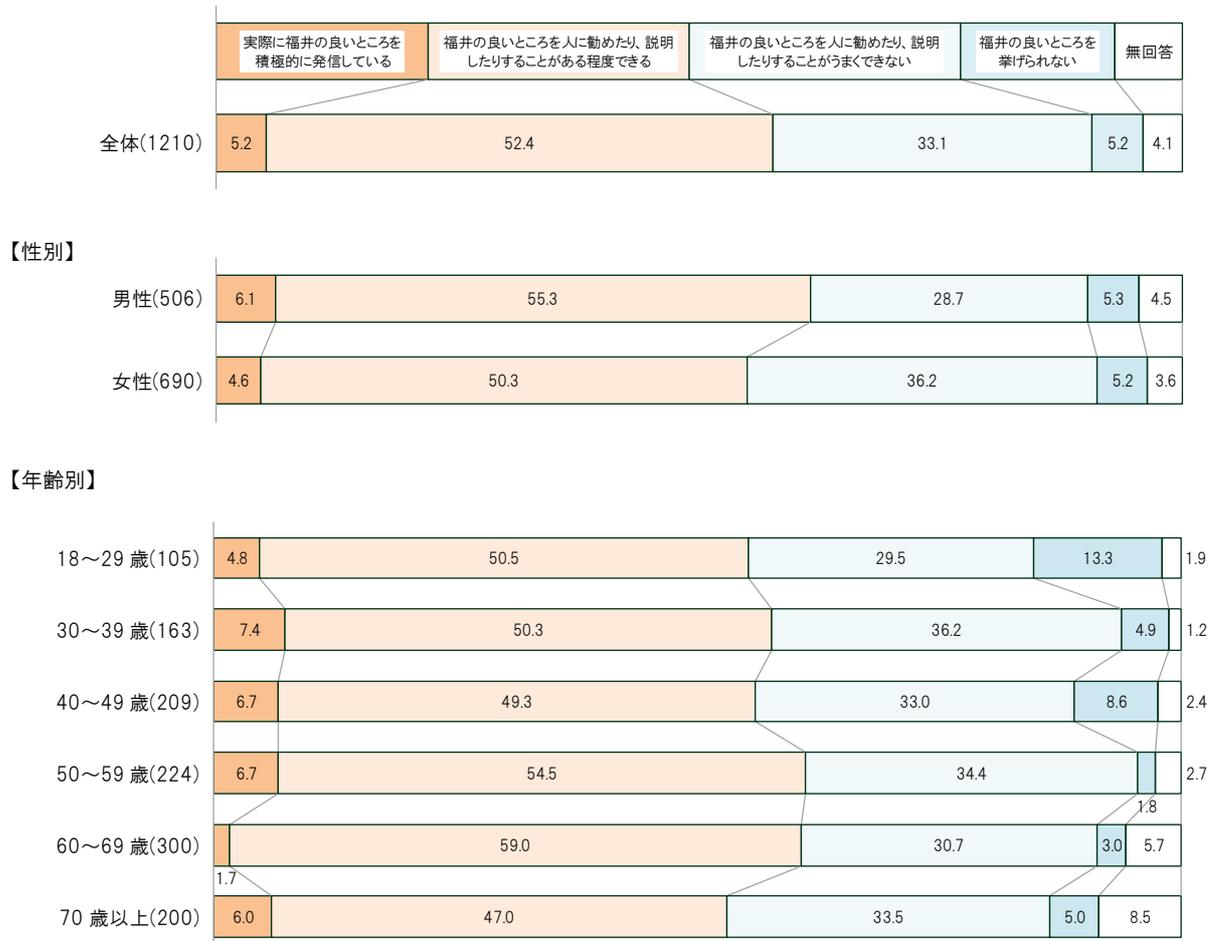


問2 あなたは、福井の良いところ（自慢できるところ、観光地や食の魅力など）を人に勧めたり、説明したりすることができますか。（1つ）

全体の5割以上が「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる」

「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる」（「実際に福井の良いところを積極的に発信している」（5.2%）及び「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる程度できる」（52.4%）の合計）は、全体の57.6%となっている。

性別では、「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる」は男性（61.4%）が女性（54.9%）より6.5ポイント高い。年齢別では、差は見られない。



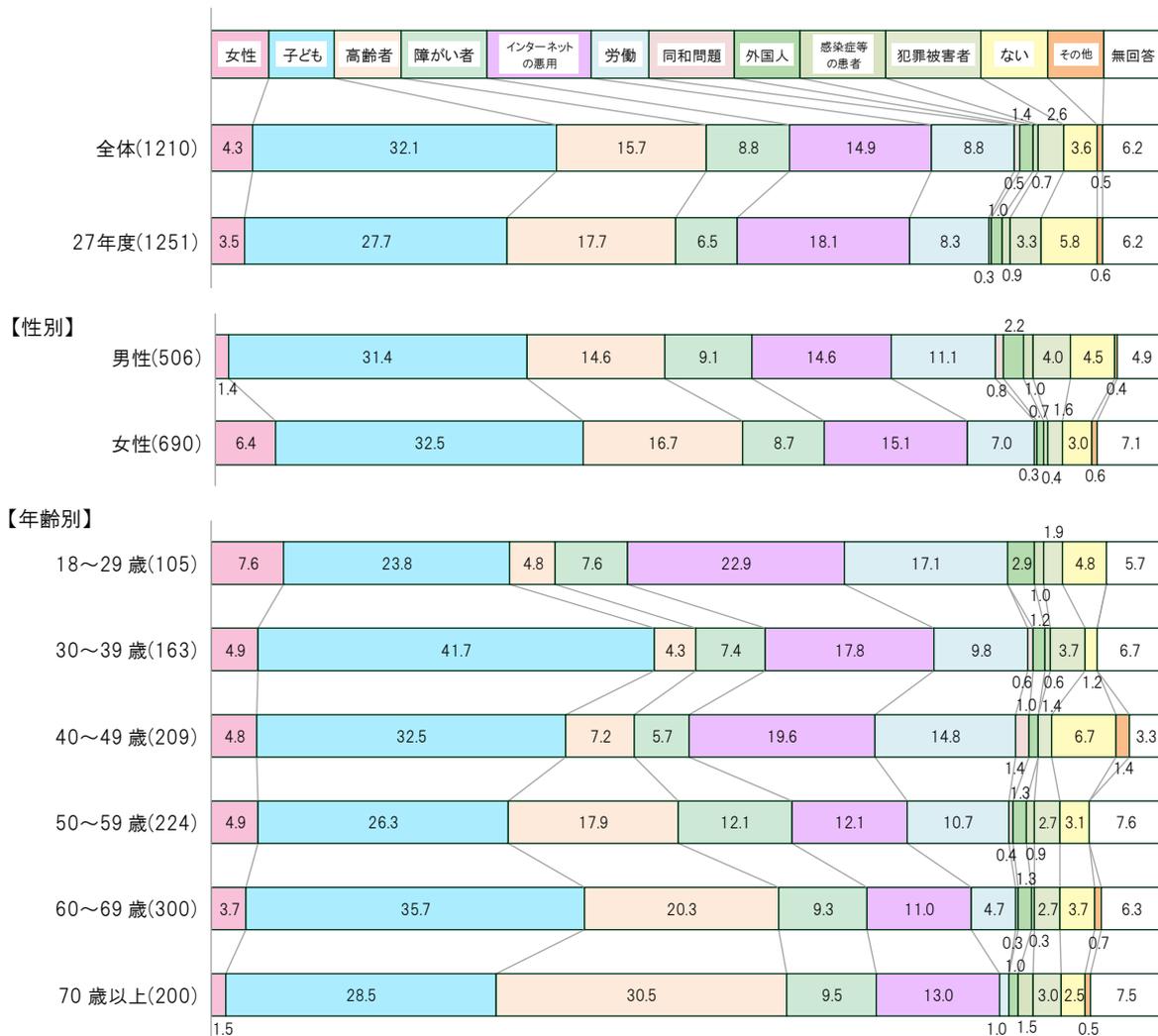
## ◆人権・男女共同参画について

問1 次の人権問題のうち、あなたが特に関心があるのはどれですか。(1つ)

### 全体の3割が「子ども」と回答

「子ども」が32.1%と最も高く、次いで「高齢者」(15.7%)、「インターネットの悪用」(14.9%)が高くなっている。27年度と比べて、「子ども」は4.4ポイント高く、「インターネットの悪用」は3.2ポイント低くなっている。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「子ども」は30～39歳(41.7%)、「高齢者」は70歳以上(30.5%)が最も高い。



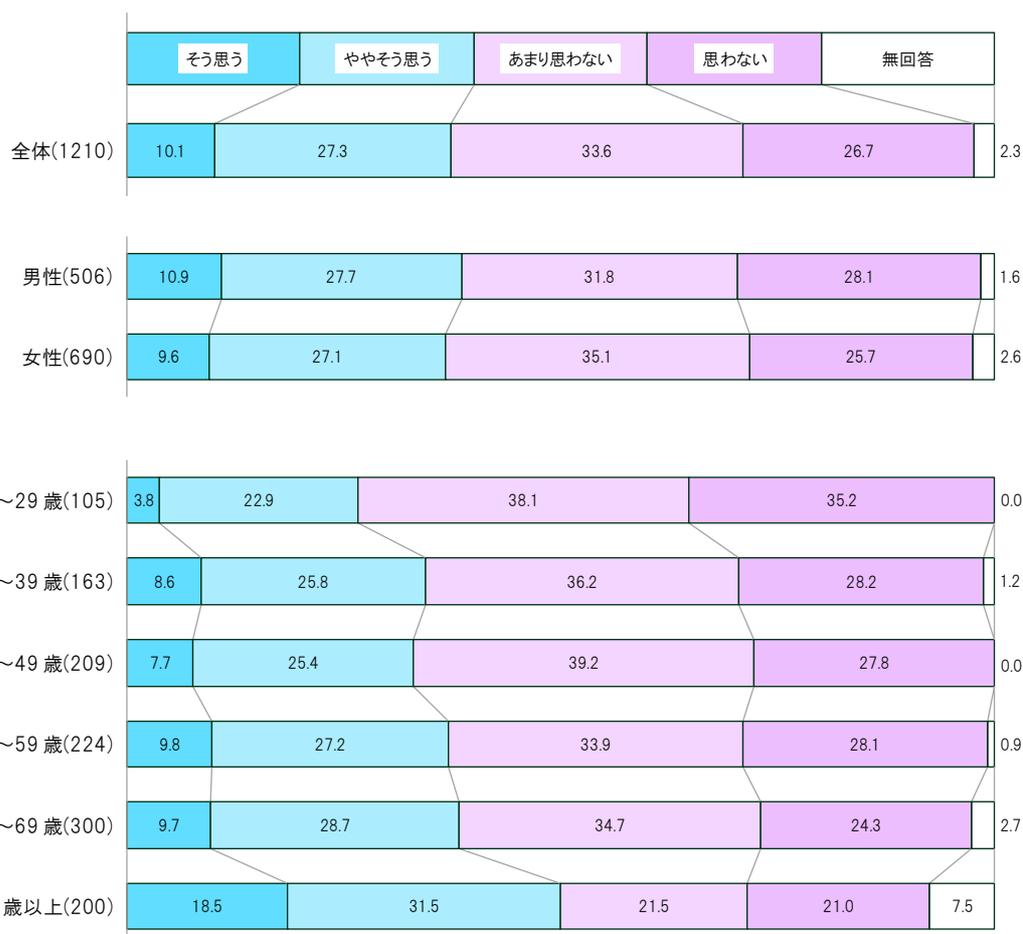
問2 男女共同参画に関する以下の項目について、あなたのお考えに最も近い番号に○を付けて下さい。(それぞれ1つ)

1 自分の家庭の理想は、「夫が外で働き、妻が家を守る」ことだ

全体の6割が「そう思わない」と回答

「思う」(「そう思う」(10.1%) 及び「ややそう思う」(27.3%) の合計) は37.4%、「そう思わない」(「あまり思わない」(33.6%) 及び「思わない」(26.7%) の合計) は60.3%と、「そう思わない」が「思う」を22.9ポイント上回っている。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「そう思わない」は18～29歳(73.3%)が最も高く、70歳以上(42.5%)が最も低くなっている。

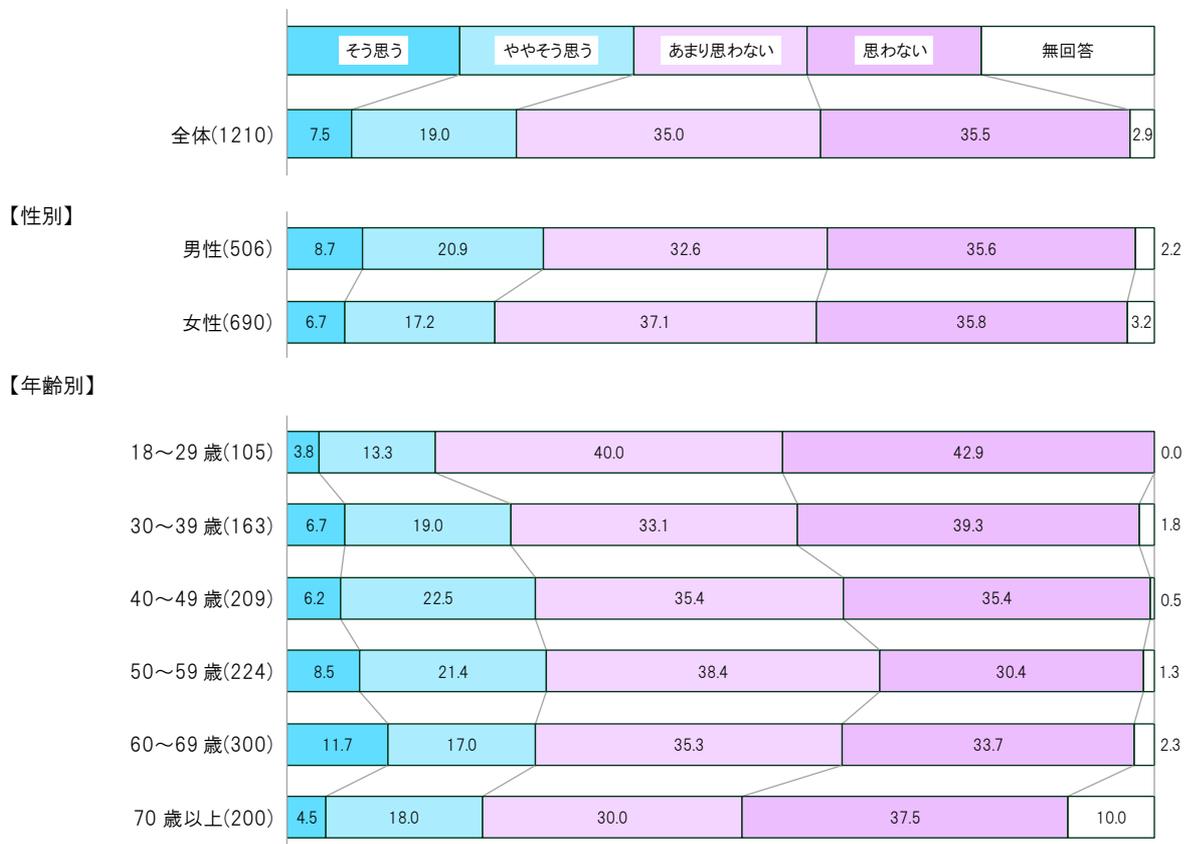


## 2 仕事では、長時間の残業や休日出勤をした方が評価される

### 全体の7割が「そう思わない」と回答

「思う」（「そう思う」（7.5%）及び「ややそう思う」（19.0%）の合計）は26.5%、「そう思わない」（「あまり思わない」（35.0%）及び「思わない」（35.5%）の合計）は70.5%と、「そう思わない」が「思う」を44.0ポイント上回っている。

性別では、「そう思わない」は女性（72.9%）が男性（68.2%）より4.7ポイント高い。年齢別に見ると、「そう思わない」は18～29歳（82.9%）が最も高く、他の年代より10.5～15.4ポイント高くなっている。

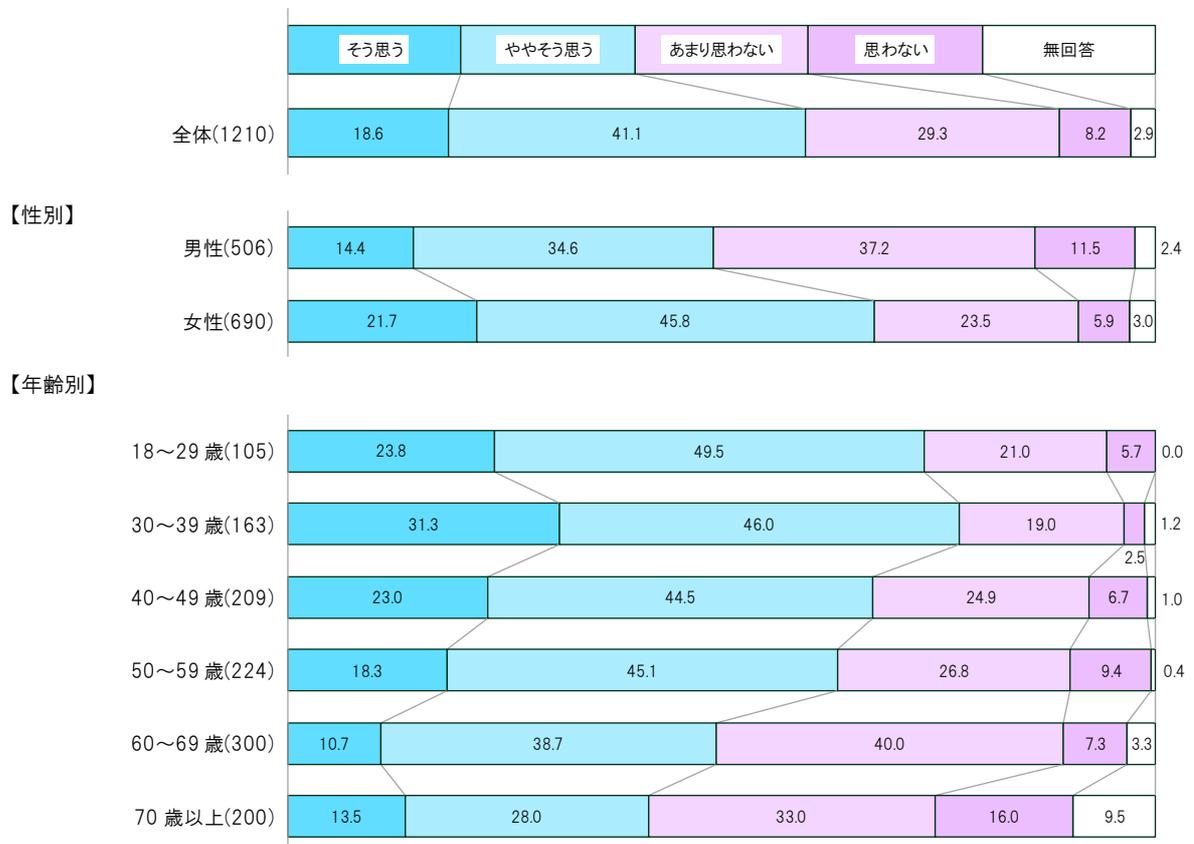


### 3 仕事よりも、家事や子育てを優先したい

#### 全体の約6割が「思う」と回答

「思う」（「そう思う」（18.6%）及び「ややそう思う」（41.1%）の合計）は59.7%、「そう思わない」（「あまり思わない」（29.3%）及び「思わない」（8.2%）の合計）は37.5%と、「思う」が「そう思わない」を22.2ポイント上回っている。

性別では、「思う」は女性（67.5%）が男性（49.0%）より18.5ポイント高い。年齢別に見ると、「思う」は30～39歳（77.3%）が最も高く、若い世代ほど、その割合が高くなっている。

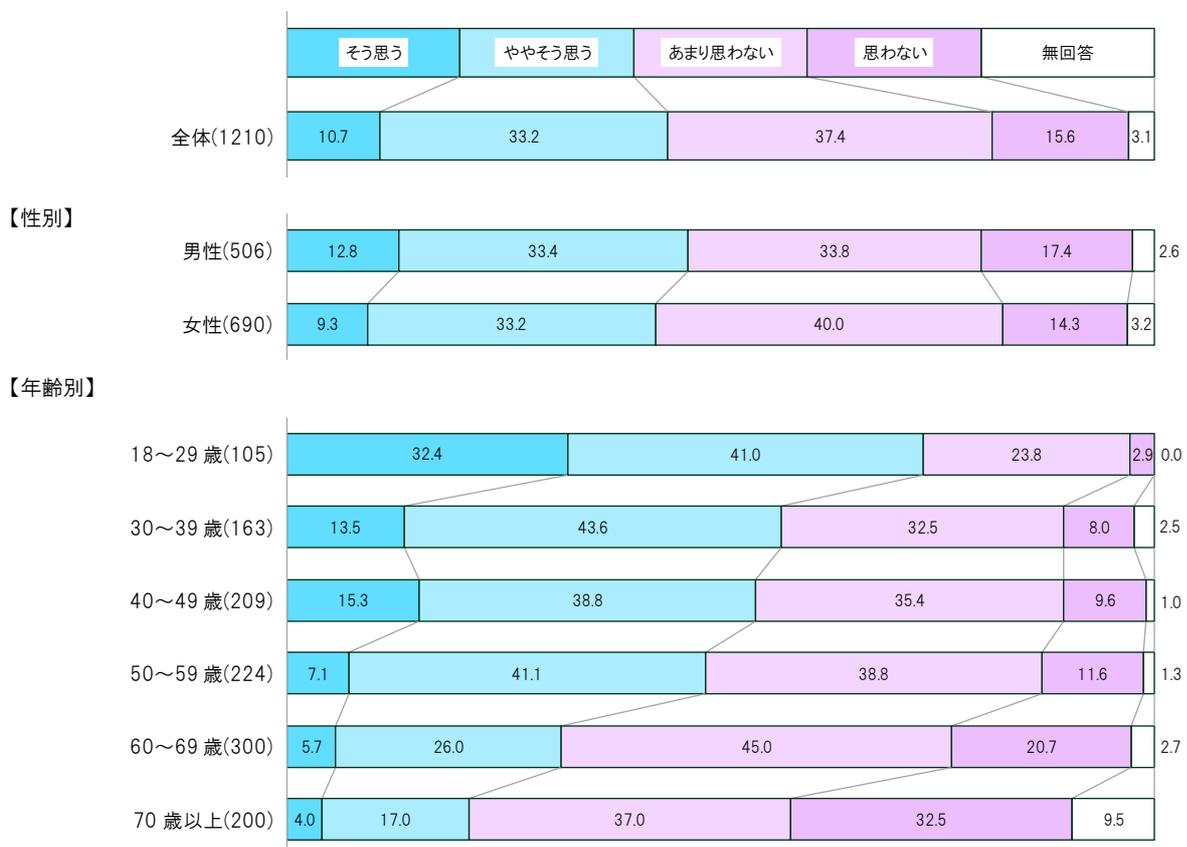


#### 4 仕事よりも、自分の自由時間を優先したい

##### 全体の半数以上が「そう思わない」と回答

「思う」（「そう思う」（10.7%）及び「ややそう思う」（33.2%）の合計）は43.9%、「そう思わない」（「あまり思わない」（37.4%）及び「思わない」（15.6%）の合計）は53.0%と、「そう思わない」が「思う」を9.1ポイント上回っている。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「そう思わない」は70歳以上（69.5%）が最も高く、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなっている。

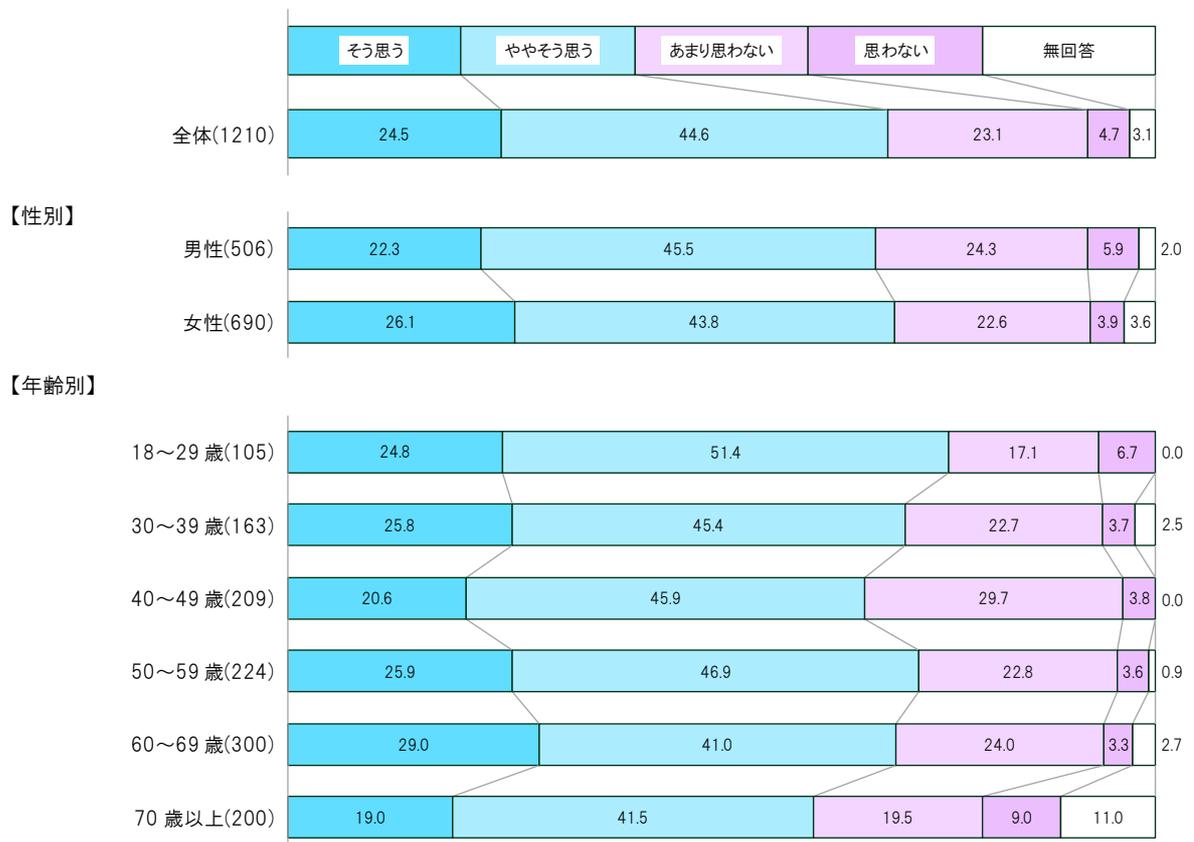


## 5 企業の管理職や団体の役員に女性を積極的に登用すべきだ

### 全体の約7割が「思う」と回答

「思う」（「そう思う」（24.5%）及び「ややそう思う」（44.6%）の合計）は69.1%、「そう思わない」（「あまり思わない」（23.1%）及び「思わない」（4.7%）の合計）は27.8%と、「思う」が「そう思わない」を41.3ポイント上回っている。

性別、年齢別では、「思う」「そう思わない」共に差は見られない。

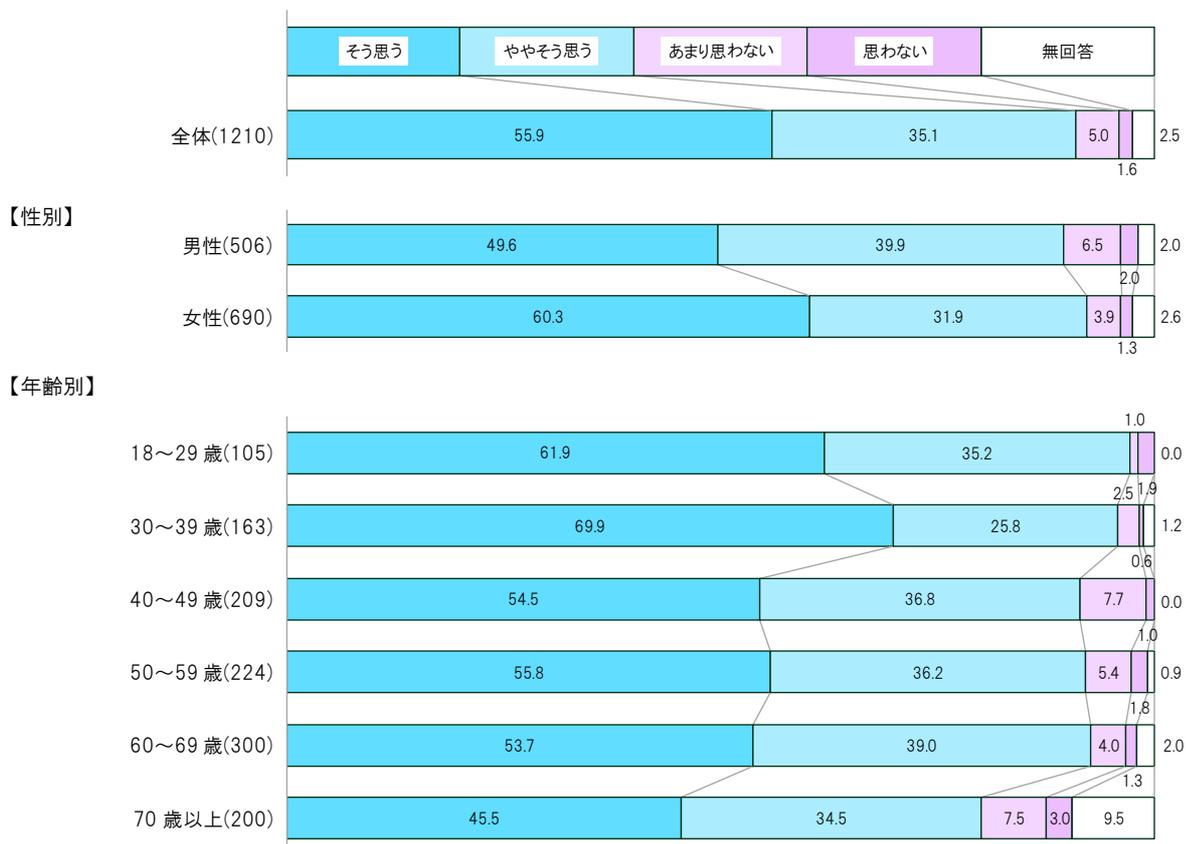


## 6 企業は、女性が仕事を続けられるような就業環境を整備すべきだ

### 全体の9割が「思う」と回答

「思う」（「そう思う」（55.9%）及び「ややそう思う」（35.1%）の合計）は91.0%、「そう思わない」（「あまり思わない」（5.0%）及び「思わない」（1.6%）の合計）は6.6%と、「思う」が「そう思わない」を84.4ポイント上回っている。特に、全体の55.9%が“そう思う”と回答している。

性別では、「思う」には差が見られないが、“そう思う”と回答した割合は女性（60.3%）が男性（49.6%）より10.7ポイント高くなっている。年齢別に見ると、18～29歳（97.1%）から60～69歳（92.7%）までの年代で、「思う」と回答した割合が高くなっている。

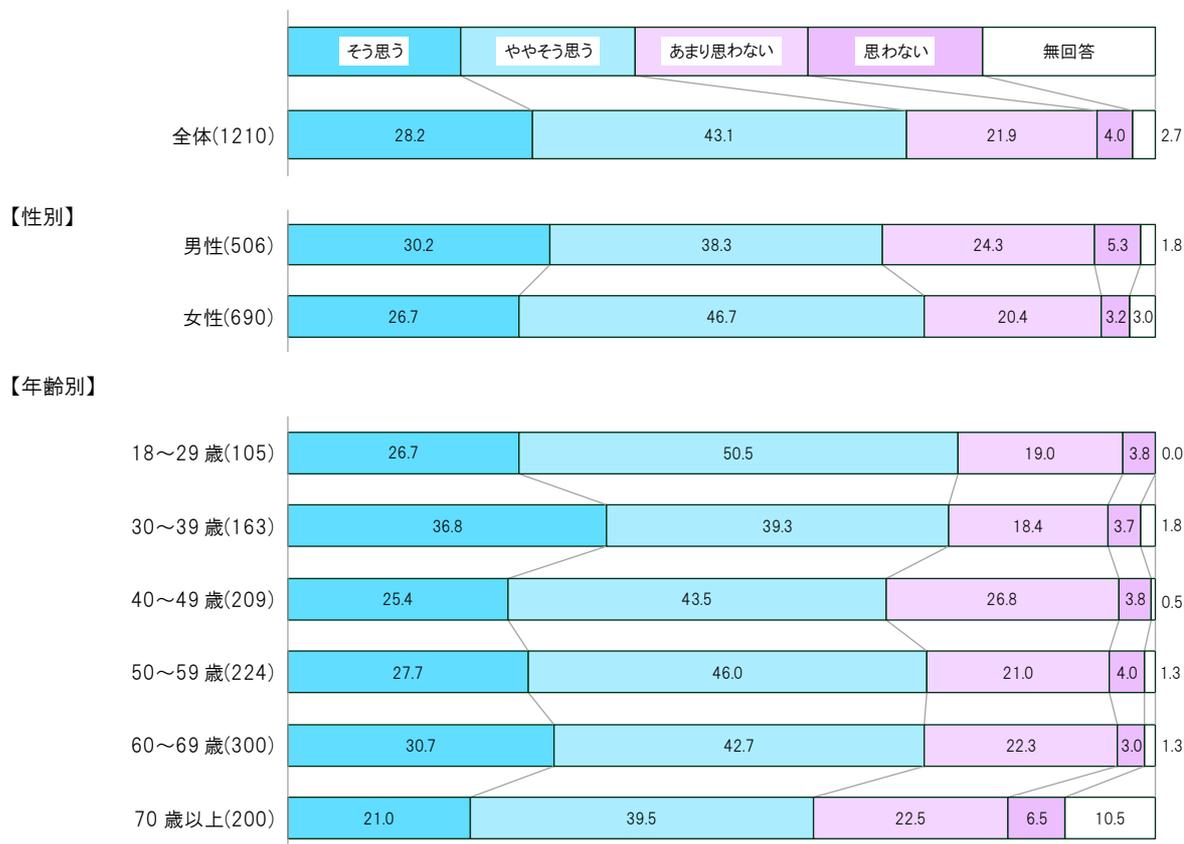


## 7 女性の活躍が進めば、地域の経済社会が今よりも活性化する

### 全体の7割が「思う」と回答

「思う」（「そう思う」（28.2%）及び「ややそう思う」（43.1%）の合計）は71.3%、「そう思わない」（「あまり思わない」（21.9%）及び「思わない」（4.0%）の合計）は25.9%と、「思う」が「そう思わない」を45.4ポイント上回っている。

性別では、「思う」には差が見られないが、「そう思わない」は女性（23.6%）が男性（29.6%）より6.0ポイント低い。年齢別に見ると、「思う」は70歳以上（60.5%）が最も低くなっているが、その他の年代に差は見られない。



## ◆運動・スポーツについて

問1 あなたは、この1年間に運動・スポーツをどの程度行いましたか。(1つ)

### 全体の約半数が「週1回以上」スポーツを行っている

「週1回以上」(「ほとんど毎日」(12.5%)、「週3回～4回程度」(13.6%)及び「週1回～2回程度」(22.9%)の合計)は全体の49.0%となっている。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「週1回以上」は、70歳以上(72.0%)が最も高くなっている。一方、「ほとんど行っていない」は、40～49歳(49.3%)が最も高く、この年代から離れるほど、その割合は低くなっている。



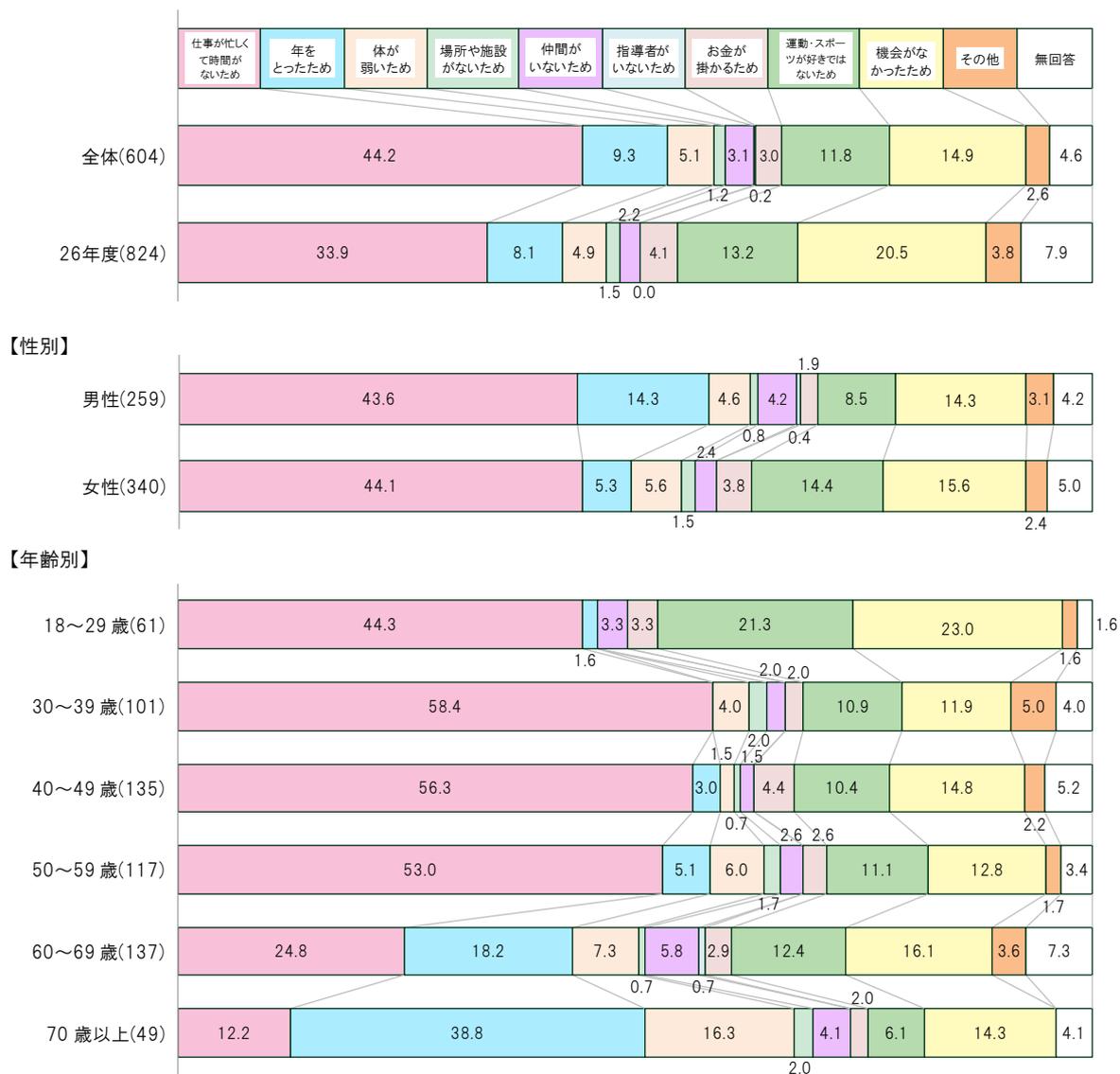
(問1で「月に1～3回程度」または「ほとんど行っていない」と答えた方にお聞きします)

問1-2 あなたが運動・スポーツを行わなかった理由は何ですか。(1つ)

4割が「仕事が忙しくて時間がないため」と回答

「仕事が忙しくて時間がないため」が全体の44.2%と最も高くなっている。

性別では、「年をとったため」は男性(14.3%)が女性(5.3%)より9.0ポイント高く、「運動・スポーツが好きではないため」は女性(14.4%)が男性(8.5%)より5.9ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「仕事が忙しくて時間がないため」は30～39歳(58.4%)、40～49歳(56.3%)、50～59歳(53.0%)が高くなっている。18～29歳は、「運動・スポーツが好きではないため」(21.3%)及び、「機会がなかったため」(23.0%)の項目において、最も高い割合となっている。



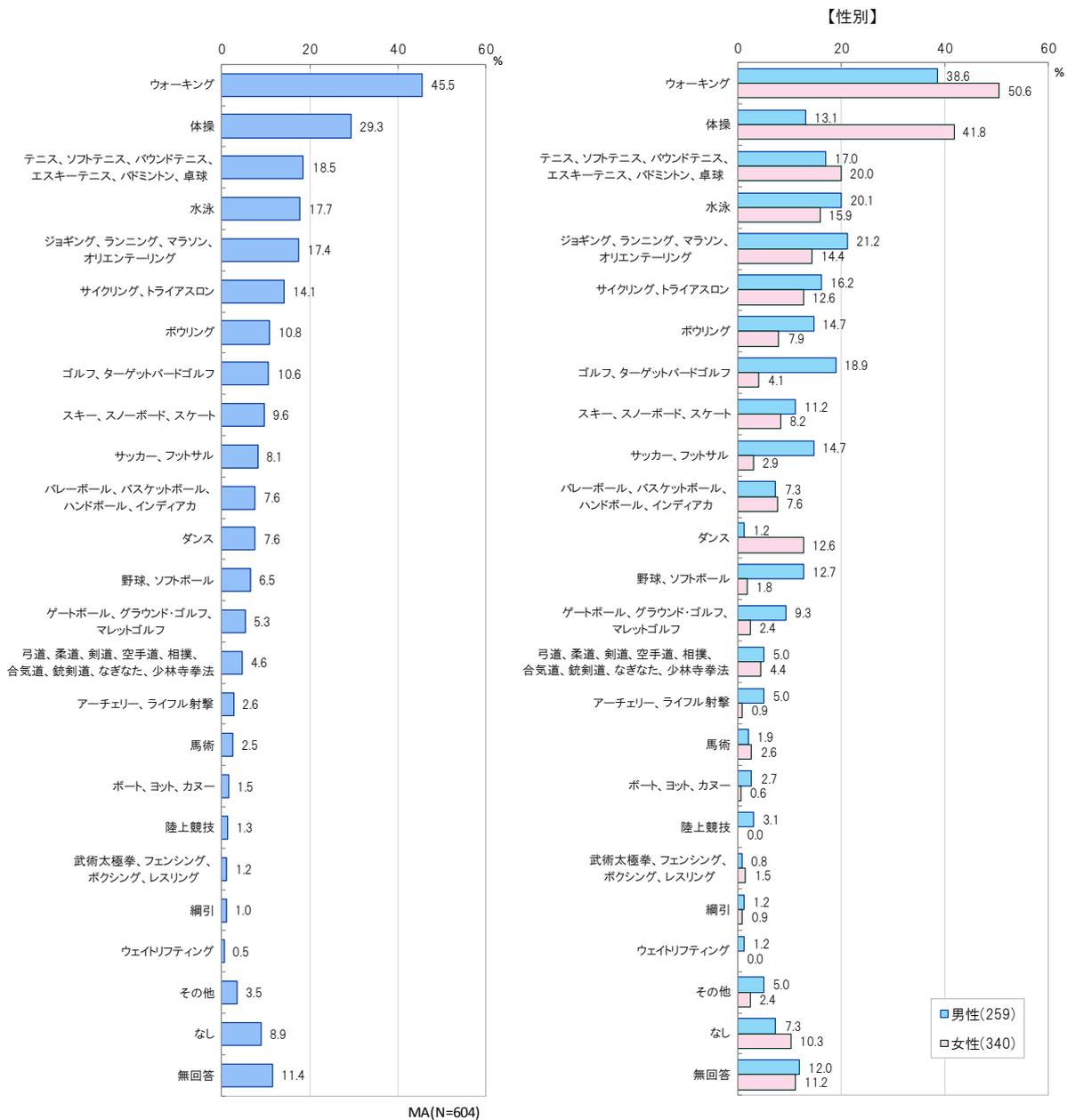
(問1で「月に1～3回程度」または「ほとんど行っていない」と答えた方にお聞きします)

**問1-3 あなたは、今後どのような運動・スポーツをしたいですか。(5つまで)**

**「ウォーキング」「体操」の割合が高い**

「ウォーキング」(45.5%)が最も高く、次いで「体操」(29.3%)が高くなっている。

性別では、「ウォーキング」、「体操」の割合は、いずれも女性が男性より高く、特に「体操」は、女性(41.8%)が男性(13.1%)より28.7ポイント高くなっている。一方、「ジョギング、ランニング等」の割合は、男性(21.2%)が女性(14.4%)より6.8ポイント高くなっている。

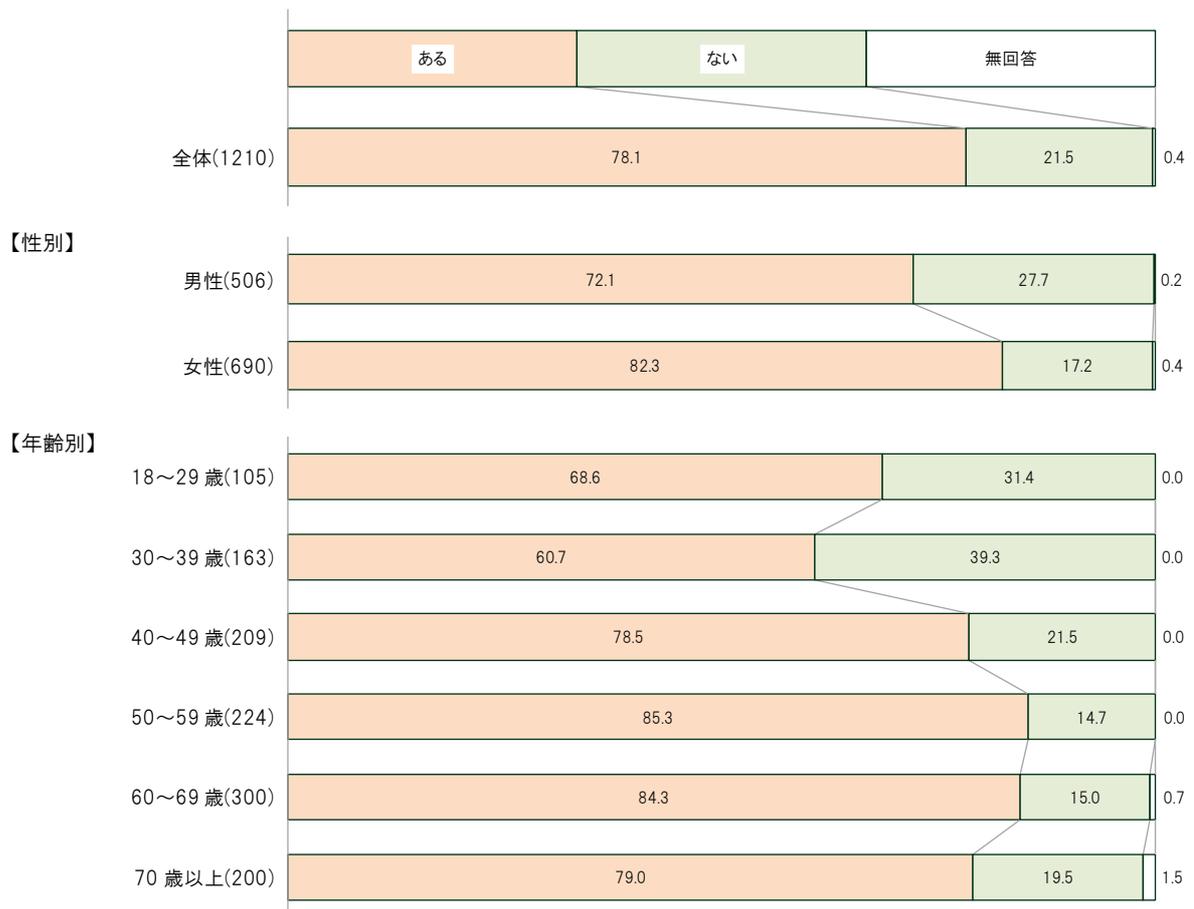


## ◆福井市文化会館の再整備について

問1 あなたは、これまでに福井市文化会館（春山2丁目）へ行ったことがありますか。（1つ）

全体の約8割が「文化会館へ行ったことがある」と回答

「ある」が78.1%、「ない」が21.5%と、「ある」が「ない」を56.6ポイント上回っている。  
性別では、「ある」は女性（82.3%）が男性（72.1%）より10.2ポイント高い。年齢別に見ると、「ある」は「40～49歳」（78.5%）から「70歳以上」（79.0%）までの年代で、その割合が高くなっている。



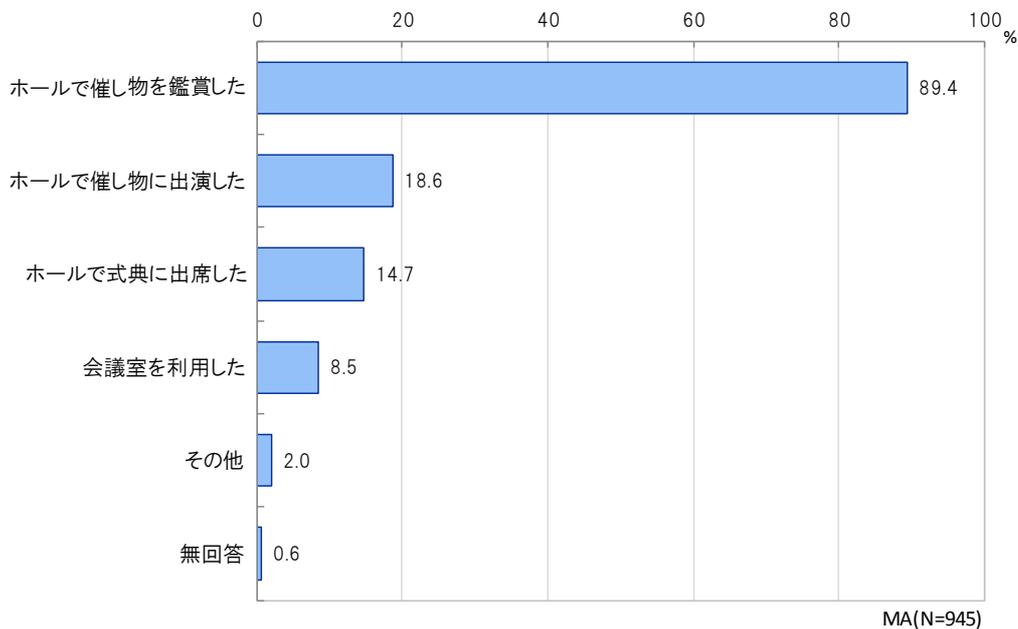
(問1で「ある」と答えた方にお聞きします)

問1-2 あなたは、どのような目的で文化会館を利用しましたか。(いくつでも)

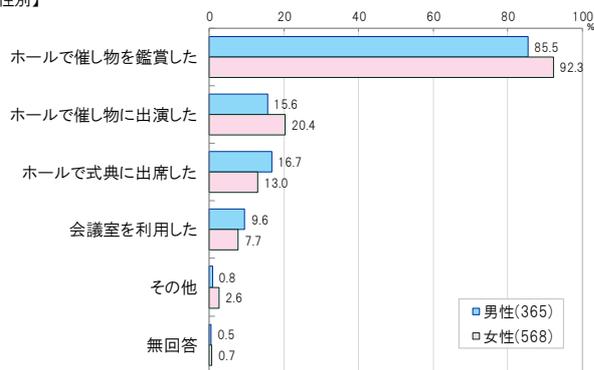
約9割が「ホールで催し物を鑑賞した」と回答

「ホールで催し物を鑑賞した」が89.4%と最も高くなっている。

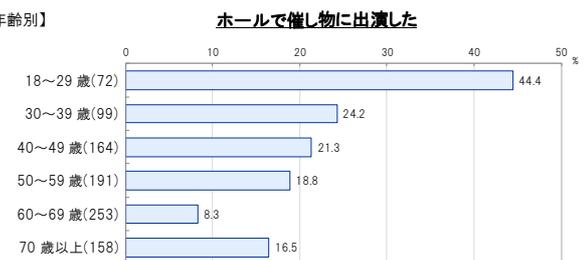
性別では、「ホールで催し物を鑑賞した」は、女性(92.3%)が男性(85.5%)より6.8ポイント高い。年齢別に見ると、「ホールで催し物に出演した」は18~29歳(44.4%)が最も高くなっている。



【性別】



【年齢別】

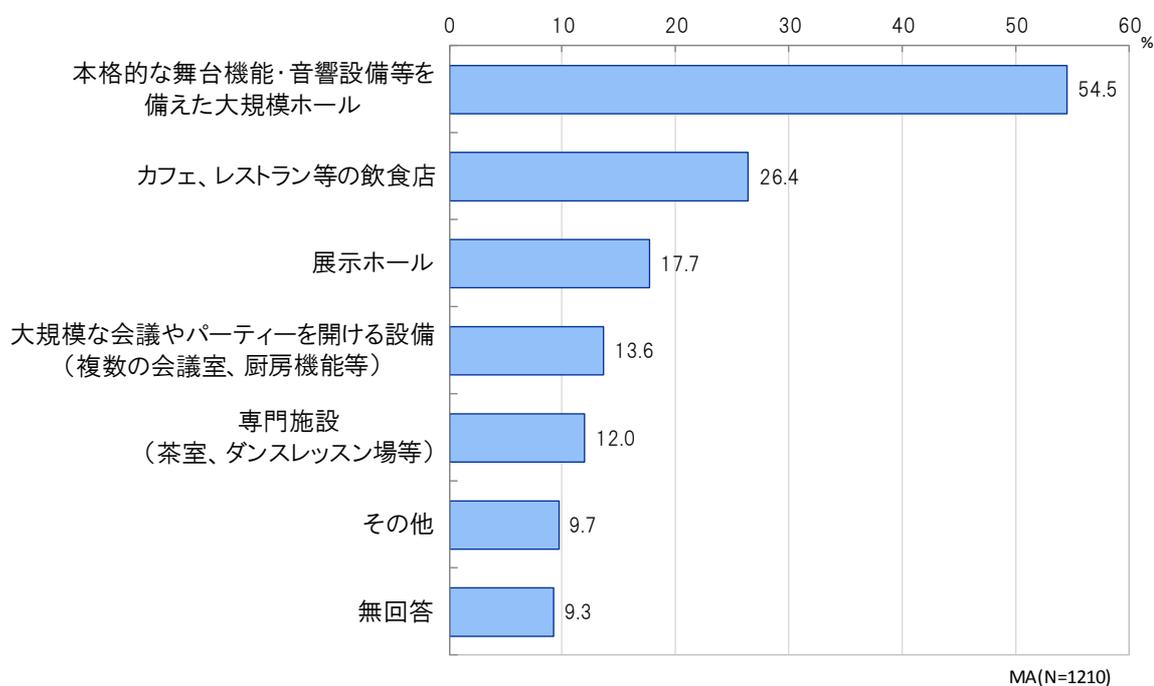


問2 あなたが、文化会館に求める機能は何ですか。(2つまで)

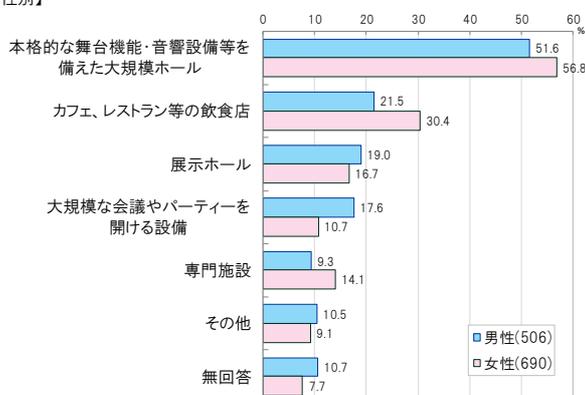
全体の5割以上が「本格的な舞台機能・音響設備を備えた大規模ホール」と回答

「本格的な舞台機能・音響設備等を備えた大規模ホール」(以下、「大規模ホール」という。)(54.5%)が最も高く、次に、「カフェ、レストラン等の飲食店」(以下、「飲食店」という。)(26.4%)が高くなっている。

性別では、「大規模ホール」、「飲食店」はいずれも男性より女性の割合が高く、特に「飲食店」は女性(30.4%)が男性(21.5%)より8.9ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「大規模ホール」は18~29歳(65.7%)が最も高く、18~29歳(65.7%)から50~59歳(61.2%)までの年代で、半数以上の割合となっている。

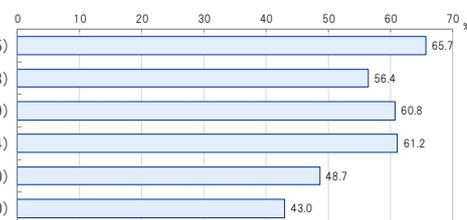


【性別】



【年齢別】

本格的な舞台機能・音響設備等を備えた大規模ホール

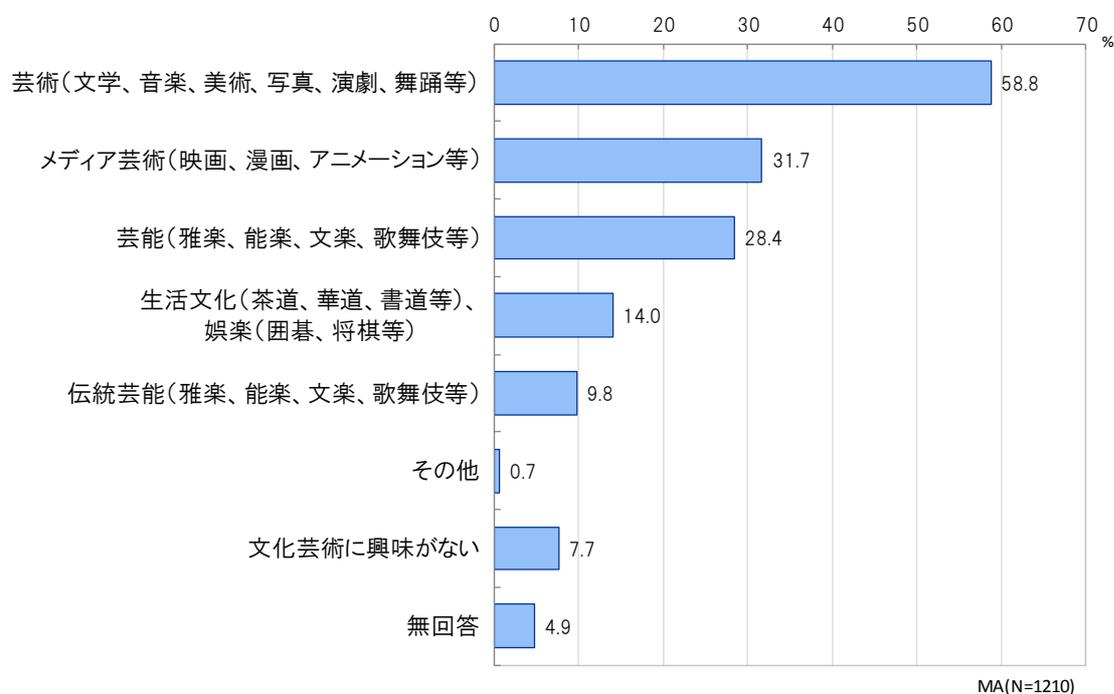


問3 あなたは、どのような文化芸術分野に興味がありますか。

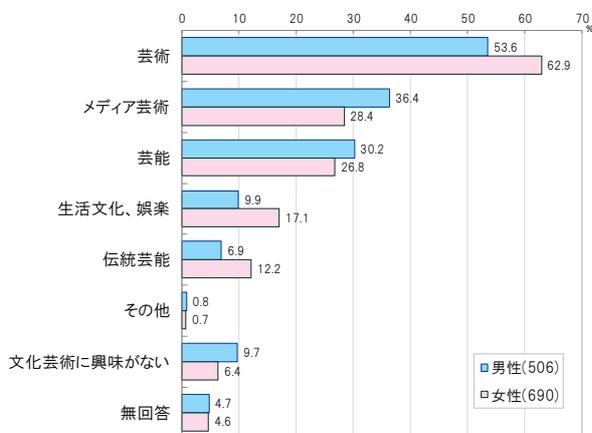
全体の約6割が「芸術」と回答

「芸術」が 58.8%と最も高く、次いで「メディア芸術」(31.7%)、「芸能」(28.4%)が高くなっている。

性別では、「芸術」は女性(62.9%)が男性(53.6%)より9.3ポイント高く、「メディア芸術」は男性(36.4%)が女性(28.4%)より8.0ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「メディア芸術」は18~29歳(63.8%)が最も高く、若い世代ほど、その割合が高いが、「芸能」は70歳以上(39.0%)、60~69歳(38.0%)が高く、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなっている。

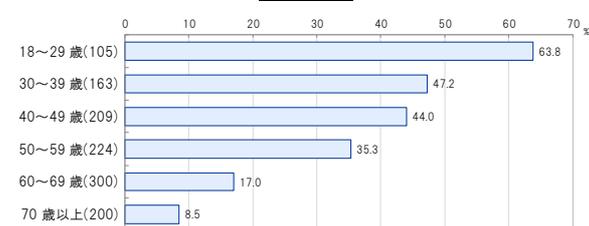


【性別】



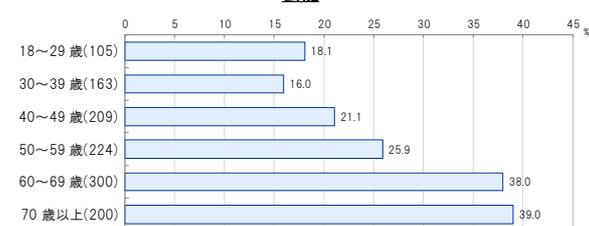
【年齢別】

メディア芸術



【年齢別】

芸能



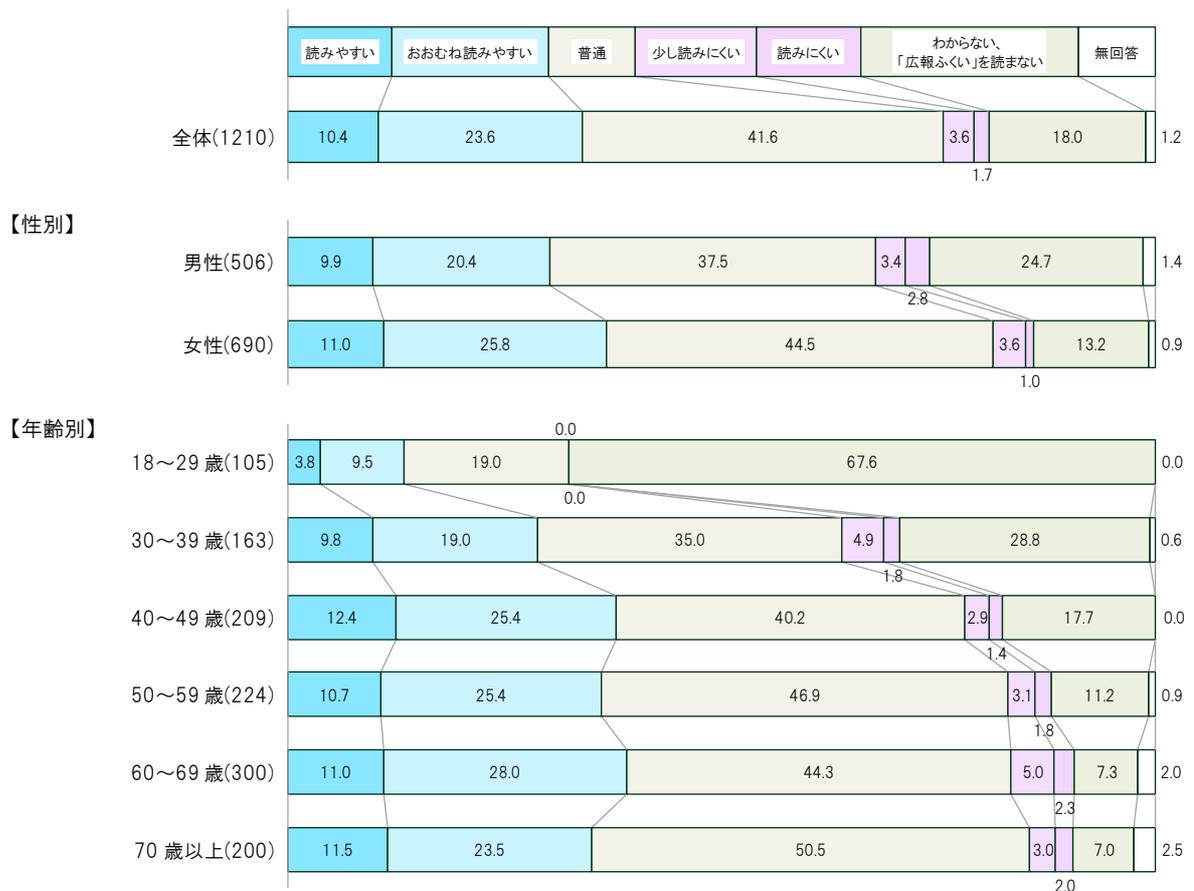
## ◆広報紙「広報ふくい」について

問1 あなたは、「広報ふくい」のデザインや文字の読みやすさについてどのように思いますか。  
(1つ)

### 全体の3割が「よい」と回答

「よい」（「読みやすい」（10.4%）及び「おおむね読みやすい」（23.6%）の合計）が34.0%、「悪い」（「少し読みにくい」（3.6%）及び「読みにくい」（1.7%）の合計）が5.3%と、「よい」が「悪い」を28.7ポイント上回っている。

性別では、「よい」は、女性（36.8%）が男性（30.3%）より6.5ポイント高い。年齢別に見ると、「よい」は、18～29歳（13.3%）が最も低く、40歳以降の年齢については、35.0%～39.0%の割合となっている。一方、「わからない、「広報ふくい」を読まない」は、18～29歳（67.6%）が最も高く、年齢の高い世代ほど、その割合が低くなっている。

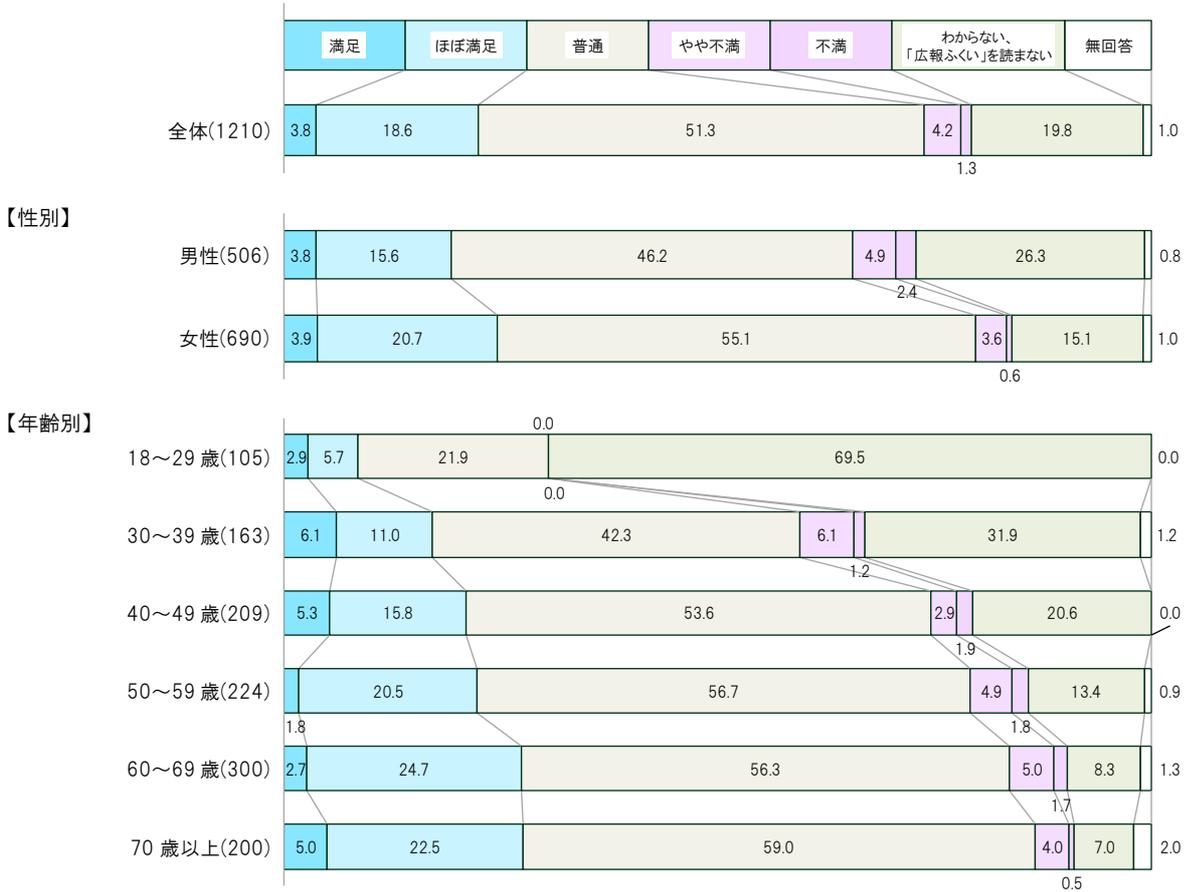


問2 あなたは、「広報ふくい」の特集記事や連載記事の内容についてどのように思いますか。  
(1つ)

全体の約2割が「満足」「ほぼ満足」と回答

満足度（「満足」(3.8%) 及び「ほぼ満足」(18.6%) の合計）は 22.4%、不満度（「やや不満」(4.2%) 及び「不満」(1.3%) の合計）は 5.5%と、満足度が不満度を 16.9 ポイント上回っている。

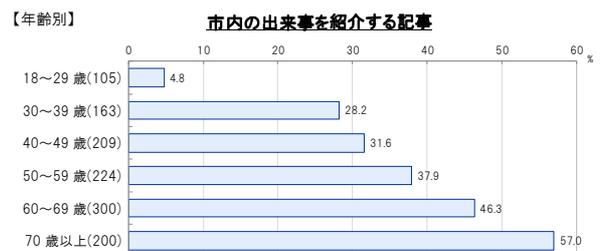
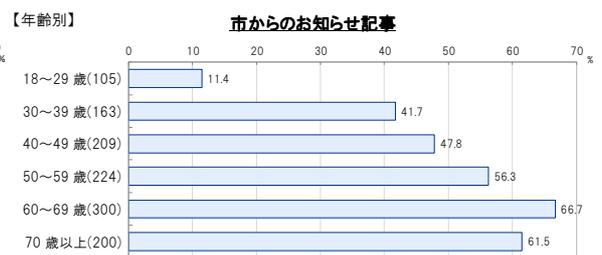
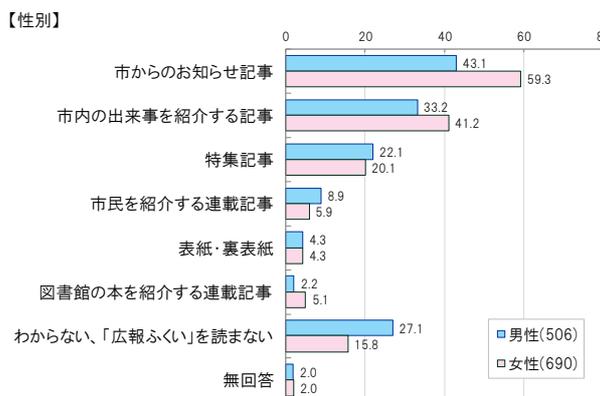
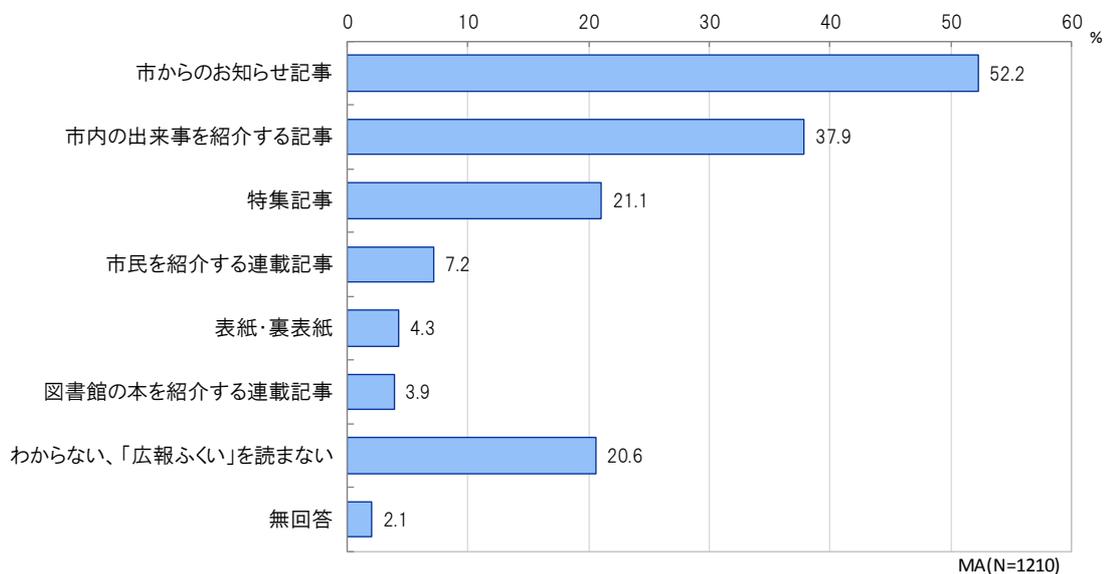
性別では、満足度は女性 (24.6%) が男性 (19.4%) より 5.2 ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は 70 歳以上 (27.5%)、60～69 歳 (27.4%) の割合が高く、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなっている。



問3 「広報ふくい」内の、あなたが好んでよく見るページ・コーナーはどれですか。  
(2つまで)

全体の半数が「市からののお知らせ記事」と回答

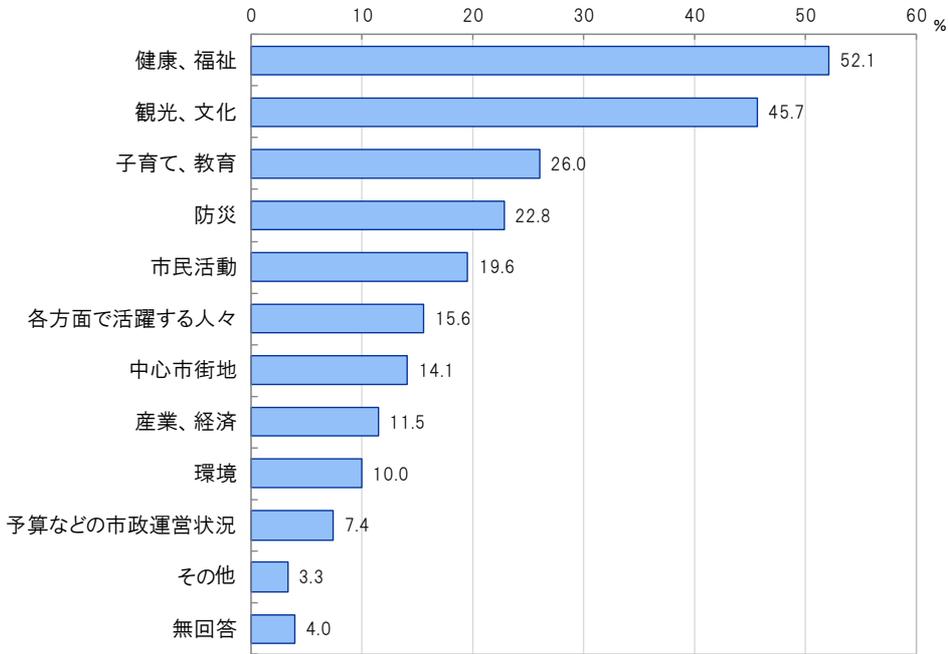
「市からののお知らせ記事（以下、「お知らせ記事」という。）」が 52.2%と最も高く、次いで、「市内の出来事を紹介する記事（以下、「出来事紹介」という。）」(37.9%) が高くなっている。  
性別では、「お知らせ記事」、「出来事紹介」と回答した割合は女性が男性より高くなっている。  
年齢別に見ると、「お知らせ記事」は 60～69 歳 (66.7%) が、「出来事紹介」は 70 歳以上 (57.0%) が最も高くなっており、どちらの項目も、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなっている。



問4 あなたが、「広報ふくい」で特集として詳しく取り上げてほしい分野はどれですか。  
(3つまで)

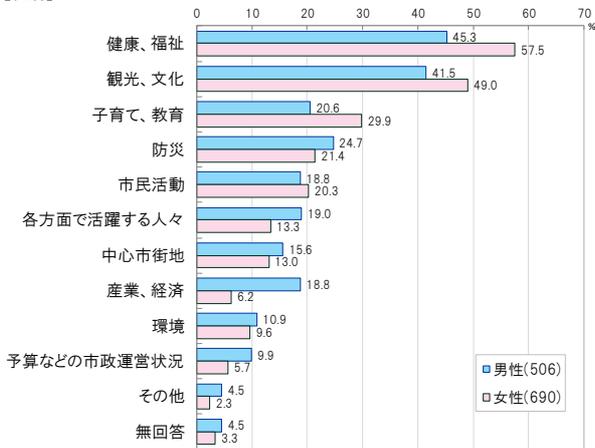
「健康、福祉」「観光、文化」の割合が高い

「健康、福祉」が52.1%と最も高く、次いで、「観光、文化」が45.7%と高くなっている。  
性別では、「健康、福祉」「観光、文化」で、女性が男性より、その割合が高い。一方、「産業、経済」については、男性(18.8%)が女性(6.2%)より12.6ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「健康、福祉」は、70歳以上(67.0%)が最も高く、18~29歳(23.8%)が最も低くなっており、若い世代ほど、その割合が低くなっている。また、「子育て、教育」は、30~39歳(64.4%)が最も高く、他の年代より30.4~56.9ポイント高くなっている。

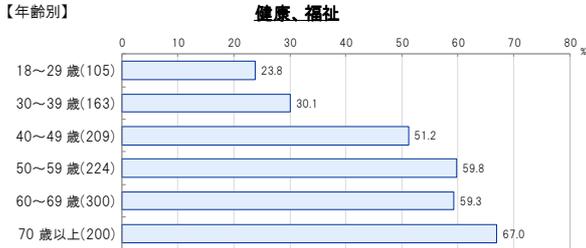


MA(N=1210)

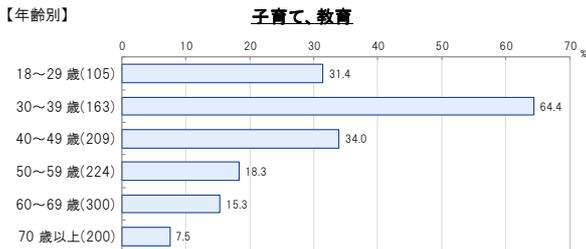
【性別】



【年齢別】



【年齢別】



## ◆福井市の住みやすさについて

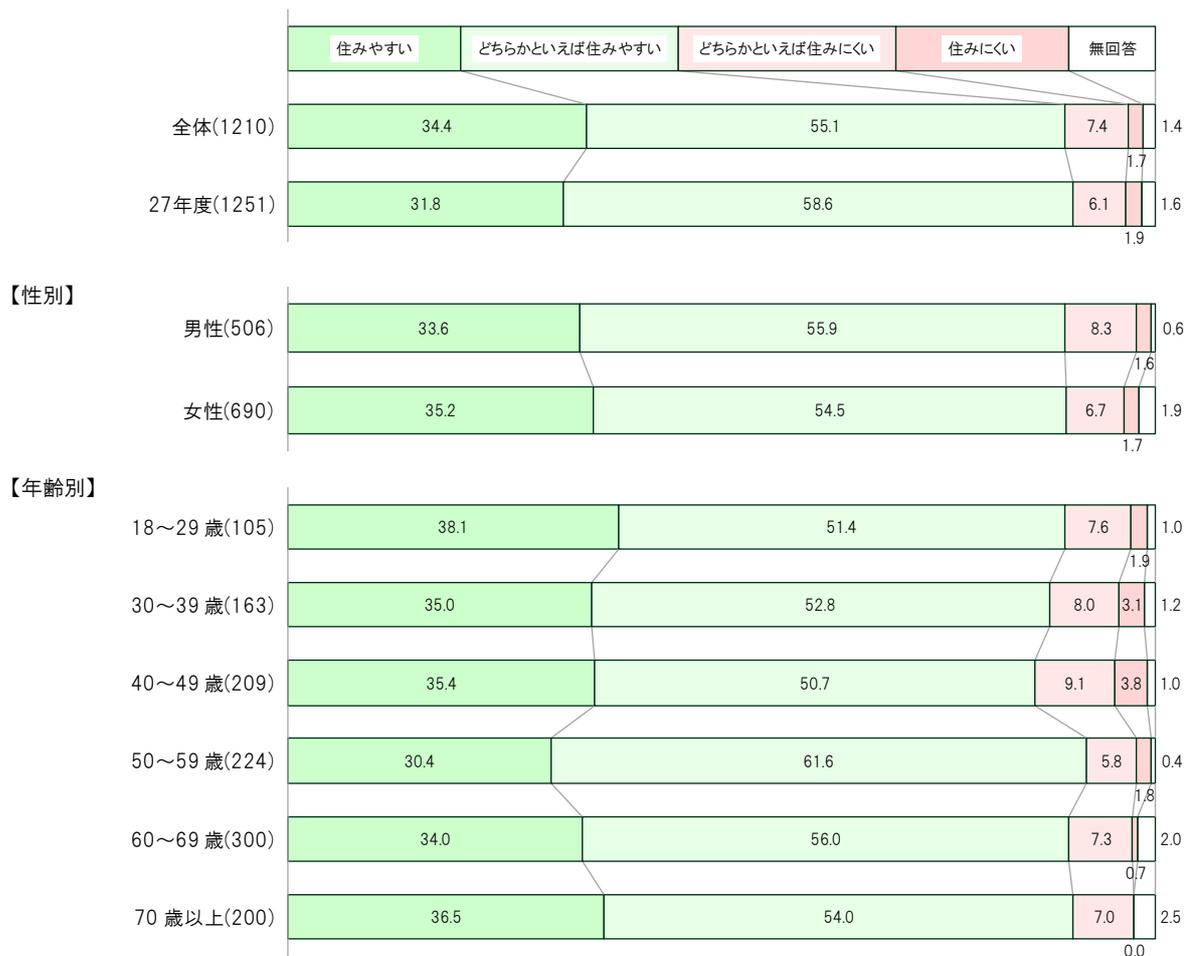
※問1の調査結果については、21ページ以降をご覧ください。

問2 あなたは、福井市は住みやすいまちだと思いますか。(1つ)

### 全体の約9割が「福井市は住みやすい」と回答

「福井市は住みやすい」(「住みやすい」(34.4%)及び「どちらかといえば住みやすい」(55.1%)の合計)は89.5%、「福井市は住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」(7.4%)及び「住みにくい」(1.7%)の合計)は9.1%となっており、「福井市は住みやすい」が「福井市は住みにくい」を80.4ポイント上回っている。27年度との差は見られない。

性別、年齢別では、差は見られず、男女とも年齢によらず「福井市は住みやすい」は高い割合となっている。

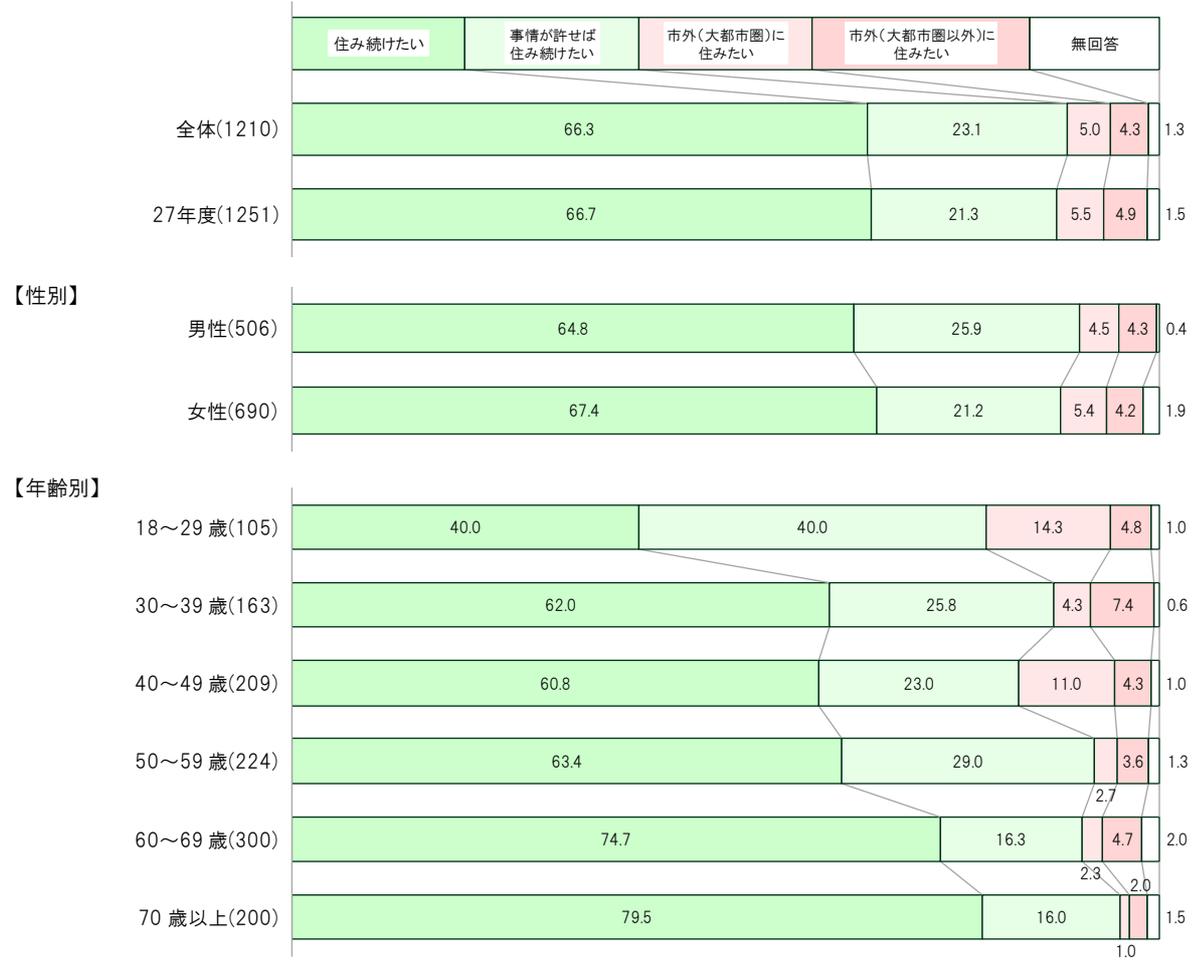


問3 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

全体の約9割が「福井市に住み続けたい」と回答

「福井市に住み続けたい」(「住み続けたい」(66.3%)及び「事情が許せば住み続けたい」(23.1%)の合計)は89.4%、「福井市外に住みたい」(「市外(大都市圏)に住みたい」(5.0%)及び「市外(大都市圏以外)に住みたい」(4.3%)の合計)は9.3%と、「福井市に住み続けたい」が「福井市外に住みたい」より80.1ポイント高くなっている。27年度との差は見られない。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「福井市に住み続けたい」は、50歳以降の年代で、その割合が高くなっている。また、「住み続けたい」と回答した割合は、年齢が高い世代が高くなっている。



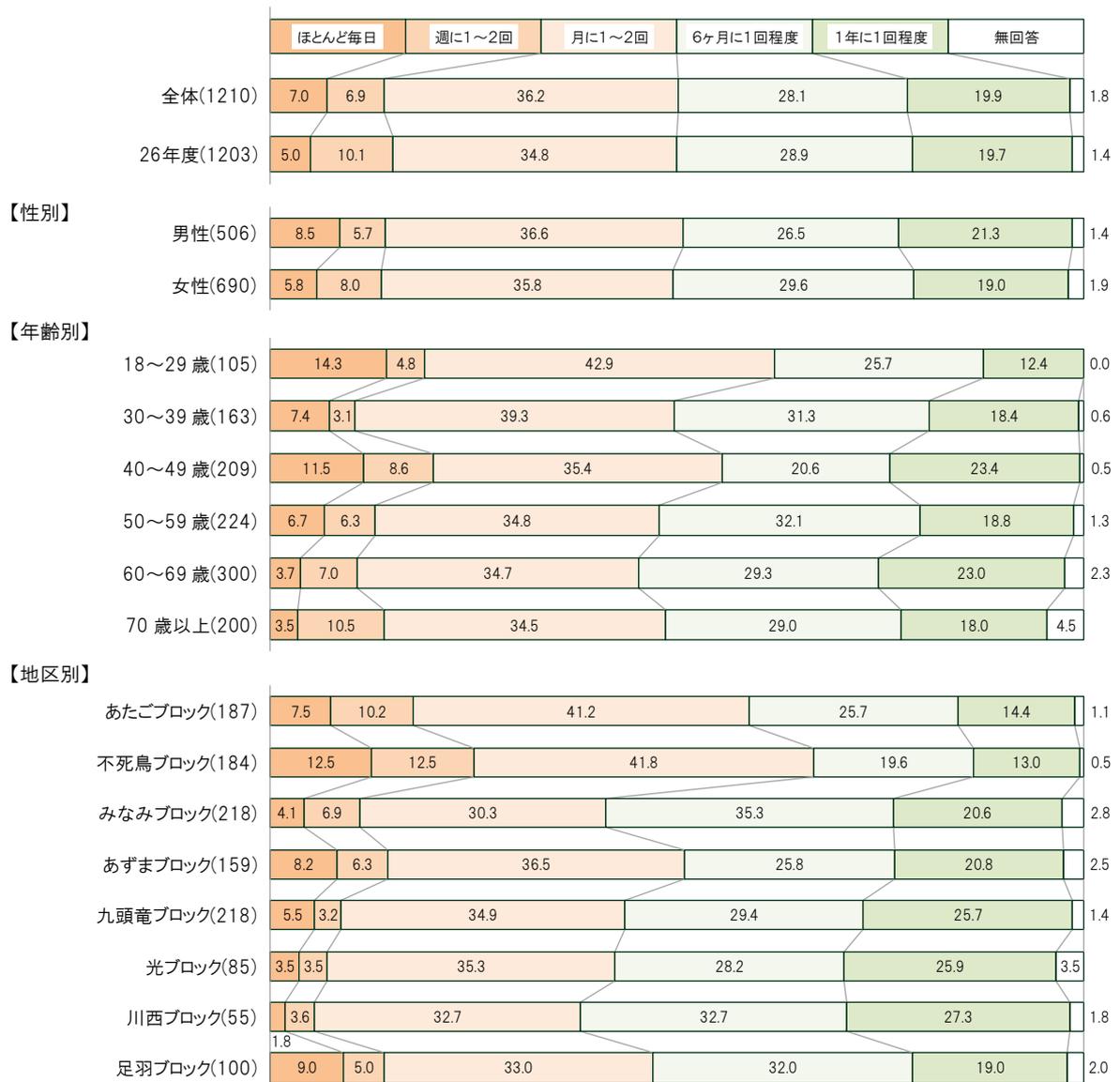
## ◆中心市街地と生活環境について

問1 あなたは、JR福井駅を中心とした中心市街地には、どのくらいの割合で訪れますか。  
(1つ)

### 全体の半数が「月に1回以上」中心市街地を訪れている

「月に1回以上」(「ほとんど毎日」(7.0%)、「週に1~2回」(6.9%)及び「月に1~2回」(36.2%)の合計)は、全体の50.1%となっている。前回調査(平成26年度)との差は見られない。

性別では、「月に1回以上」に差は見られない。年齢別に見ると、「月に1回以上」は、18~29歳(62.0%)が最も高く、他の年代より6.5~16.6ポイント高くなっている。地区別では、「月に1回以上」は、不死鳥ブロック(66.8%)が最も高く、次いであたごブロック(58.9%)が高くなっている。

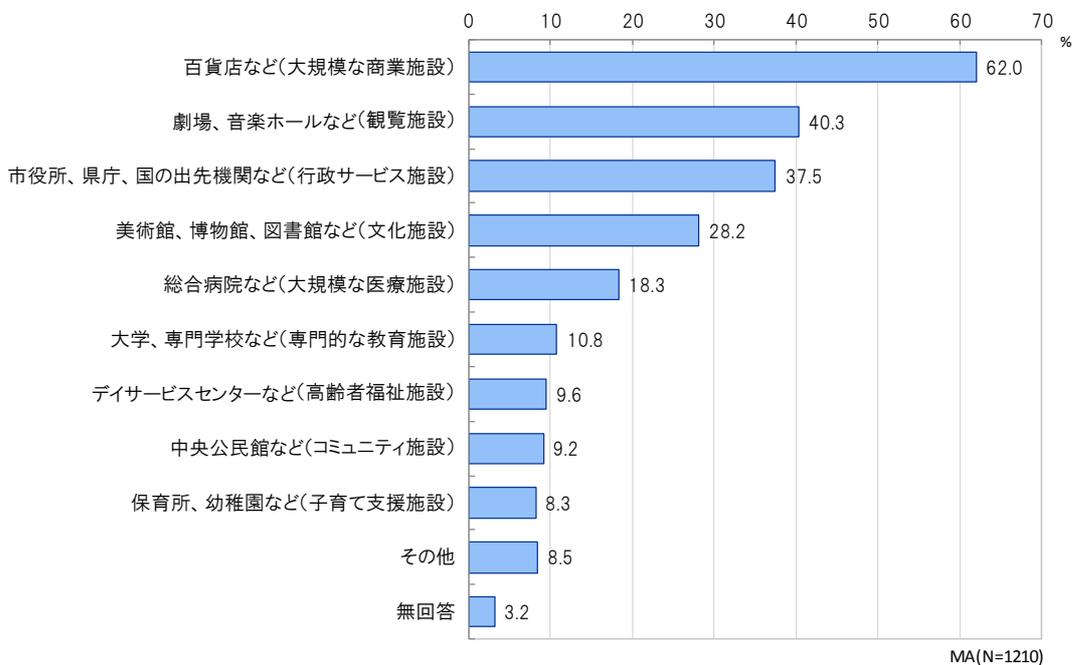


問2 あなたは、県都としての魅力を高めるために中心市街地に必要な施設とは、どのような施設だと思いますか。現在、中心市街地にある施設も含めて回答してください。  
(3つまで)

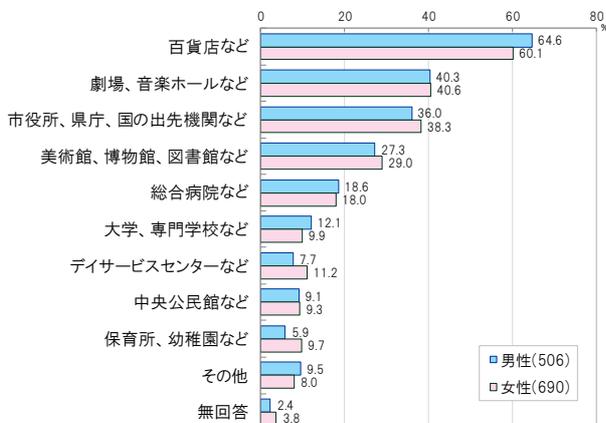
全体の6割が「百貨店など」と回答

「百貨店など」が62.0%と最も高くなっている。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「百貨店など」は、18～29歳(82.9%)が最も高く、若い世代ほど、その割合が高くなっている。また、「市役所、県庁、国の出先機関など」は、70歳以上(49.0%)が最も高く、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなっている。

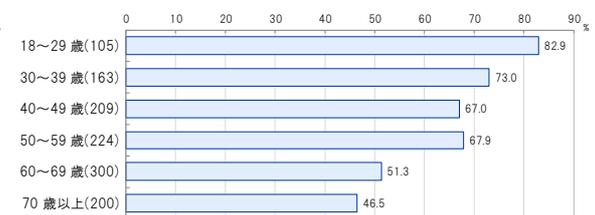


【性別】



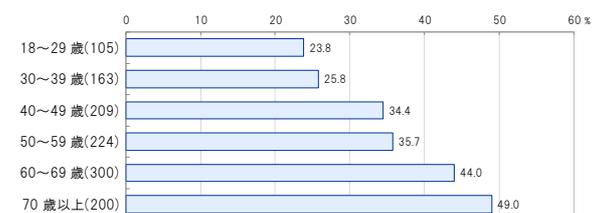
【年齢別】

百貨店など



【年齢別】

市役所、県庁、国の出先機関など

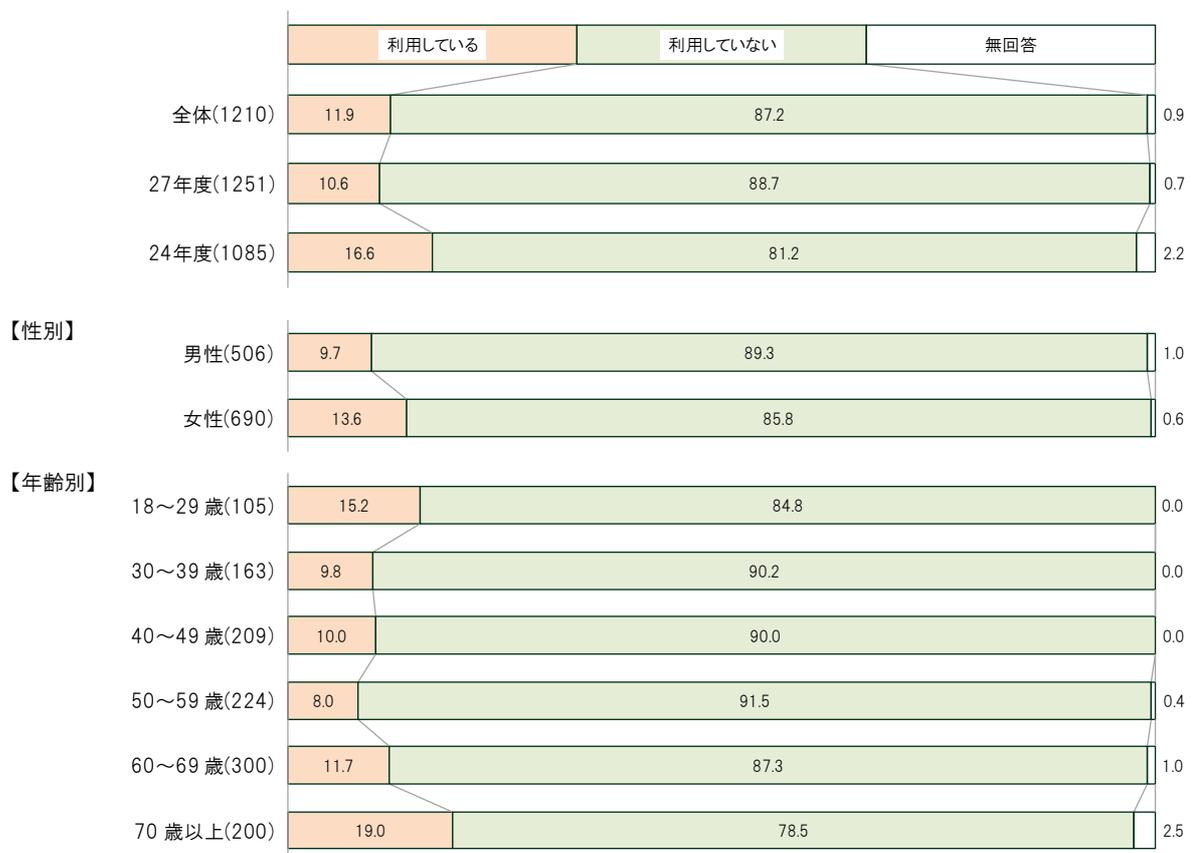


問3 あなたは、通勤・通学や買い物、通院など日常生活でバス・鉄道を利用していますか。  
(1つ)

全体の約9割が「利用していない」

「利用している」は11.9%、「利用していない」は87.2%と、「利用していない」が「利用している」を75.3ポイント上回っている。

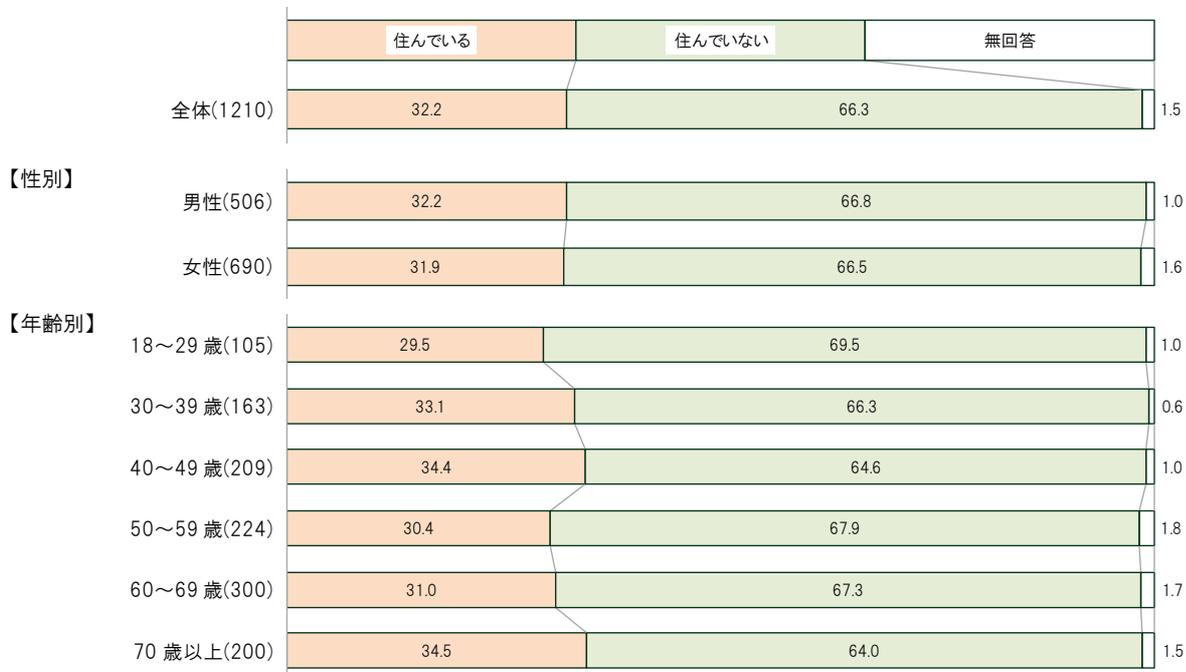
性別、年齢別では、差は見られない。



問4 公共交通のうち鉄道（JR・えちぜん鉄道・福井鉄道）についてお聞きします。  
 あなたは、駅の近くや鉄道沿線など、鉄道の利用しやすい場所（駅等から半径500メートル、あるいは徒歩5分～10分ぐらいの範囲内）に住んでいますか。（1つ）

全体の3割が「住んでいる」と回答

「住んでいる」は32.2%、「住んでいない」は66.3%となっている。  
 性別、年齢別では、差は見られない。



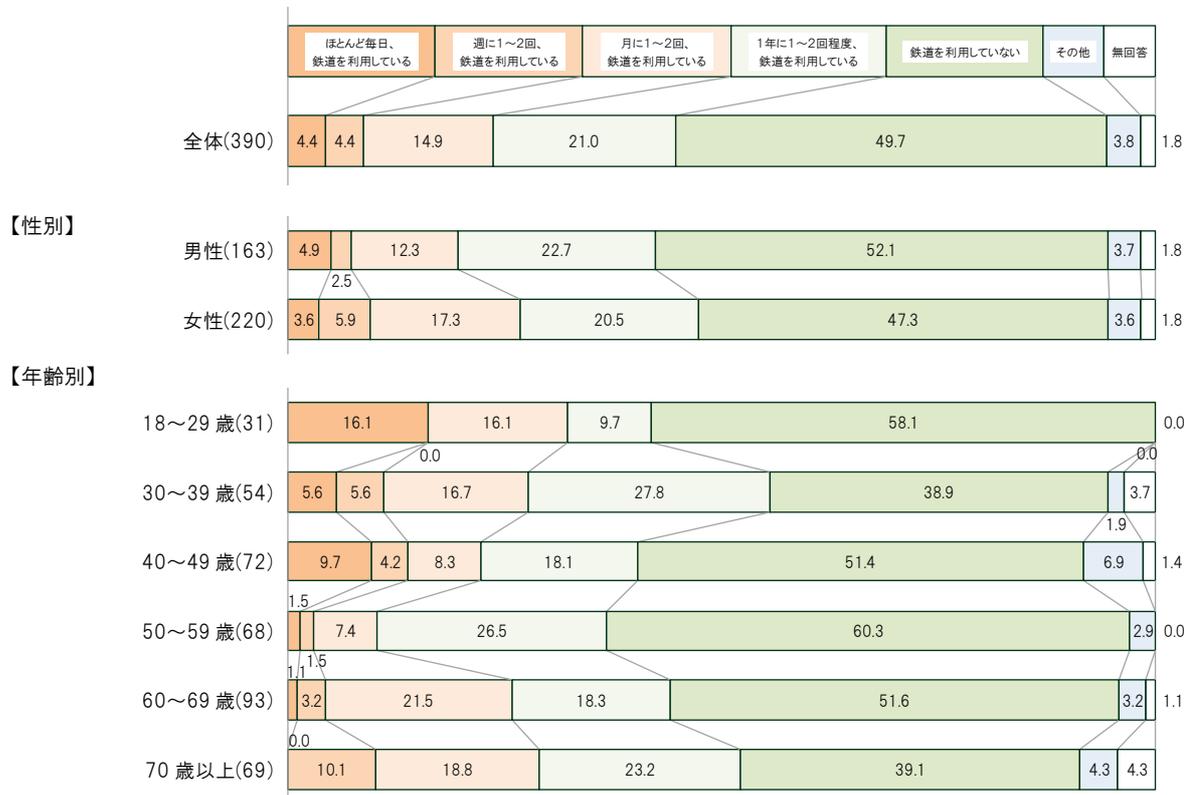
(問4で「住んでいる」と答えた方にお聞きします)

問4-2 あなたは、通勤・通学や買い物、通院など日常生活において、鉄道をどのくらい利用していますか。(1つ)

2割が「月に1回以上鉄道を利用している」と回答

「月に1回以上」(「ほとんど毎日」(4.4%)、「週に1~2回」(4.4%)及び「月に1~2回」(14.9%)の合計)は23.7%となっており、「鉄道を利用していない」は49.7%となっている。

性別では、「月に1回以上」は女性(26.8%)が男性(19.7%)より7.1ポイント高い。年齢別に見ると、「月に1回以上」は50~59歳(10.4%)が最も低く、この年代から離れるほど、その割合は高くなっている。



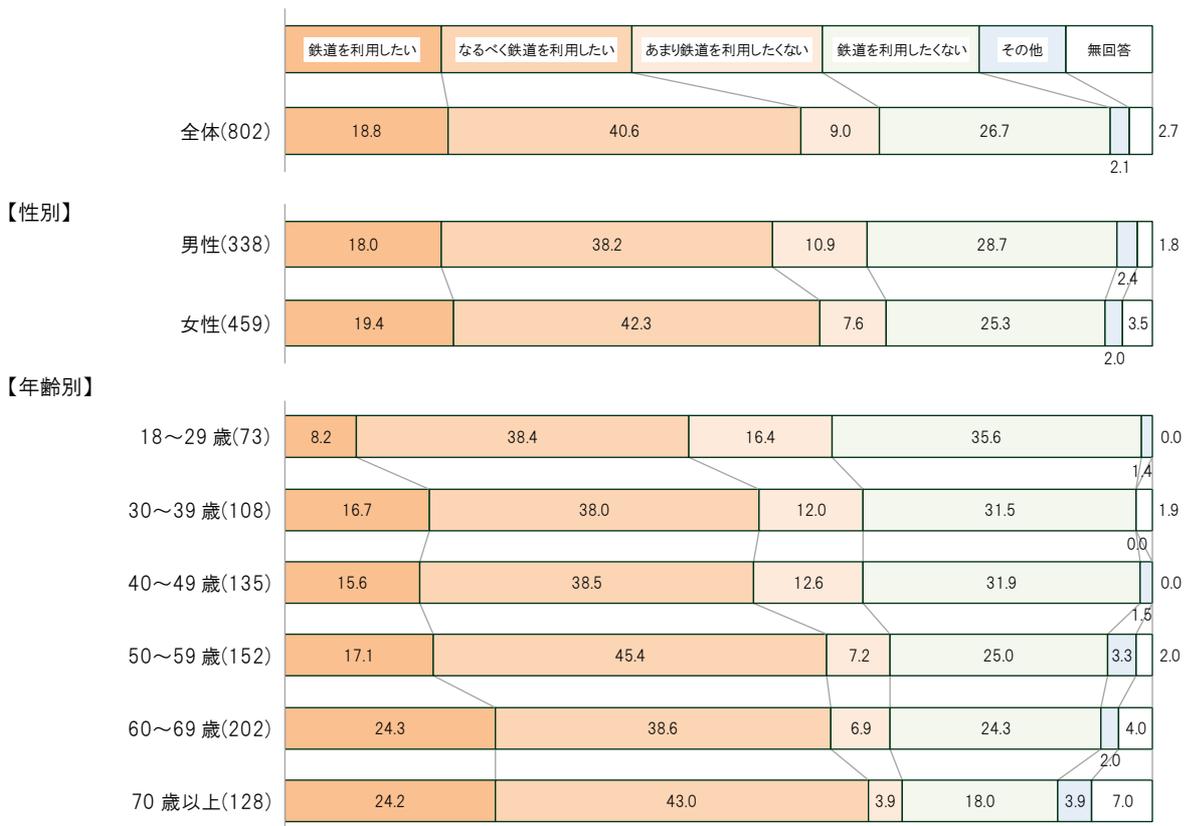
(問4で「住んでいない」と答えた方にお聞きします)

問4-3 あなたがもし、鉄道の利用しやすい場所(駅等から半径500メートル、あるいは徒歩5分~10分ぐらいの範囲内)に移り住んだ場合、通勤・通学や買い物、通院など日常生活での鉄道の利用についてどのように考えますか。(1つ)

約6割が「日常生活で鉄道を利用したい」と回答

「利用したい」(「鉄道を利用したい」(18.8%)及び「なるべく鉄道を利用したい」(40.6%)の合計)は59.4%、「利用したくない」(「あまり鉄道を利用したくない」(9.0%)及び「鉄道を利用したくない」(26.7%)の合計)は35.7%と、「利用したい」が「利用したくない」を23.7ポイント上回っている。

性別では、「利用したい」に大きな差は見られないが、「利用したくない」は女性(32.9%)が男性(39.6%)より6.7ポイント低い。年齢別に見ると、「利用したい」は70歳以上(67.2%)が最も高く、年齢の高い世代ほど、その割合が高い。

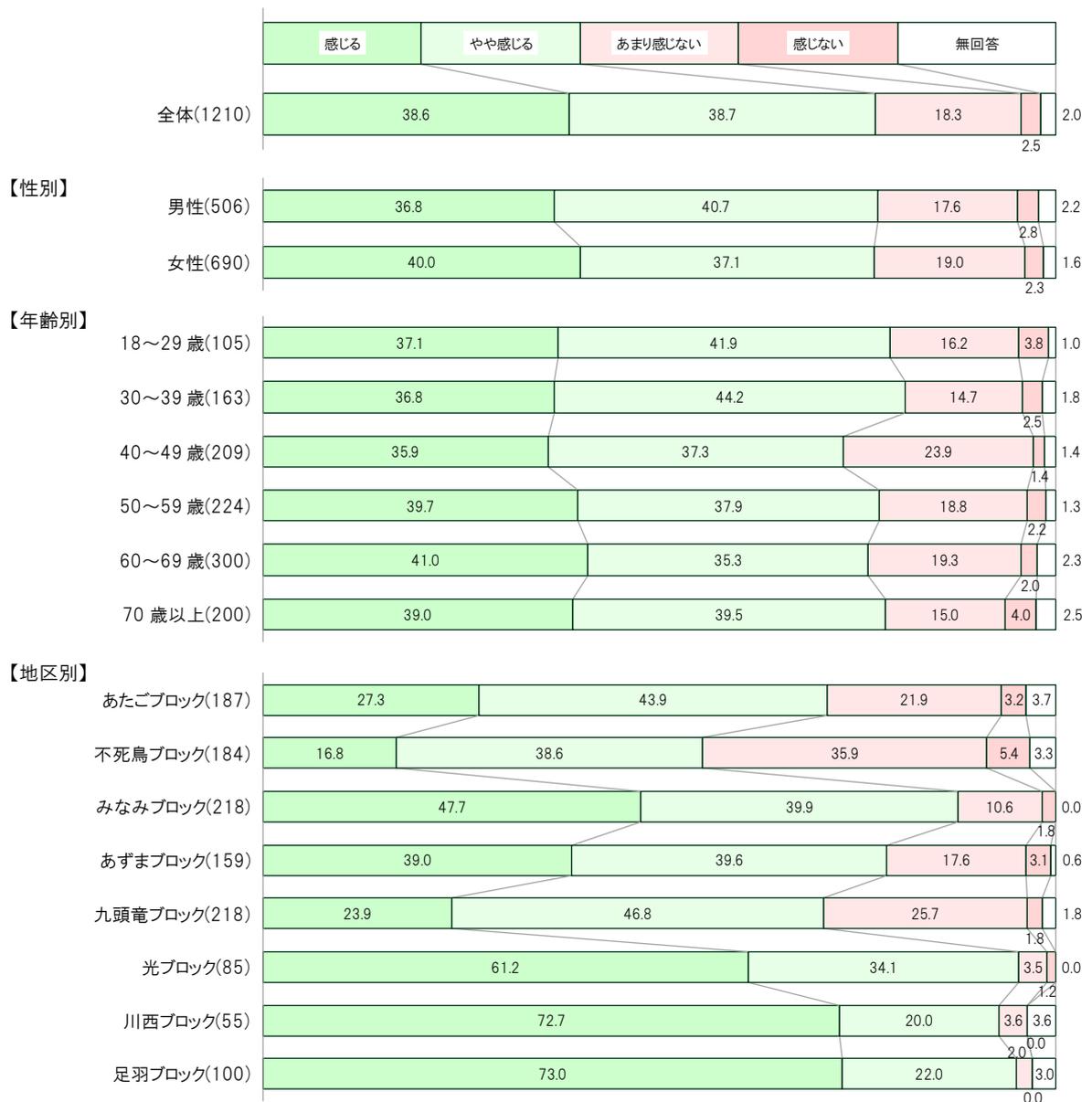


問5 あなたは、お住まいの地区の緑や自然について、豊かだと感じますか。(1つ)

全体の7割以上が「そう感じる」と回答

「そう感じる」(「感じる」(38.6%) 及び「やや感じる」(38.7%) の合計) は77.3%、「そうは感じない」(「あまり感じない」(18.3%) 及び「感じない」(2.5%) の合計) は20.8%と、「そう感じる」が「そうは感じない」を56.5ポイント上回っている。

性別、年齢別では、「そう感じる」、「そうは感じない」共に差は見られない。地区別では、「そう感じる」は、光ブロック(95.3%)、足羽ブロック(95.0%)、川西ブロック(92.7%)が高くなっている。



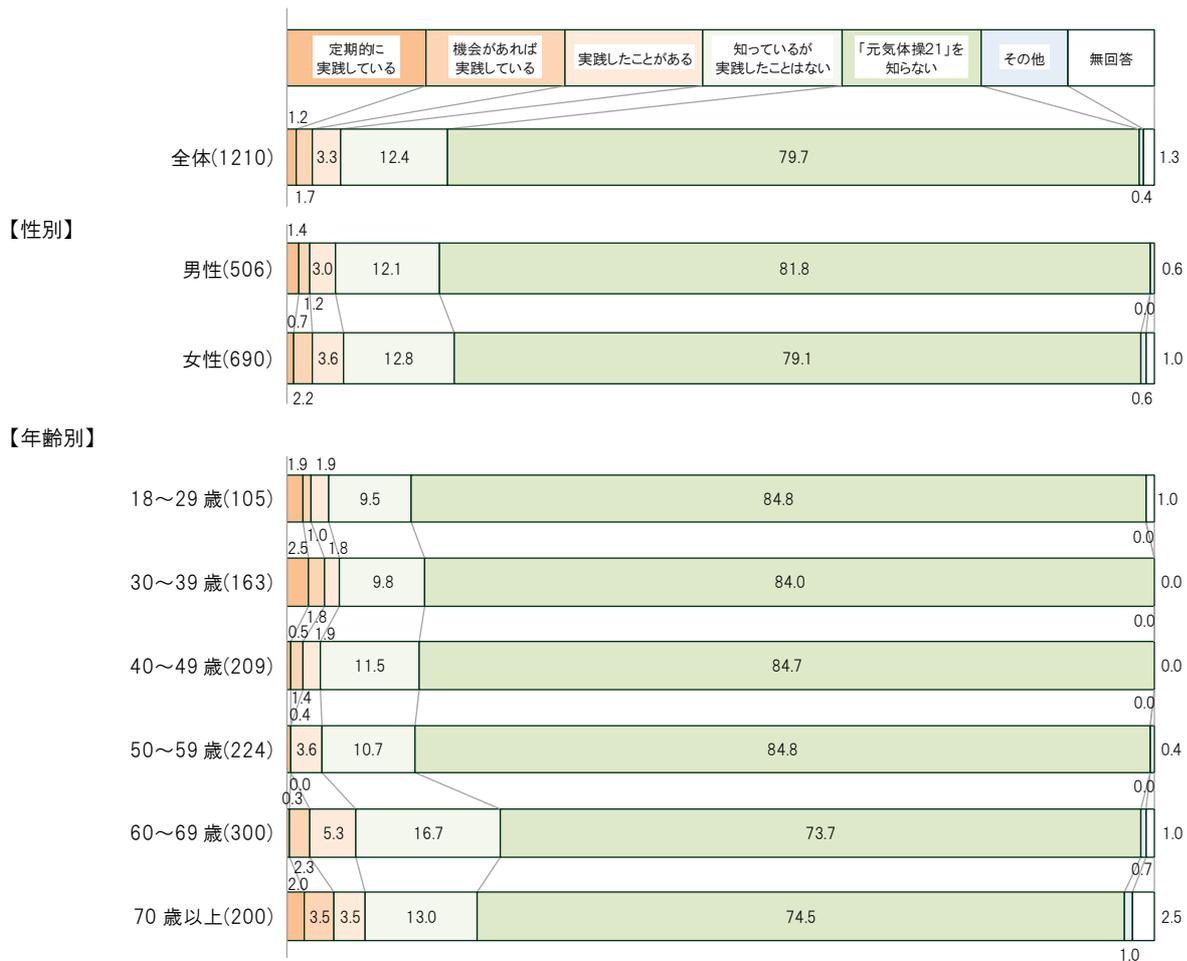
## ◆健康づくりについて

問1 「元気体操21」は、健康づくりや生活習慣病予防を目的とした福井市の体操ですが、あなたは、「元気体操21」を実践していますか。(1つ)

### 全体の約8割が「元気体操21」を知らない

「元気体操21」を知っている(「定期的実践している」(1.2%)、「機会があれば実践している」(1.7%)、「実践したことがある」(3.3%)及び「知っているが実践したことはない」(12.4%)の合計)は18.6%、「元気体操21」を知らないは79.7%と、「元気体操21」を知らないが「元気体操21」を知っているを61.1ポイント上回っている。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると「元気体操21」を知っているは、年齢の高い世代で、その割合が高くなっている。

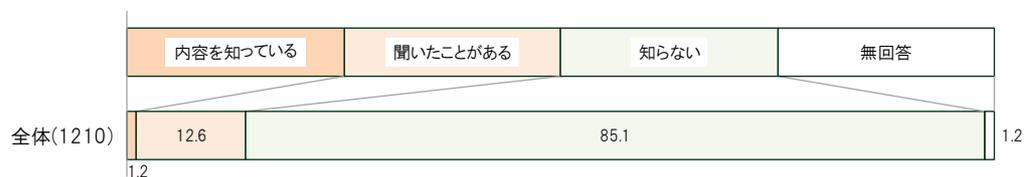


問2 「ずっと健康101（いちまるいち）宣言！～プラス「10分の運動」とプラス「1皿の野菜」で健康寿命を伸ばそう～」は福井市が推奨している健康づくりの具体的な行動目標を示したものです。あなたは、「ずっと健康101宣言」を知っていますか。（1つ）

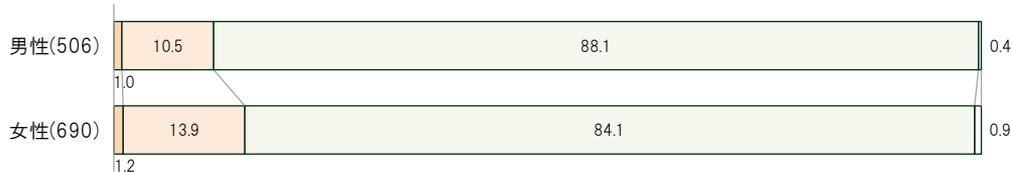
全体の8割以上が「ずっと健康101宣言」を「知らない」

「知っている」（「内容を知っている」（1.2%）及び「聞いたことがある」（12.6%）の合計）は13.8%、「知らない」は85.1%と、「知らない」が「知っている」を71.3ポイント上回っている。

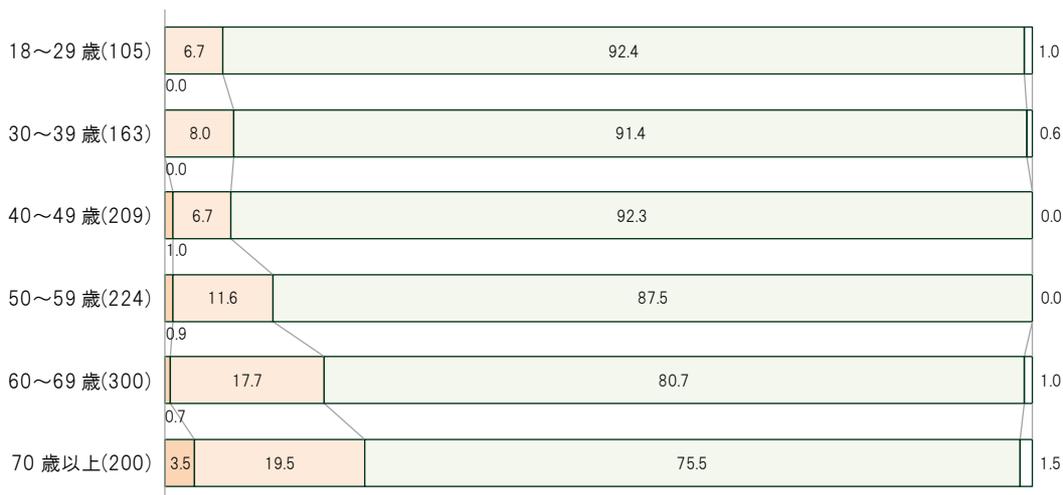
性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「知っている」は70歳以上が23.0%、60～69歳が18.4%と、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなっている。



【性別】



【年齢別】

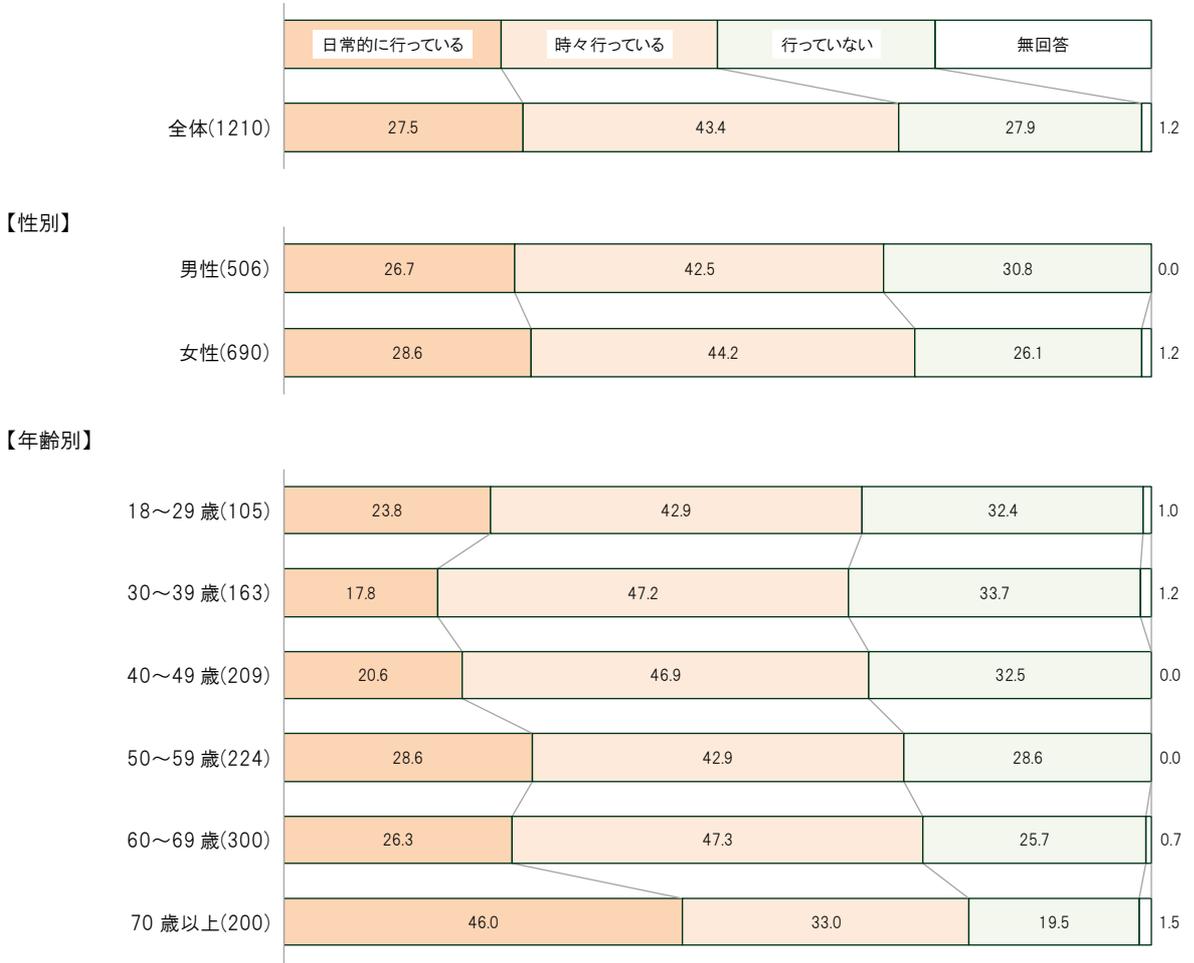


問3 あなたは、「少しの距離であれば自転車や徒歩で移動する」、「少しの時間を見つけてストレッチをする」など、日常生活の中で運動を行っていますか。(1つ)

全体の7割が日常生活の中で運動を「行っている」と回答

「行っている」(「日常的に行っている」(27.5%) 及び「時々行っている」(43.4%) の合計) は70.9%、「行っていない」は27.9%と、「行っている」が「行っていない」を43.0ポイント上回っている。

性別では、差は見られない。年齢別に見ると、「行っている」は、70歳以上(79.0%)が最も高く、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなっている。

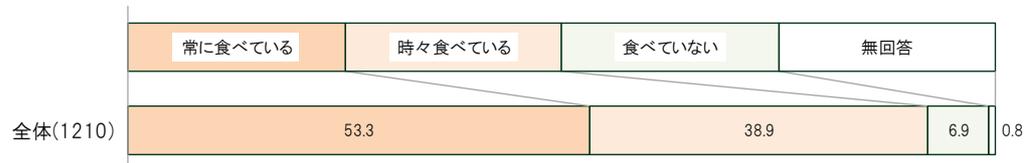


問4 あなたは、日常の食事の中で、「味噌汁を野菜たっぷりにする」、「外食でも野菜の多いメニューを選ぶ」など、積極的に野菜を食べていますか。(1つ)

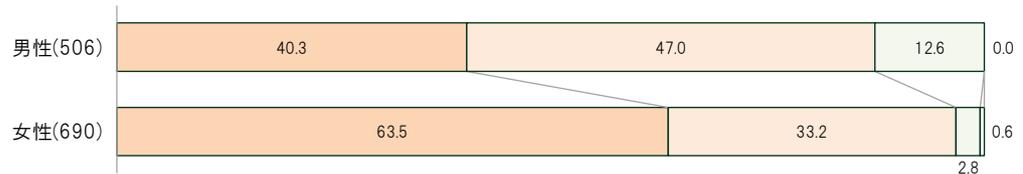
全体の9割が日常の食事の中で積極的に野菜を「食べている」と回答

「食べている」(「常に食べている」(53.3%)及び「時々食べている」(38.9%)の合計)は92.2%、「食べていない」は6.9%と、「食べている」が「食べていない」を85.3ポイント上回っている。

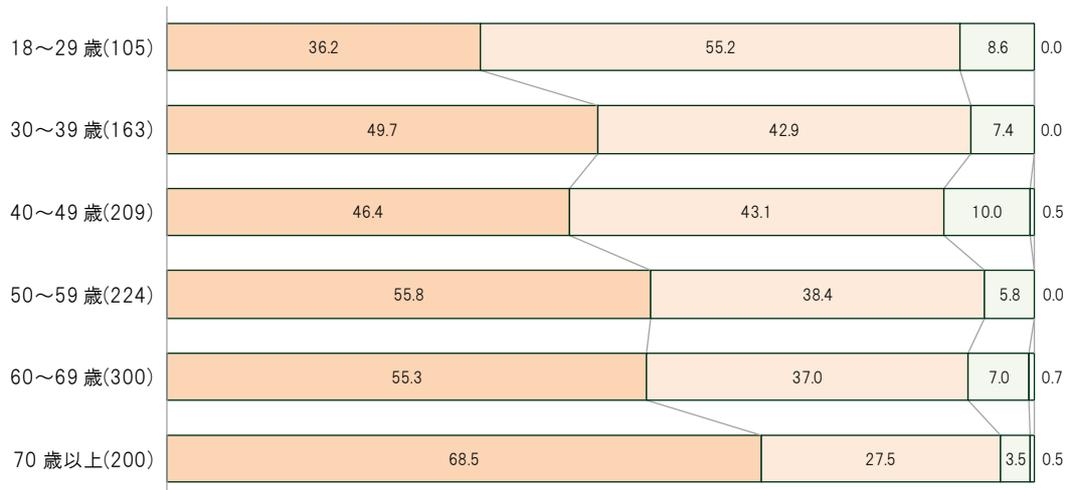
性別では、「食べている」は、女性(96.7%)が男性(87.3%)より9.4ポイント高い。特に、女性の63.5%が“常に食べている”と回答している。年齢別に見ると、「食べている」には差が見られないが、“常に食べている”と回答した割合は、70歳以上(68.5%)が最も高く、他の年代より12.7~32.3ポイント高くなっている。



【性別】



【年齢別】

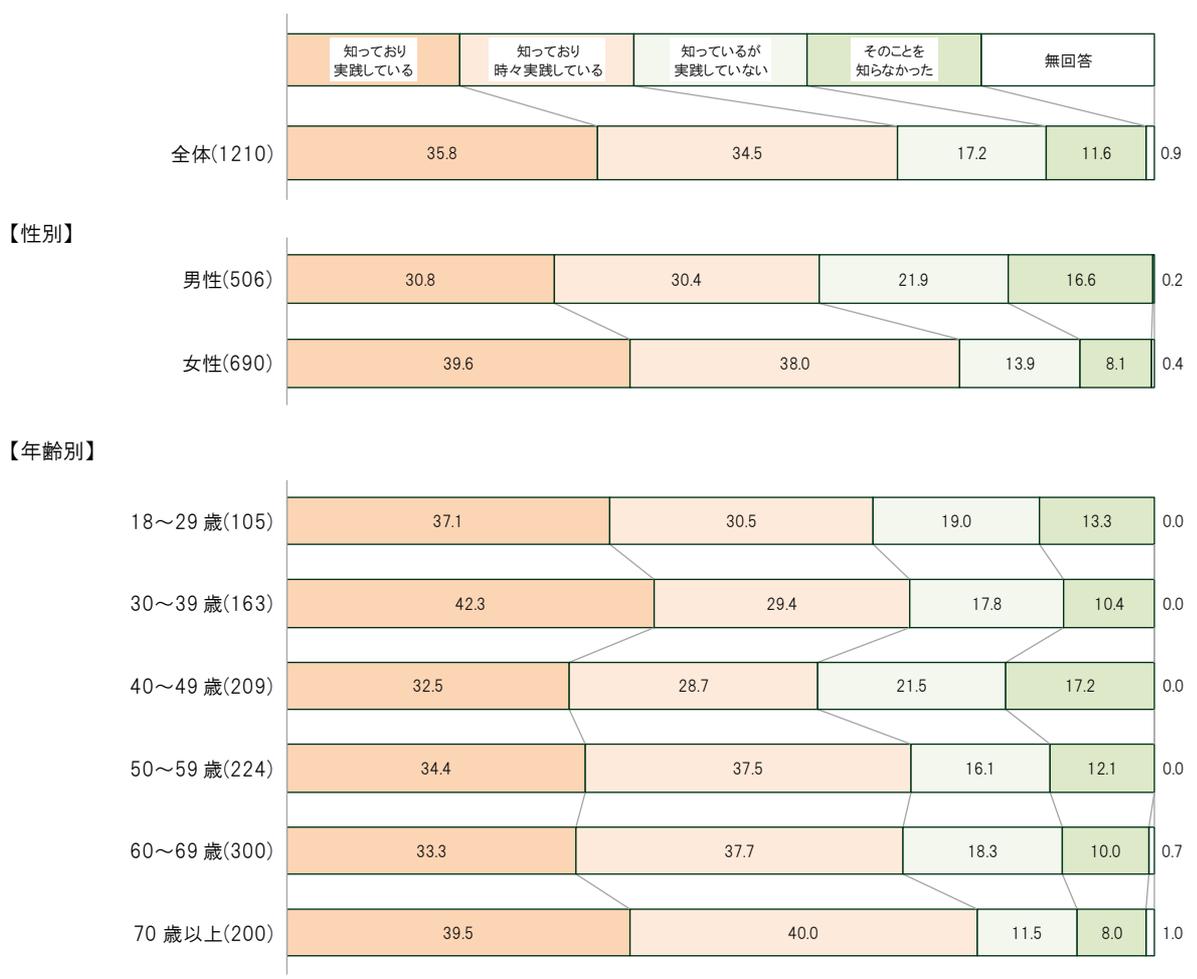


問5 食事のときに、まず野菜から食べると、血糖値の急激な上昇を抑えるなど生活習慣病を予防する効果が期待されますが、あなたはこのことを知っていますか。また、実践していますか。(1つ)

全体の7割が「実践している」と回答

「実践している」(「知っており実践している」(35.8%) 及び「知っており時々実践している」(34.5%)) の合計は全体の70.3%となっている。

性別では、「実践している」は女性(77.6%)が男性(61.2%)より16.4ポイント高い。年齢別に見ると、「実践している」は70歳以上(79.5%)が最も高く、他の年代より7.6~18.3ポイント高くなっている。



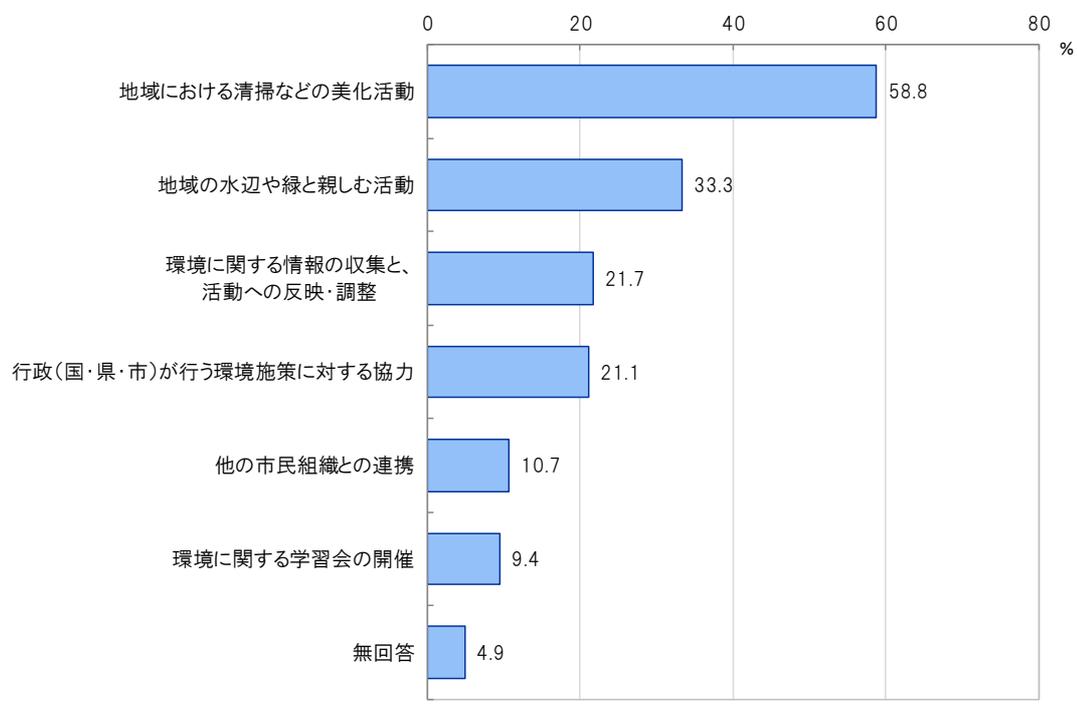
## ◆福井市の環境について

問1 あなたは、町内会、NPOなど市民組織が行う環境保全活動として、どのような取組が重要だと思いますか。(2つまで)

### 全体の約6割が「地域における清掃などの美化活動」と回答

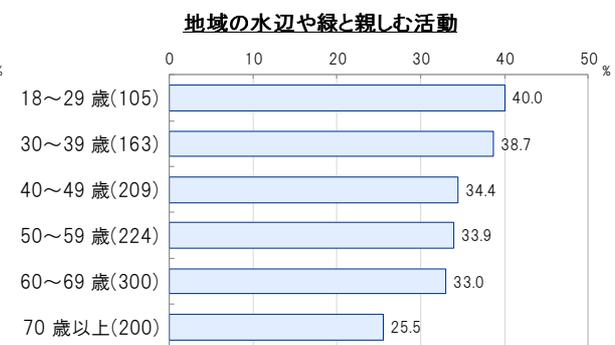
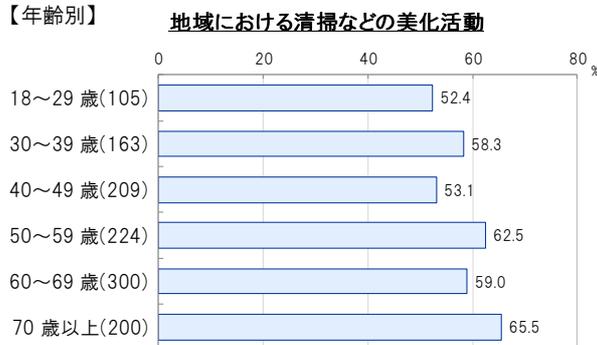
「地域における清掃などの美化活動」が58.8%と最も高く、次いで「地域の水辺や緑と親しむ活動」が33.3%と高くなっている。

年齢別にみると、「地域における清掃などの美化活動」は70歳以上(65.5%)が最も高く、年齢の高い世代ほど、その割合が高くなる傾向が見られ、「地域の水辺や緑と親しむ活動」は、18～29歳が最も高く、若い世代ほど、その割合が高くなる傾向が見られる。



MA(N=1210)

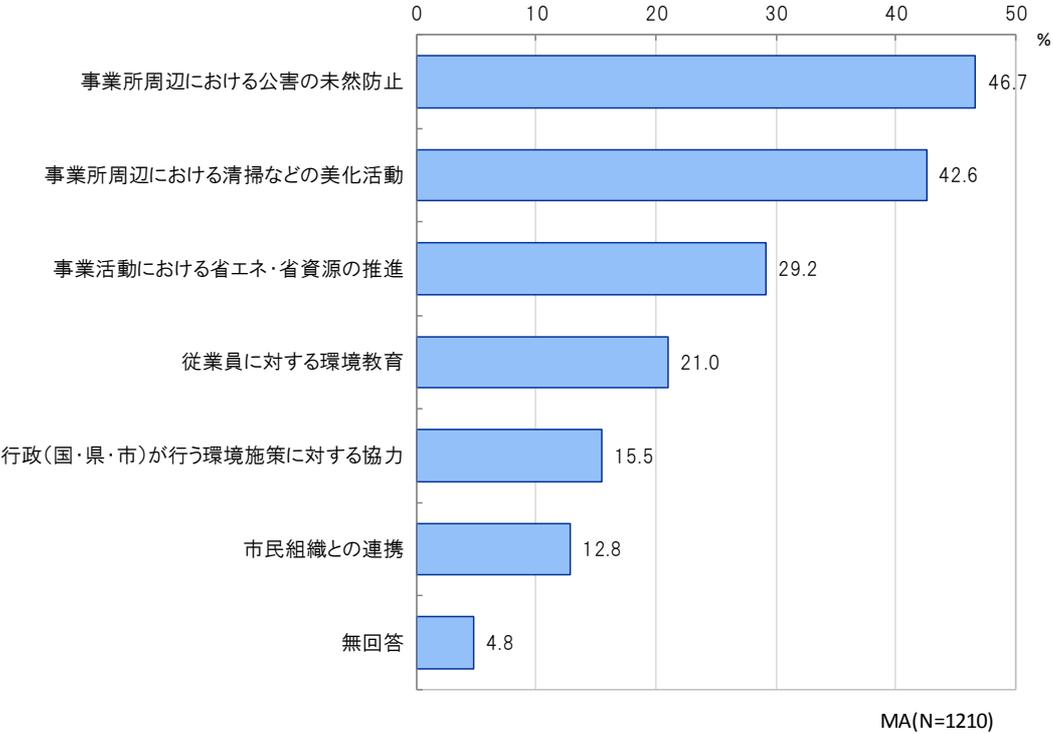
【年齢別】



問2 あなたは、事業者が行う環境保全活動として、どのような取組が重要だと思いますか。  
(2つまで)

全体の4割以上が「事業所周辺における公害の未然防止」と回答

「事業所周辺における公害の未然防止」が46.7%と最も高く、次いで「事業所周辺における清掃などの美化活動」(42.6%)、「事業活動における省エネ・省資源の推進」(29.2%)が高くなっている。



## IV 自由意見

福井市に対する意見・提案について、自由意見は次のとおりである。

市民意識調査に回答のあった 1,210 人のうち、388 人（意見数は 471）が自由意見に回答。寄せられた意見・提案を第六次福井市総合計画の政策に基づいて 17 項目に分類し整理した。

### ●政策別意見数

政策	意見数
1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	137
2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	37
3 生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	2
4 環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる	1
5 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	3
6 とともに責任を担う協働のまちをつくる	8
7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる	7
8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	18
9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる	30
10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	9
11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	15
12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	31
13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	3
14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	8
15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる	7
16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	5
17 その他	150
合計	471

#### ※自由意見の取扱い

市民意識調査は無記名で、回答者を特定し個別に回答することができないため、寄せられた自由意見の原文については、今後の行政の取組の参考とするよう担当所属に送付している。

## 主な意見・提案内容（主なもの）

1 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる
中心市街地にハピリンが完成し、現在は大変賑わっていますが、市民が一丸となれるような施策を展開し、この勢いを続けないと、たとえ新幹線が開通しても、魅力ある住み続けたいまちにはならないと思う。(50代の方)
福井駅前はとても便利で良くなりました。すまいるバスを、もう少し広くまわれるようにしてほしいです。(70歳以上 女性)
昔は、駅前へ行くのはうれしかったものですが、2、3年前まではあまりにもさびれていて、がっかりしていました。近頃は色々考えてくださっているようで、期待しております。(70歳以上 女性)
郊外に住んでいると交通機関が少ないので、年をとって車の運転ができなくなったときに心配です。(60代 女性)
中心市街地の活性化については、駅周辺の駐車場の無料化、大学キャンパスの移転等、もっと思いきった施策が必要と考えます。コンパクトシティ化と合わせて、中心市街地に人が自然と集まる環境づくりが重要だと思います。(30代 男性)
駅前にハピリンができましたが、飲食店や多目的に使える場所があったりするくらいで、若い人達が楽しめる場所が少ないように思います。もうちょっと遊び心があるといいです。(30代 女性)
駅周辺に魅力が全くない。若い人たちが集まるような施設が必要。無料で親子が遊べる環境があるとよい。(40代 女性)
県外の県庁所在地に比べて、鉄道、バスなどの交通が不便。運賃も高く、利用しづらい。駅前にできた新しい商業施設は、残念ながら全国的に人気のお店が入っておらず、一度は見に行っても二度は行かない。一度、まちづくりの専門家に相談したらいかがでしょうか。(40代 女性)
ハピリンに、子どもの屋内での遊び場ができるのかと思っていたので、残念でした。夏の暑いときに、屋内で遊べる広い場所が駅前にあったら良いと思います。(30代 女性)
駅前が生まれ変わろうとしています。車では行きにくく、交通弱者が駅前で買い物しようとしても生活用品は全て揃いません。何でも揃うショッピングセンターが必要です。ハピリンは、観光客にとってはいいですが、地元の人には何の魅力もないような気がします。(50代 女性)
福井駅を中心としてまちが発展していくことは、非常に素晴らしいことだと思います。空き家対策や文化施設の集中化など早急に進める必要があります。新幹線が通っても、素通りされない都市づくりを望みます。(50代 男性)

<p>ハピリンができたので行ってみたいが、駐車場が有料だと、どうしても足が遠のく。駐車場の無料化は難しいのでしょうか。(50代 女性)</p>
<p>「中心市街地の発展が重要」とうたうより、どうしたら人が街に集まるのかを考えてほしい。人が集まるには、お金は落ちるし、街は発展する。福井市は、官と民との思いがばらばらだと思う。(30代 男性)</p>
<p>中心市街地の環境が良くなり、人通りも多くなったように思いますが、交通機関が便利になったとは思いません。福井鉄道が西武前で停まらなくなり、不便になりました。駅前で買い物をすることがほとんどなくなりました。(70歳以上 女性)</p>
<p>近くに駅等が無く、バスも1日に数本、1、2時間に1本では公共交通を利用したくても利用できませんし、運賃が高い。市街地では、すまいるバスが利用できますが、郊外では自家用車に頼らざるを得ません。(50代 女性)</p>
<p>すまいるバスを利用して駅前に行きやすくなり、活気が出てきましたが、JRを利用するため、早朝から運転してくれたら便利かな、と思います。(60代 女性)</p>
<p>大きなライブ会場など、県外の人が大勢集まるような場所をつくって、その近くにショッピングモールを造るといいと思う。駅は、素晴らしくよくなったと思うが、ハピリンはプラネタリウム以外あまりいいと思わない。もっと若者が楽しめるようなまちづくりをしてほしいと心から思う。(40代 男性)</p>
<p>せっかくオープンしたハピリンだが、ほとんど食べ物系の店舗で埋め尽くされているのが残念に思われる。衣類や雑貨のお店もなければ早々に飽きられ、客足も遠のいてしまうのではないかと危惧している。(40代 女性)</p>

## 2 暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる

<p>交通量の多い道路や主要な通学路であっても、融雪設備がなかったり、街灯が少なく暗かったりと、場所によって格差が感じられます。特に子ども達が危険なのは困るので、市内の道路であれば公平に整備してほしいと思います。(50代 女性)</p>
<p>足羽山やグリーンセンターのような、緑豊かな憩いの場所がもう少しあるといいと思います。(60代 男性)</p>
<p>私は、自転車で通勤することがあるが、歩道はガタガタだし、車道は危険です。ぜひ、自転車の通行帯を設けてほしい。通行帯を設けることにより、車の運転者も常に自転車を意識して運転するようになるのでは。(60代 男性)</p>
<p>歩道の街灯が少ないように思います。普段は自家用車利用のため、気づかなかったのですが、夜、歩いてみると、暗くて不安な場所がいくつかありました。(60代 男性)</p>
<p>道路の除雪をもっと早く対応してほしい。歩道も歩けない状態だし、毎年冬になると、なんとかしてほしいと思います。(50代 女性)</p>
<p>車中心の社会であるため、子供が安心して自転車に乗れるような取組を期待します。(40代 女性)</p>

中央公園は、緑や草花などが豊かな公園にしてほしい。噴水もあって、素敵なくつろげる公園にしてほしいです。花や水のある所には、人が集まってくると思います。(50代 女性)

福井の道路について、標識が少ないなど、とても不親切だと県外の人から言われました。(50代 女性)

## 6 ともに責任を担う協働のまちをつくる

福井は住みやすく、地域の活動も活発だと思います。子育てをしているときは、地域の活動に参加する回数も多かったのですが、今は参加する機会も少なくなっていました。

(50代 女性)

子どものころから社会との関わりを持ち、交流を通じ人々との和を築くことが大事であると思います。全てにおいて、人が基本の行政に取り組んでいただきたい。(60代 男性)

社会福祉協議会、防災連絡協議会、体育振興会など、役職が沢山あり、小さい自治会では兼務が多すぎる。特に防災では、高齢者が高齢者を救出する係を担うなど、現実ではできるはずもない役職に、充て職で名前ばかりが列挙されている。市から、いろんな組織を作れと言われるが、地域全体の年齢バランス等を考慮した上で、区割りをしていただきたい。充て職ばかりでは、実際には何も機能を果たさないと思う。(50代 男性)

自治会に入会されていない人は、公園の掃除には出て来ないのに町内のゴミ置き場にゴミを出されます。自治会に入会して、まじめに生活している人が、損をしている感じです。自治会に入会することを市からも啓発していただきたいです。(50代 女性)

## 7 誰もが尊重される住みよいまちをつくる

女性が、自分の意見をはっきり言えるまちづくりをしていきたいと思います。(60代 女性)

もっと、人権問題について市民が意識を高めていけるよう、倫理的なことを学ぶためにも、他県、外国の人たちとの交流、コミュニケーションの場が多くなれば良いと思います。(30代 女性)

子どもは、社会の宝物です。子どもの人権を第一に考えた家庭、社会づくり、教育を一番に希望します。(60代 女性)

## 8 環境にやさしい持続可能なまちをつくる

道路等に落ちているゴミ、ペットボトル等がとても気になります。市民全員がもっと足元の美化に注意するべきでは。大人から子供まで全体で啓発、実践するようになったら良いと思います。(60代 女性)

まちなかを通ったりすると、あちらこちらでゴミが目につき、草など生えっぱなしで、もう少しきれいだと思える場所がたくさんあります。せっかく自分たちが住む福井が汚いのではもったいないと思うので、少しでも改善できるといいですね。(30代 女性)

<p>道路や分離帯等の草、ゴミなどが気になります。住民をはじめ、もっときれいなまちづくりをしなくては、県外からのお客様に恥ずかしいですね。(60代 女性)</p>
<p>ごみの収集日が祝日の時には、一週間に一度の収集になり、とても困っています。 (60代 女性)</p>

## 9 すべての市民が健康で生きがいをもち長生きできるまちをつくる

<p>高齢者介護への不安を感じます。施設入所の待機が長すぎなのは。入所後にかかる費用も年金でまかなえるのか、など、心配ごとが多いです。(60代 女性)</p>
<p>独身のときは何も思わなかったが、子どもを産み、環境が変わってからは、子どもを遊ばせる公園や、サポートしてくれる支援センターもたくさんあり、子育てで悩んでいてもそういう場で交流ができるため、本当に子育てしやすい、暮らしやすいところだと思いました。 (29歳以下 女性)</p>
<p>少子化といいながらも、福井はわりと子供が多いような気がします。親と同居している又は親と近い所に住む若い夫婦も多いからでしょうか。 最近では、病院に行っても高齢者が多く、健康で年をとりたいと思います。高齢者にやさしい社会になるといいなと思います。(50代 女性)</p>
<p>子ども、障がい者など、弱者をしっかり守っていける環境を整えてほしい。(40代 男性)</p>
<p>青年の婚活に力を入れた方が良くと思う。若者に結婚してもらうことが最重要！公民館に高齢者ばかりでなく若者を集めてください。(70歳以上 女性)</p>
<p>待機児童ゼロと言われていますが、年度途中での入園が難しい、一時預かりの受入先が見つからないなど、まだまだ保育の面で問題点が多いと思います。(29歳以下 女性)</p>
<p>高齢社会に対する対応については、しっかり施策を講じていると思う。ただ、今後により一層、そうした方向性に注力した行政に希望したい。(60代 男性)</p>
<p>多方面で満足できることがあります。子育てや子どもの貧困などに重点をおいてあげるといいのに、と思います。子は地域の宝ですから。(60代 女性)</p>

## 10 事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる

<p>自動車免許を返納するからには、その後のことを考えてほしいです。(70歳以上 女性)</p>
<p>防災訓練は、本当の災害時には機能しないレベルの内容。急いで改善する必要あり。 (60代 男性)</p>
<p>高齢者の交通マナーの取締りを強化していただきたいです。縦横無尽に道路を行き来する方々は、子ども達に説明が付きません。市民の意識向上の手立てはないのでしょうか？ (40代 女性)</p>
<p>災害時の自助と共助ができるように、意識改革を図ってほしい。(60代 男性)</p>

11 活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる
<p>妊娠・出産する女性の雇用を充実させてほしい。企業の誘致活動を積極的に実践してほしい。 (29歳以下 男性)</p>
<p>商業施設を建設するのも良いが、人口を増やすためには、仕事が増えることが重要と思う。 企業誘致をもっと進めて、仕事の絶対量を増加させることが、最優先で行っていくことだと思う。 (40代 男性)</p>
<p>若い人が福井へ戻って仕事に就きたいと思うような魅力あるまちに。優秀な人材が県外の大学へ行ってしまっただけ卒業後も帰ってこないのではとても残念。 (40代 女性)</p>
<p>高校、大学を出てから活躍できる場を県や市が考えて、若者が県外へ流出しないようにしてほしい。 魅力的な企業を育てるために援助し、発信してほしい。 (60代 女性)</p>

12 福井の魅力を発信する観光のまちをつくる
<p>全国的には福井市の知名度は高くないと思います。しかし、住んでみると、とても住みやすい市だと思っています。 北陸新幹線の開通までに、もっと福井市のよい所をアピールして、福井市の知名度アップをがんばってください。 (30代 女性)</p>
<p>城下町を活かして、お堀周辺の整備ができるとよくなるのでは、と思いました。 福井駅周辺で観光客が時間を費やせる場所がほしいです。 (70歳以上 女性)</p>
<p>歴史も食も水も酒も自然も、集客要素は多いのに知名度が低いのがもったいない。 北陸新幹線の福井延伸に頼らず観光客を獲りに行くべきだし、獲れる魅力はある。 経済活性化のために、NPOとの協働や産学連携等によってアイデアや施策を収集、運営してみてもどうか。 (40代 男性)</p>
<p>福井市の自慢は何だろうと考えた際に、答えられるものがなかった。 福井市も何か一つ大きな物を取り上げてほしい。 (29歳以下 男性)</p>
<p>子ども連れや中高年向けには観光する所があるかもしれないが、20代、30代に向けては観光する所がない状況だと思う。 観光がないのであれば、作れば良いと思う。 (30代 男性)</p>
<p>道路標識や観光案内等が見つけにくく、観光しようと思っても、道があっているのか心配になる。 観光資源をより魅力的にし、また、モデルコースの紹介をしたら良いと思う。 (40代 女性)</p>
<p>北庄城跡は小規模すぎてもったいないと思います。 ハピリンを建てるくらいなら、もっと県外観光客を誘致できる観光資源にお金を使うべき。 (29歳以下 女性)</p>
<p>福井を訪れる人々を心から歓迎し、おもてなしの気持ちを感じていただくために、官民一体となった取組が重要だと思います。 (70歳以上 男性)</p>

### 13 魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる

食育が広まるようにセミナーなどをしていった方が良いと思います。このまま添加物だらけのお菓子や食品を子どもたちに与え続けていたら、小児肥満、小児糖尿などたくさんの病気で、子どもたちだけでなく家族もつらい思いをします。(40代 女性)

集落営農を取り入れている地区では、田んぼを大きくし、大型機で作業を行っていますが、苗に水のかかかっていない部分があったり、刈り入れ時には雑草がそのまま刈られていたり。「米どころ福井」がこんな事でいいのでしょうか。(40代 女性)

福井は、海がある県でありながら、魚を主とした大きい市場がない。バスが何台も出入りできる大きな市場がほしい。(60代 女性)

### 14 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる

先生がストレス過多になれば、よい教育もできないし、子どもたちのストレスにも繋がる。先生方も子どもたちも本来の能力が発揮できる、より良い教育環境にしていくよう努めなければならぬと思う。(40代 女性)

子どもの人数が少なく、社会、集団としての育ちなどが心配。(60代 女性)

人数の少ない田舎の学校にも、公平に児童クラブの設置をお願いしたいです。(50代 女性)

### 15 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる

公民館利用活動について、各公民館の活動内容が分からないので、活動内容をPRしてはどうですか。(70歳以上 女性)

公園はボールの使用禁止、スケートボード禁止となっていることが多い。禁止するのではなく、子どもが自由に遊べるスペースが必要。(30代 男性)

私は仕事もっています。運動がしたいと思いますが、近くに、夜、簡単に運動する所がありません。公民館のように気軽に友達をつくり運動がしたいのですが、もっと町の中心で、簡単に、行きやすく、辞めやすい、楽な運動イベントを開催していただくとありがたいです。

(60代 女性)

ハイキング、散策コースがたくさんあれば、健康な高齢者が増えて良いと思います。田舎らしいまちで良いと思う。(50代 男性)

### 16 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる

福井城跡に公共建築物が建っていることに驚きです。すばらしい城跡の有効利用を望みます。(60代 女性)

市主催の文化行事に妻がよく参加していますが、参加費が高いと思います。もう少し安く参加できる行事が多くあれば、と思います。(60代 男性)

福井の歴史を活かしたまちづくりを。(50代 女性)

17 その他	
	各世代が楽しむことのできるような施設や催しなどの充実に力をいれてほしいです。また、同じ福井市内でも、市街地と山村部の間には交通や商業の面で隔たりがあると感じます。山村部の活性化についての取組も行ってほしいと思います。(29歳以下 女性)
	福井へ嫁いで今年で10年になります。車がないと移動手段はほぼなく、冬は積雪で思うように行動できないもどかしさがありました。でも、住めば都で、食べ物は美味しいし、子どもが生まれてからは優しいまちだと実感しています。ただ、若い人たちの集まる遊び場や買い物できる場所はほとんどありません。(30代 女性)
	関西から移り住んで34年、いろいろな意味でこんな住みよい所は他にありません(雪をのぞいて)。(70歳以上 女性)
	福井市にも、様々な問題が蓄積していることと思いますが、素人目には地方都市として非常にうまく機能していると思います。ぜひ、この流れが続きますようご尽力ください。 (40代 男性)
	ネットで気軽に意見が書き込める仕組みを作り、広報ふくいやテレビ等で呼びかけ、自由意見を聞けるようにするといいと思う。新幹線のことも、国体のことも、ハピリンのことも、もっと多くの意見を吸い上げてほしい。(40代 女性)
	魅力のある福井にするためには、市と県が仲良く話し合っ計画するべきだと思います。これは市、これは県で連携がとれないのではおかしいと思います。(60代 女性)
	福井市の活性化には、地区コミュニティの活性化が欠かせないと考えていますが、地区事業に市職員の参加がほとんどありません。大変矛盾を感じています。市職員の方、まずは自分の地区のまつり、奉仕作業等に少し参加されてはいかがでしょう？自分の地区を知らずに福井市民活動の指導はできないのではないのでしょうか？(50代 女性)
	市長、職員、議員、皆さんお一人お一人が地域の行事に参加する、また、それぞれの趣味を持ち、市民の方との交流を目指していただきたい。(70歳以上 女性)
	私は、市のことはよく分かりません。度々教えてもらいに行きますが、親切な方と、面倒くさいと言わんばかりの職員の方がいます。年をとると、なによりも心優しい物言いの方に感謝します。もうすこし優しい言葉づかいでお願いしたいです。(70歳以上 女性)
	この調査項目にあったことでも、知らないことが多々あった。せっかく取組をしていますが、市民が知らないことがもっとあるように思うので、周知する方法はないだろうか？知れば、関心も出てくると思う。(40代 男性)

## V 調査票



## 調査にあたってのお願い

- ◆ ご回答は、あて名のご本人様にお願いします。(代筆でもかまいません。)
- ◆ ご回答は、あてはまる番号に直接○をつけてください。  
なお、質問によって、回答数が「(2つまで)」「(いくつでも)」などと指定してありますのでご注意ください。
- ◆ ご回答が『その他 ( )』にあてはまる場合は  
( )の中に、なるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ◆ ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。(切手は不要です。)



<お問合せ>

福井市市民生活部 市民サービス推進課

TEL 0776-20-5303

FAX 0776-20-5753

E-mail shiservice@city.fukui.lg.jp



地区コード

以下の設問について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

## ◆観光客受け入れについて

問1 観光客へのおもてなしや声かけについて、あなたの日頃の行動または心がけていることはどれですか。(1つ)

1. 観光客に福井を好きになって欲しいので、自分からあいさつや声かけをする
2. 観光客が困っているように見えるときは、自分から声かけをする
3. 自分からは声をかけないが、観光客から助けを求められれば親切にする
4. 観光客とあまり関わらないようにする

問2 あなたは、福井の良いところ(自慢できるところ、観光地や食の魅力など)を人に勧めたり、説明したりすることができますか。(1つ)

1. 実際に福井の良いところを積極的に発信している
2. 福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることがある程度できる
3. 福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることがうまくできない
4. 福井の良いところを挙げられない



(問1で4または5と答えた方にお聞きします)

問1-2 あなたが運動・スポーツを行わなかった理由は何ですか。(1つ)

1. 仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないため
2. 年をとったため
3. 体が弱いため
4. 場所や施設がないため
5. 仲間がないため
6. 指導者がいないため
7. お金がかかるため
8. 運動・スポーツが好きではないため
9. スポーツをする機会がなかったため
10. その他( )

(問1で4または5と答えた方にお聞きします)

問1-3 あなたは、今後どのような運動・スポーツをしたいですか。(5つまで)

1. 野球、ソフトボール
2. サッカー、フットサル
3. バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、インディアカ
4. テニス、ソフトテニス、バウンドテニス、エスキーテニス、バドミントン、卓球
5. ゴルフ、ターゲットバードゴルフ
6. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、マレットゴルフ
7. ボウリング
8. 陸上競技
9. 水泳
10. ボート、ヨット、カヌー(水上スポーツ)
11. スキー、スノーボード、スケート
12. アーチェリー、ライフル射撃
13. 弓道、柔道、剣道、空手道、相撲、合気道、銃剣道、なぎなた、少林寺拳法
14. 武術太極拳、フェンシング、ボクシング、レスリング
15. ウェイトリフティング
16. 体操(ラジオ体操、美容体操、エアロビクス、ヨガを含む)
17. ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、民踊を含む)
18. 綱引
19. 馬術
20. ウォーキング(散歩など)
21. ジョギング、ランニング、マラソン、オリエンテーリング
22. サイクリング、トライアスロン
23. なし
24. その他( )



## ◆広報紙「広報ふくい」について

問1 あなたは、「広報ふくい」のデザインや文字の読みやすさについてどのように思いますか。(1つ)

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1. 読みやすい | 2. おおむね読みやすい          |
| 3. 普通    | 4. 少し読みにくい            |
| 5. 読みにくい | 6. わからない、「広報ふくい」を読まない |

問2 あなたは、「広報ふくい」の特集記事や連載記事の内容についてどのように思いますか。(1つ)

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 1. 満足 | 2. ほぼ満足               |
| 3. 普通 | 4. やや不満               |
| 5. 不満 | 6. わからない、「広報ふくい」を読まない |

問3 「広報ふくい」内の、あなたが好んでよく見るページ・コーナーはどれですか。(2つまで)

1. 特集記事
2. 市民を紹介する連載記事
3. 図書館の本を紹介する連載記事
4. 市内の出来事を紹介する記事
5. 市からのお知らせ記事
6. 表紙・裏表紙
7. わからない、「広報ふくい」を読まない

問4 あなたが、「広報ふくい」で特集として詳しく取り上げてほしい分野はどれですか。(3つまで)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 防災          | 2. 健康、福祉       |
| 3. 子育て、教育      | 4. 中心市街地       |
| 5. 観光、文化       | 6. 産業、経済       |
| 7. 市民活動        | 8. 環境          |
| 9. 予算などの市政運営状況 | 10. 各方面で活躍する人々 |
| 11. その他 ( )    |                |

## ◆市のまちづくりについて

問1 「第六次福井市総合計画」の目標を達成するために福井市が取り組んでいる16の政策について、現在の満足度及び重要度をお聞きします。表中の〈政策のポイント〉を参考にいただき、政策全体としての満足度・重要度について、あなたのお考えにもっとも近い番号に○を付けてください。（それぞれ1つ）

No	政策	政策のポイント	満足度				重要度			
			満足	ほぼ満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
1	県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>賑わいのある中心市街地をつくる</li> <li>良好な景観を形成する</li> <li>快適で秩序ある市街地形成を推進する</li> <li>北陸新幹線の整備をすすめる</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
2	暮らしを支える社会基盤の整ったまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で快適な市道の整備・維持管理を行う</li> <li>安心と地域の潤いを創出する河川を整備・保全する</li> <li>市民の憩いの場としての公園を整備する</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
3	生活排水による水質汚濁負荷の少ないまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>污水处理施設の普及促進をはかる</li> <li>污水处理施設の整備・維持管理を効率的に行う</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
4	環境にやさしい都市ガスを安全に安定供給するまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市ガスの需要拡大をはかる</li> <li>都市ガスを安全・安定的に供給する</li> <li>都市ガス事業を健全に経営する</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
5	安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道水を安全・安定的に供給する</li> <li>簡易水道水を安全・安定的に供給する</li> <li>水道事業を健全に経営する</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
6	ともに責任を担う協働のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割と責任を担う協働のまちづくりをすすめる</li> <li>住民が主体となったまちづくりをすすめる</li> <li>地域コミュニティの活性化をはかる</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
7	誰もが尊重される住みよいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生の地域づくりをすすめる</li> <li>男女共同参画社会をつくる</li> <li>安全で安心な消費生活をおくることができるようにする</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
8	環境にやさしい持続可能なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然や都市環境を守り育て、将来に伝える</li> <li>地球規模の環境問題に対応し、持続可能な社会づくりをすすめる</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
9	すべての市民が健康で生きがいもち長生きできるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して子どもを産み育てられる環境をつくる</li> <li>お互いが支えあう地域づくりをすすめる</li> <li>充実した介護の体制づくりをすすめる</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4

No	政策	政策のポイント	満足度				重要度			
			満足	ほぼ満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
10	事故・災害などに強い安全・安心なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・消防体制を整備する</li> <li>・災害時の被害を軽減する</li> <li>・救命率の向上をはかる</li> <li>・火災等から人命と財産を守る</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
11	活力と魅力あふれる商工業のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の商工業を振興する</li> <li>・市民が働くことを応援する</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
12	福井の魅力を発信する観光のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井らしさで観光客を増やす</li> <li>・市民が福井の魅力に触れる機会を増やす</li> <li>・様々なツールによる情報発信とイメージアップをはかる</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
13	魅力ある豊かな農林水産業のまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業を振興する</li> <li>・農山漁村の生活環境を整備する</li> <li>・地元農林水産物の利活用を推進する</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
14	健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの場としての学校環境を整備する</li> <li>・学校教育を充実する</li> <li>・子どもの健康増進をはかる</li> <li>・子どもの健全な育成をはかる</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
15	市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生涯学習を支援する</li> <li>・市民の生涯スポーツを支援する</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4
16	歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の誇りとなる文化を振興する</li> <li>・文化芸術活動の担い手の育成を支援する</li> <li>・文化芸術活動の交流と発信を促進する</li> <li>・歴史や文化遺産を保存継承する</li> </ul>	1	2	3	4	1	2	3	4

問2 あなたは、福井市は住みやすいまちだと思いますか。(1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい         | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい         |

問3 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 住み続けたい        | 2. 事情が許せば住み続けたい    |
| 3. 市外(大都市圏)に住みたい | 4. 市外(大都市圏以外)に住みたい |



(問4で1と答えた方にお聞きします)

問4-2 あなたは、通勤・通学や買い物、通院など日常生活において、鉄道をどのくらい利用していますか。(1つ)

1. ほとんど毎日、鉄道を利用している
2. 週に1~2回、鉄道を利用している
3. 月に1~2回、鉄道を利用している
4. 1年に1~2回程度、鉄道を利用している
5. 鉄道を利用していない(自家用車を利用している)
6. その他( )

(問4で2と答えた方にお聞きします)

問4-3 あなたがもし、鉄道の利用しやすい場所(駅等から半径500メートル、あるいは徒歩5分~10分ぐらいの範囲内)に移り住んだ場合、通勤・通学や買い物、通院など日常生活での鉄道の利用についてどのように考えますか。(1つ)

1. 鉄道を利用したい
2. なるべく鉄道を利用したい
3. あまり鉄道を利用したくない
4. 鉄道を利用したくない(自家用車を利用したい)
5. その他( )

問5 あなたは、お住まいの地区の緑や自然について、豊かだと感じますか。(1つ)

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

## ◆健康づくりについて

問1 「元気体操21」は、健康づくりや生活習慣病予防を目的とした福井市の体操ですが、あなたは、「元気体操21」を実践していますか。(1つ)

1. 定期的実践している
2. 機会があれば実践している
3. 実践したことがある
4. 知っているが実践したことはない
5. 「元気体操21」を知らない
6. その他( )

問2 「ずっと健康101(いちまるいち)宣言!~プラス「10分の運動」とプラス「1皿の野菜」で健康寿命を伸ばそう~」は福井市が推奨している健康づくりの具体的な行動目標を示したものです。あなたは、「ずっと健康101宣言」を知っていますか。(1つ)

1. 内容を知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問3 あなたは、「少しの距離であれば自転車や徒歩で移動する」、「少しの時間を見つけてストレッチをする」など、日常生活の中で運動を行っていますか。(1つ)

1. 日常的に行っている
2. 時々行っている
3. 行っていない

問4 あなたは、日常の食事の中で、「味噌汁を野菜たっぷりにする」、「外食でも野菜の多いメニューを選ぶ」など、積極的に野菜を食べていますか。(1つ)

1. 常に食べている
2. 時々食べている
3. 食べていない

問5 食事のときに、まず野菜から食べると、血糖値の急激な上昇を抑えるなど生活習慣病を予防する効果が期待されますが、あなたはこのことを知っていますか。また、実践していますか。(1つ)

1. 知っており実践している
2. 知っており時々実践している
3. 知っているが実践していない
4. そのことを知らなかった

## ◆福井市の環境について

問1 あなたは、町内会、NPOなど市民組織が行う環境保全活動として、どのような取組が重要だと思いますか。(2つまで)

1. 地域の水辺や緑と親しむ活動
2. 地域における清掃などの美化活動
3. 環境に関する学習会の開催
4. 環境に関する情報の収集と、活動への反映・調整
5. 他の市民組織との連携
6. 行政（国・県・市）が行う環境施策に対する協力

問2 あなたは、事業者が行う環境保全活動として、どのような取組が重要だと思いますか。(2つまで)

1. 事業所周辺における公害の未然防止
2. 事業所周辺における清掃などの美化活動
3. 事業活動における省エネ・省資源の推進
4. 従業員に対する環境教育
5. 市民組織との連携
6. 行政（国・県・市）が行う環境施策に対する協力

## ◆あなた自身のことについて

F1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

1. 男性
2. 女性

F2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)

1. 18～29 歳
2. 30～39 歳
3. 40～49 歳
4. 50～59 歳
5. 60～69 歳
6. 70 歳以上

F3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)

1. 自営業者
2. 会社員・公務員
3. アルバイト・パート
4. 主婦・主夫
5. 学生
6. 無職
7. その他（ ）

F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 2年未満          | 2. 2年以上5年未満      |
| 3. 5年以上 10 年未満   | 4. 10 年以上 20 年未満 |
| 5. 20 年以上 30 年未満 | 6. 30 年以上        |

F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 一人暮らし     | 2. 1世代（夫婦だけ 等）  |
| 3. 2世代（親子 等） | 4. 3世代（親と子と孫 等） |
| 5. その他（      | ）               |

### ◆自由意見

福井市に対するご意見やご提案などありましたら、ぜひお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

※記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに  
**6月28日（火）までに**、郵便ポストに投函してください。



ご協力いただき、ありがとうございました。

調査結果は10月末に福井市ホームページ等で公表いたします。  
過去に実施した調査についても併せてご覧ください。

福井市 市民意識調査

検索





---

平成 28 年度

**福井市民意識調査報告書**

平成 28 年 10 月発行

福井市市民生活部  
市民サービス推進課

〒910-8511 福井市大手 3 丁目 10 番 1 号

TEL (0776) 20-5303

---